

第6期
河南町高齢者保健福祉計画
及び介護保険事業計画
に関するアンケート調査報告書



河南町のカナちゃん

平成27(2015)年3月

 河南町

目 次

第1章 調査の概要	- 1 -
1 調査の目的	- 1 -
2 調査の設計	- 1 -
3 表記等について	- 1 -
第2章 調査結果（高齢者一般調査）	- 2 -
1 アンケートの記入者について	- 2 -
2 あなた自身のことについて	- 2 -
3 家族や生活状況について	- 6 -
4 運動・閉じこもりについて	- 12 -
5 転倒予防について	- 14 -
6 口腔・栄養について	- 14 -
7 物忘れについて	- 17 -
8 日常生活について	- 18 -
9 社会参加について	- 21 -
10 健康について	- 27 -
11 介護保険について	- 33 -
12 将来の生活について	- 34 -
13 介護予防サービスについて	- 39 -
14 保健福祉サービスについて	- 40 -
15 機能評価の結果について	- 43 -
第3章 調査結果（介護保険サービス利用意向調査）	- 48 -
1 アンケートの記入者について	- 48 -
2 あなた自身のことについて	- 48 -
3 家族や生活状況について	- 51 -
4 運動・閉じこもりについて	- 57 -
5 転倒予防について	- 59 -
6 口腔・栄養について	- 59 -
7 物忘れについて	- 61 -
8 日常生活について	- 62 -
9 社会参加について	- 65 -
10 健康について	- 72 -
11 介護保険について	- 78 -
12 将来の生活について	- 84 -
13 介護保険サービスについて	- 86 -

14	施設サービスについて.....	- 89 -
15	地域密着型サービスについて	- 90 -
16	機能評価の結果について	- 90 -
17	介護の状況について（介護者へのアンケート調査）	- 91 -

第1章 調査の概要

1 調査の目的

介護保険法附則第2条の規定に基づき、第5期河南町介護保険事業計画を見直すとともに、介護保険事業計画と一体的に策定した河南町高齢者保健福祉計画についても同時に見直しを行い、第6期河南町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 調査の設計

	高齢者一般調査	介護保険サービス利用意向調査
調査基準日	平成26年9月1日	
調査期間	平成26年9月12日～平成26年9月26日	
調査方法	郵送配付、郵送回収	
調査対象	65歳以上の町民（要支援・要介護認定を受けていない人から無作為抽出）	65歳以上の町民で、在宅で要支援・要介護認定を受けている人から無作為抽出
調査対象者数	700人	300人
回答調査票数	446人	155人
有効調査票数	446人	155人
有効回収率	63.7%	51.7%

3 表記等について

（1）集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合があります。

また、複数回答を求めた設問は、回答者数に対する割合を示しているため、合計値は100%を超えます。

（2）本文中の結果の数値は百分率（%）で表していますが、比較などの場合はポイントという表現を用いています。

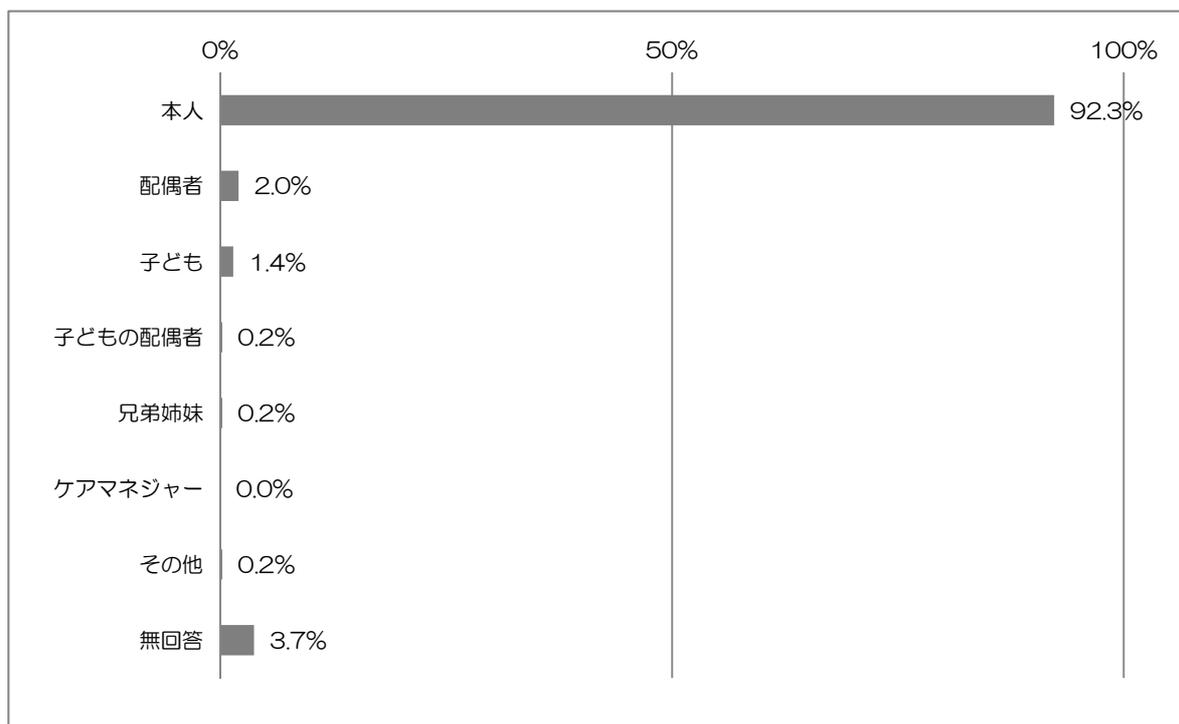
（3）本文中に示す「前回調査」は、第5期河南町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定時に実施したアンケート調査のことです。

第2章 調査結果（高齢者一般調査）

1 アンケートの記入者について

・記入者

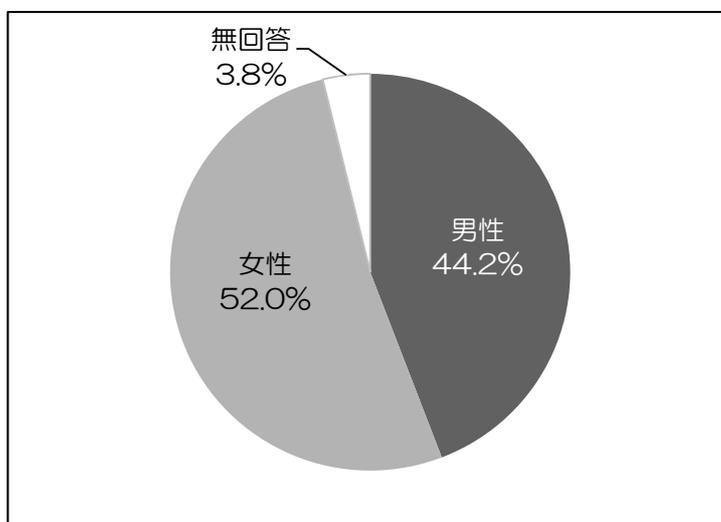
アンケートの記入者を見ると、「本人」が最も多く 92.3%となっています。次いで「配偶者」(2.0%)、「子ども」(1.4%)となっています。



2 あなた自身のことについて

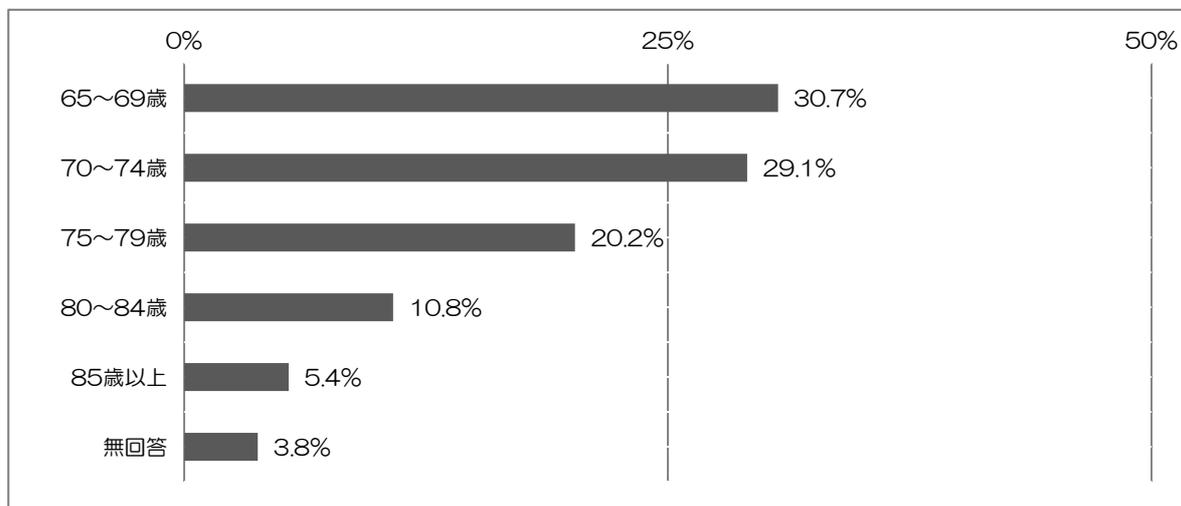
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が 52.0%、「男性」が 44.2%となっています。



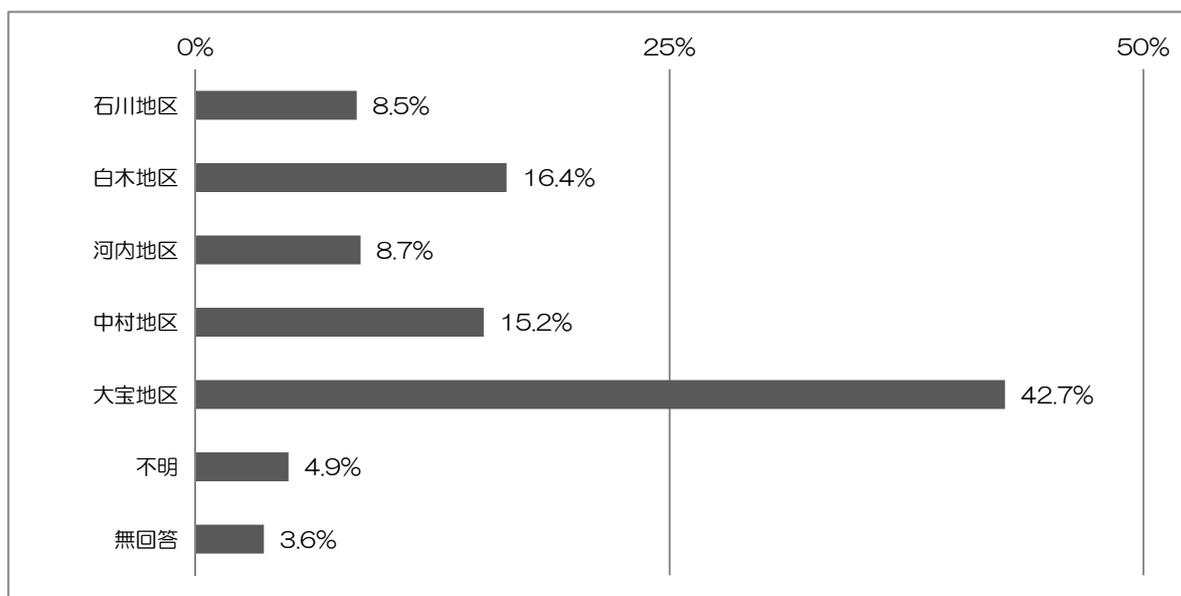
(2) 年齢

回答者の年齢は、「65～69歳」が最も多く30.7%となっています。次いで「70～74歳」(29.1%)、「75～79歳」(20.2%)となっています。



(3) 居住地

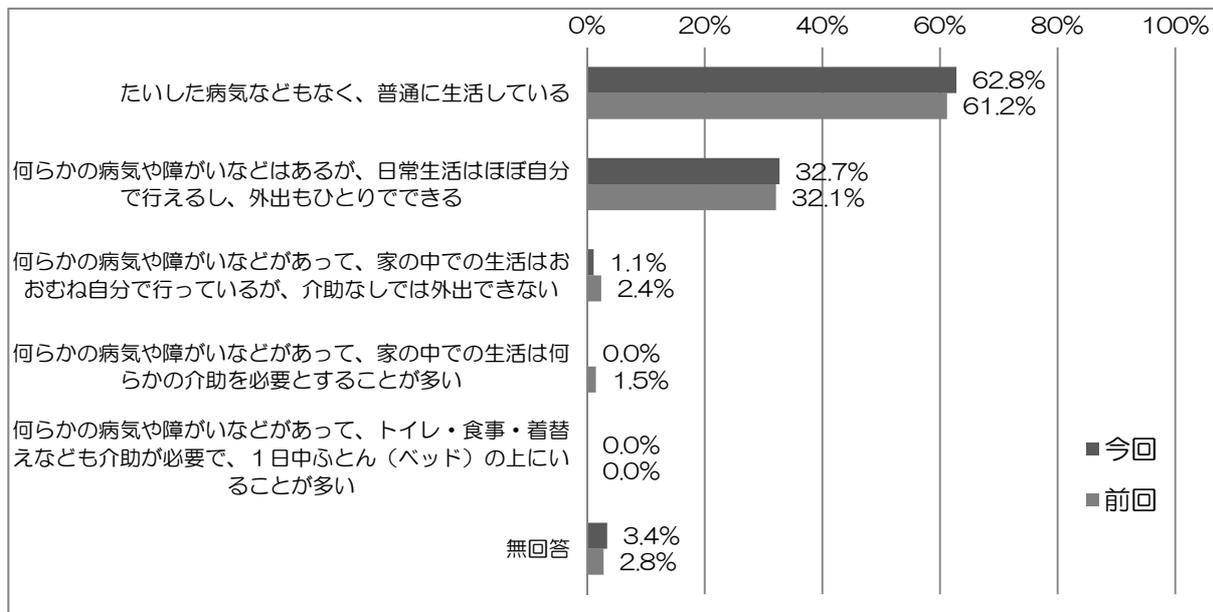
回答者の居住地は、「大宝地区」が最も多く42.7%となっています。次いで「白木地区」(16.4%)、「中村地区」(15.2%)となっています。



(4) 日常生活の状況

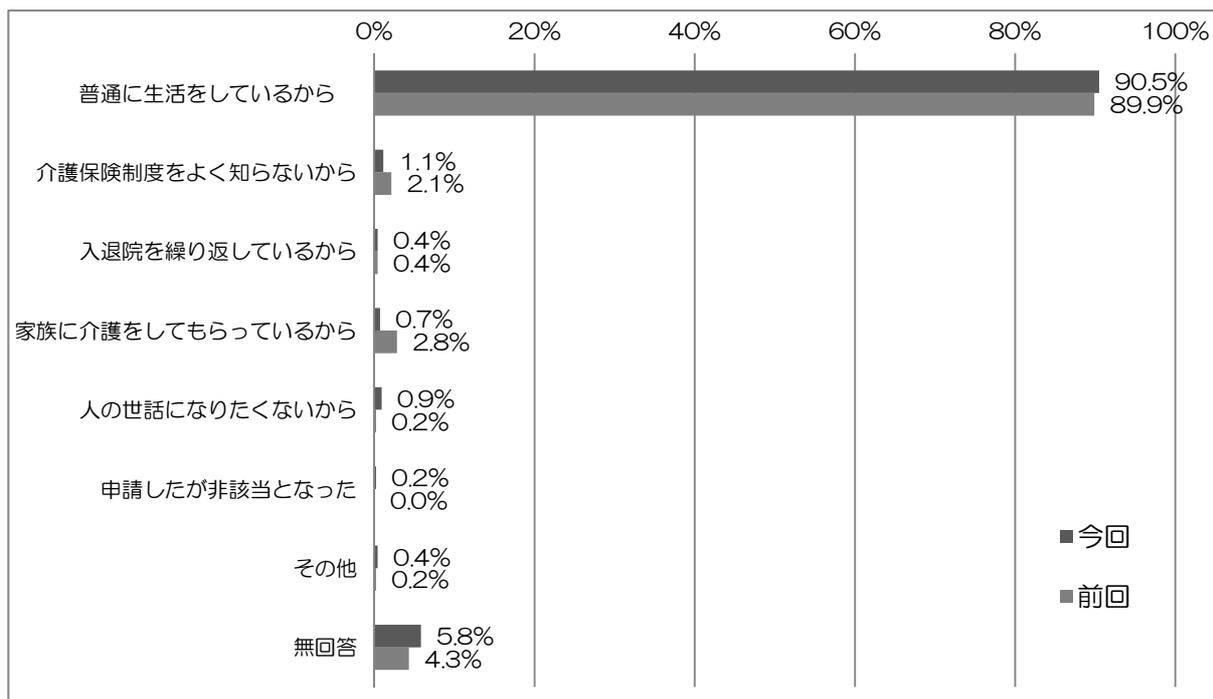
日常生活の状況については、「たいした病気などもなく、普通に生活している」が最も多く 62.8% となっています。次いで「何らかの病気や障がいなどはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」が 32.7% となっています。

前回調査と比較すると、「たいした病気などもなく、普通に生活している」が 1.6 ポイント増加しています。



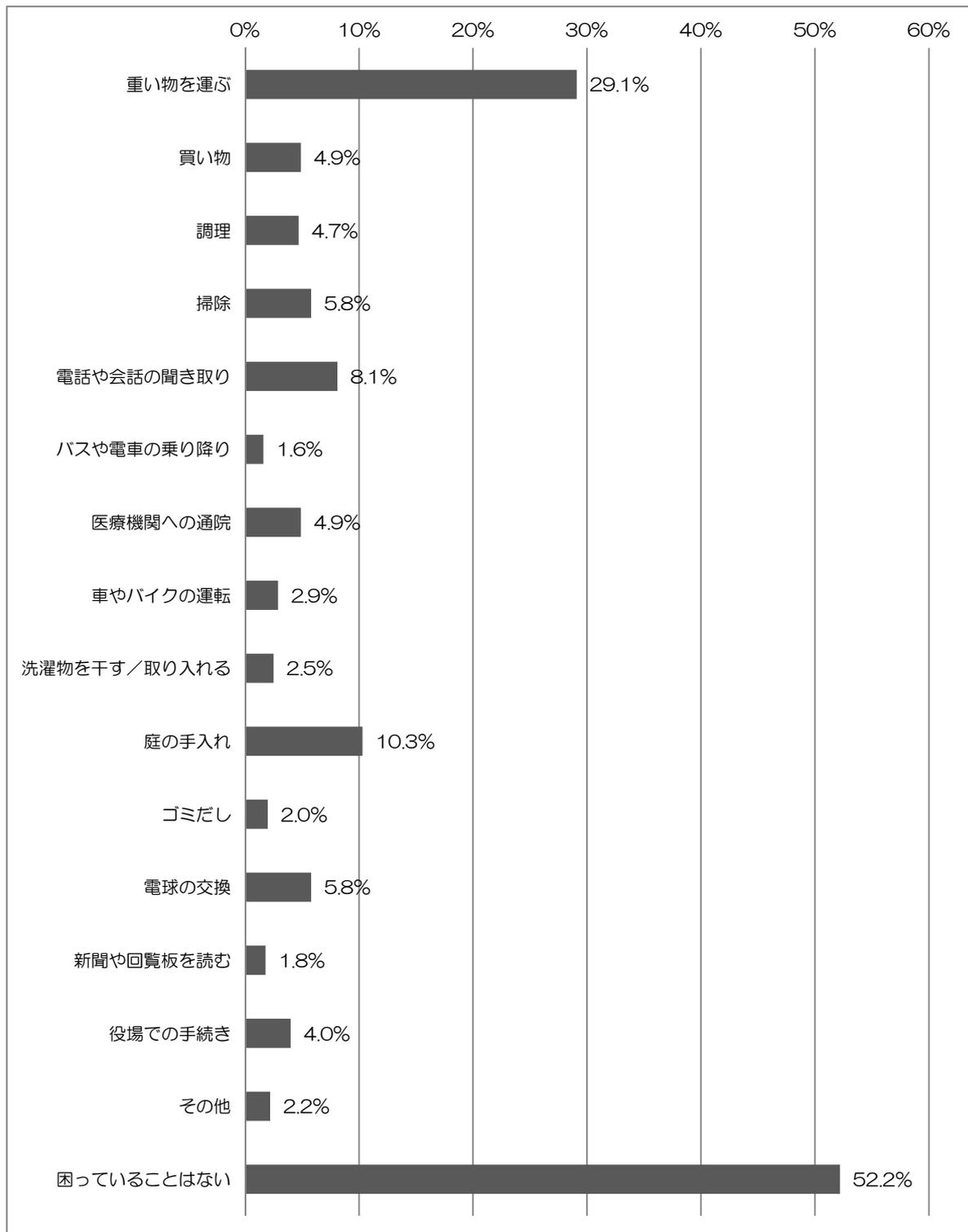
(5) 要介護認定を受けていない理由

要介護認定を受けていない理由については、「普通に生活をしているから」が最も多く 90.5% となっており、全体の 9 割を占めています。前回調査と比較しても同等の傾向となっています。



(6) 日常生活を送る上で困っていること（複数回答）

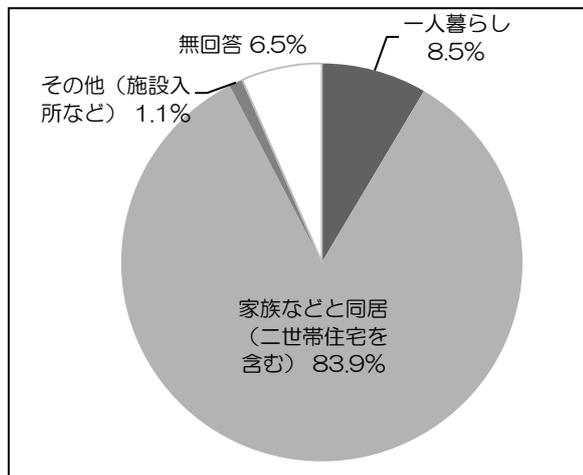
日常生活を送る上で困っていることについては、「重い物を運ぶ」が最も多く 29.1%となっています。



3 家族や生活状況について

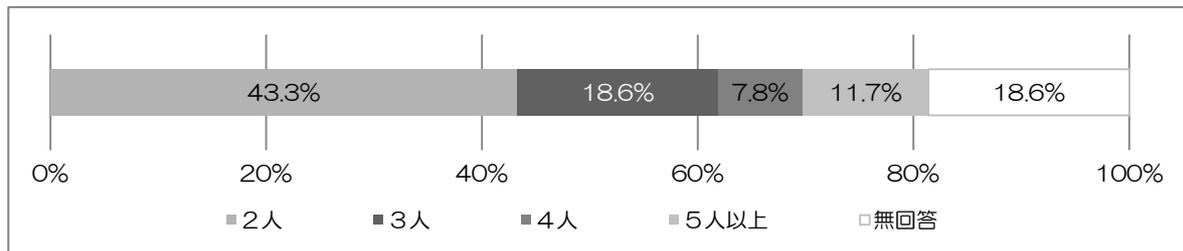
(1) 家族構成

家族構成は、「家族など同居（二世帯住宅を含む）」が最も多く 83.9%となっています。「一人暮らし」は 8.5%と約 1 割となっています。



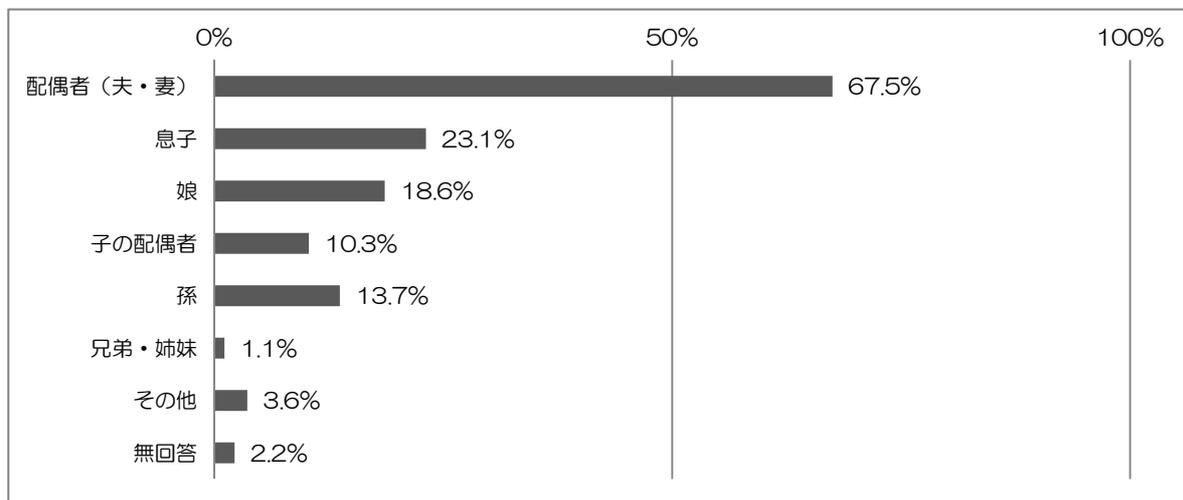
・同居人数（家族など同居されている人）

同居人数は、「2人」が最も多く 43.3%となっています。次いで「3人」(18.6%)、「5人以上」(11.7%)となっています。



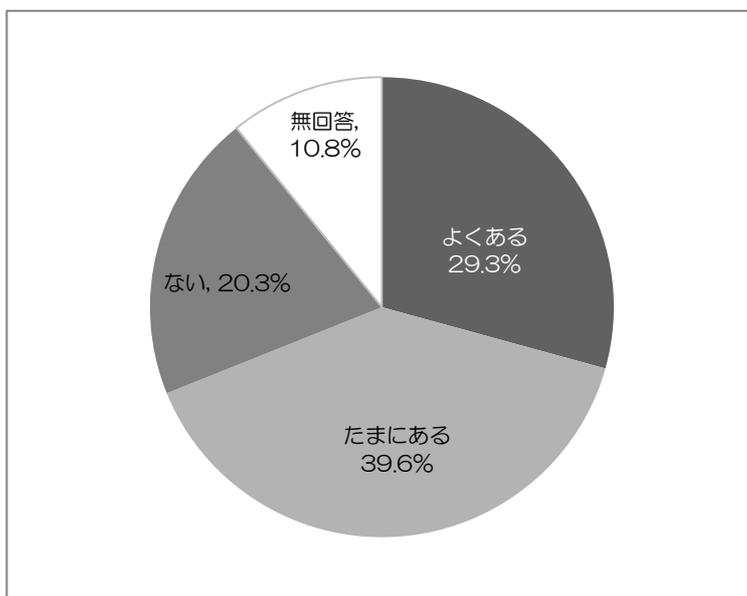
・同居者（家族など同居されている人）（複数回答）

同居者では、「配偶者（夫・妻）」が最も多く 67.5%となっています。次いで「息子」(23.1%)、「娘」(18.6%)となっています。



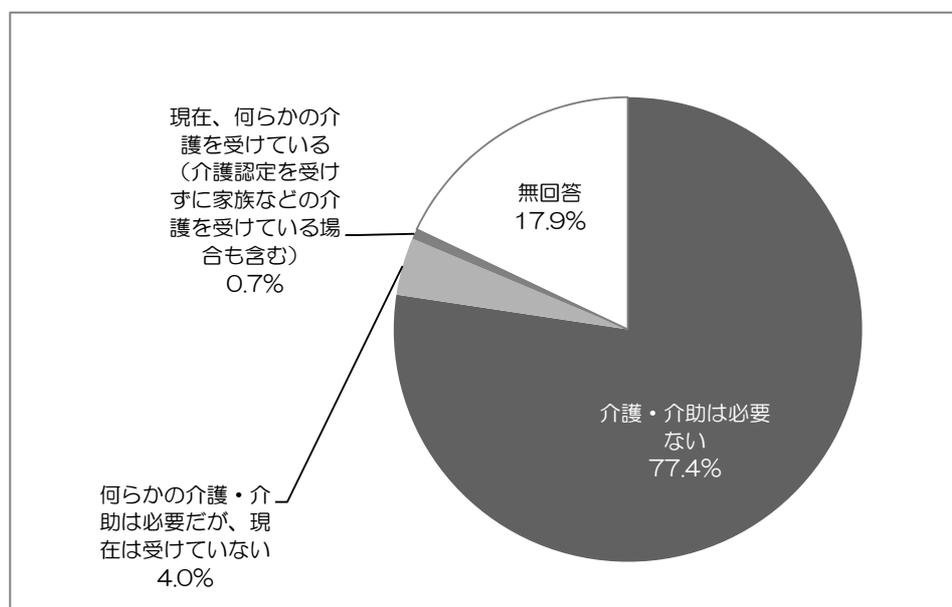
・日中に一人になる状況（家族など同居されている人）

日中に一人になる状況については、「たまにある」が最も多く 39.6%となっており、「よくある」(29.3%) と合わせると7割近くとなっています。



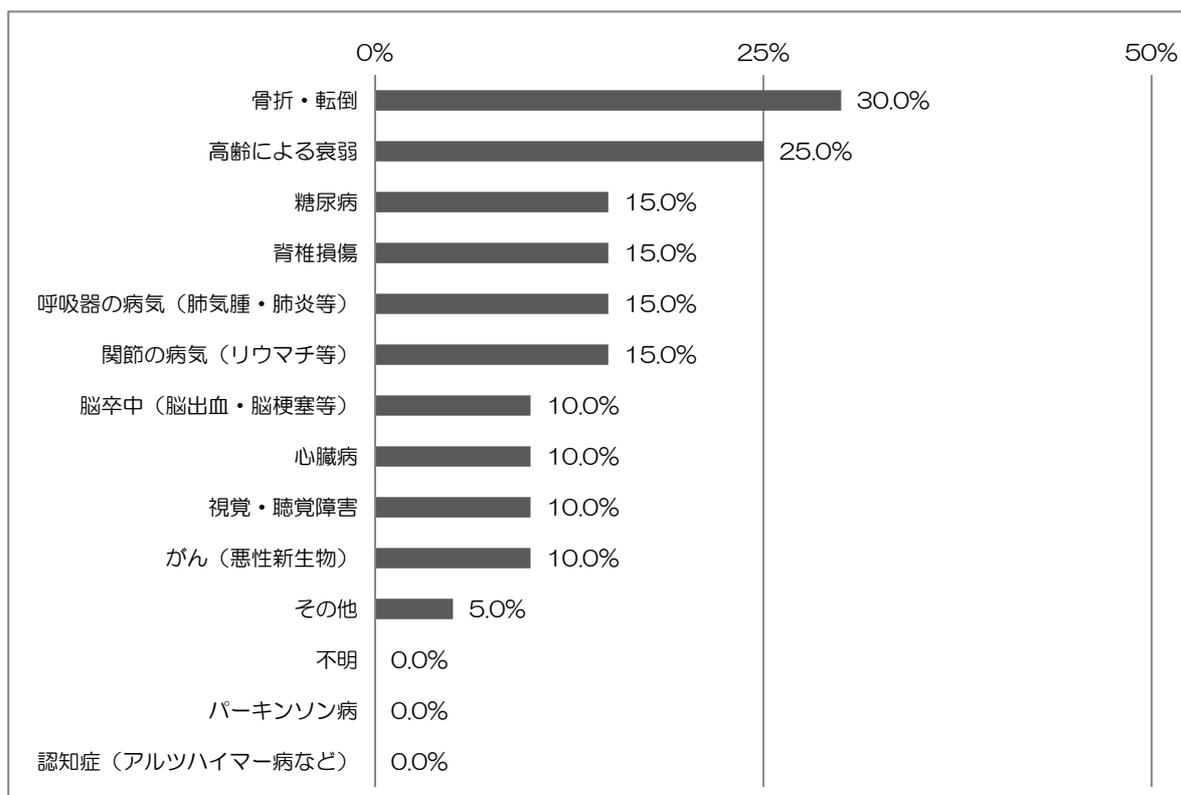
(2) 普段の生活での介護・介助の必要性

普段の生活では、「介護・介助は必要ない」が77.4%と最も多く、8割近くとなっています。



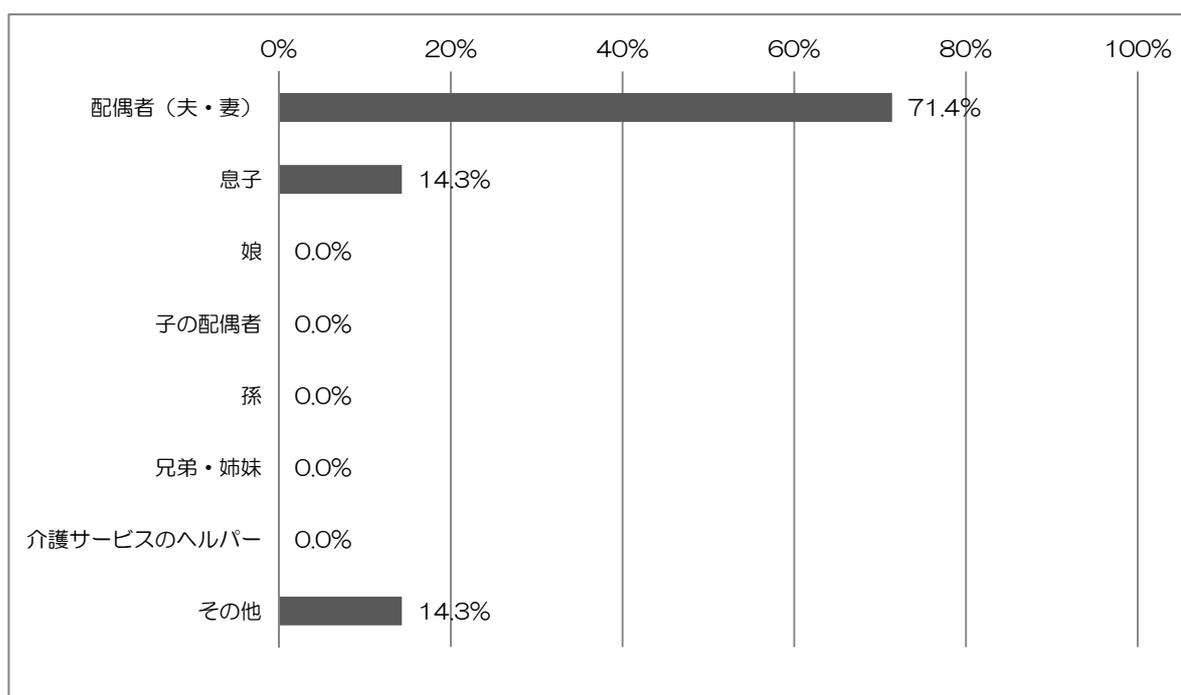
・介護・介助が必要になった主な原因（介護・介助が必要な人）（複数回答）

介護・介助が必要になった主な原因では、「骨折・転倒」が30.0%、「高齢による衰弱」が25.0%となっています。



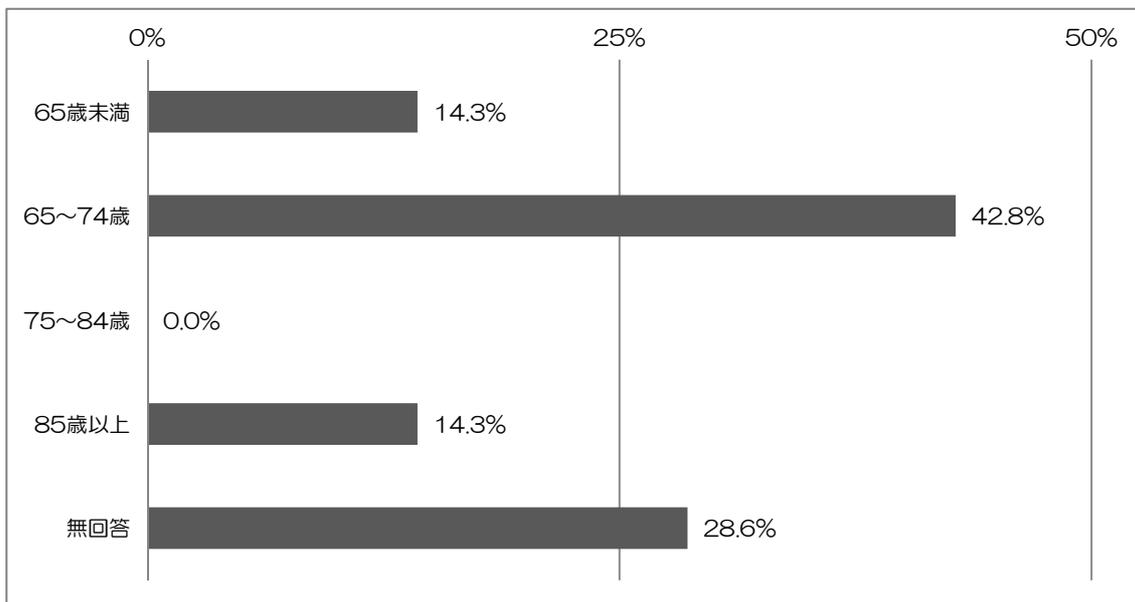
・主に介護・介助をしている人（介護・介助が必要な人）

主に誰に介護・介助を受けているかについては、「配偶者（夫・妻）」が最も多く71.4%、次いで「息子」（14.3%）となっています。



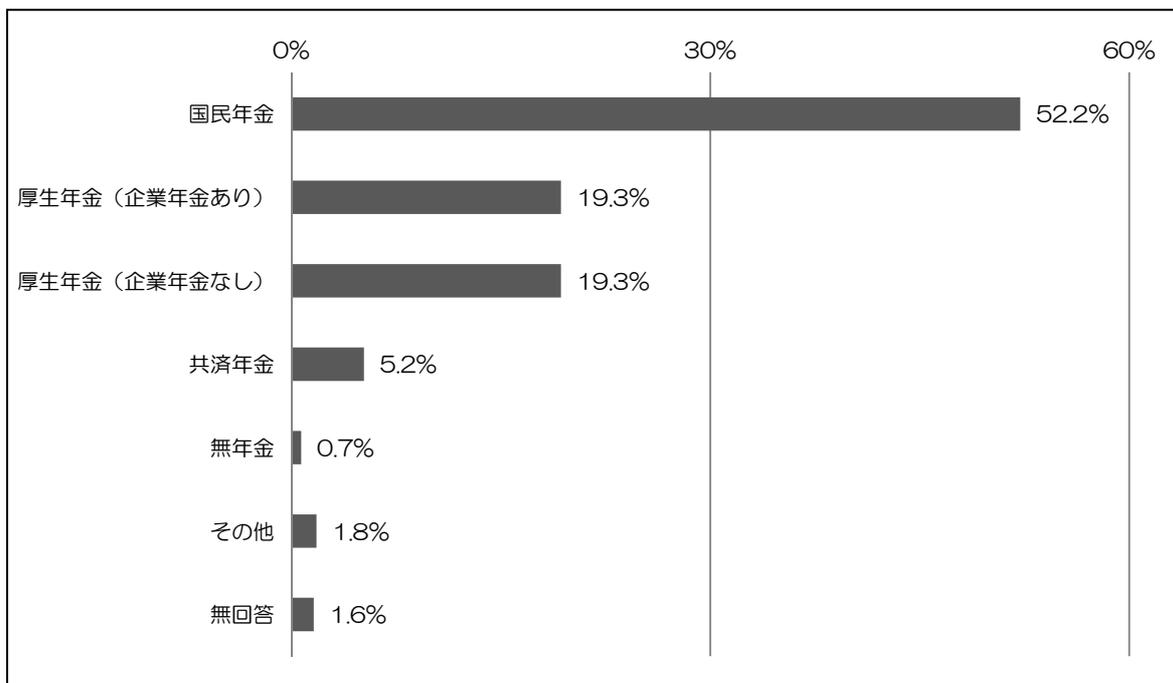
・主に介護・介助をしている人の年齢（介護・介助が必要な人）

主に誰に介護・介助をしている人の年齢については、「65～74歳」が最も多く42.8%となっています。次いで「65歳未満」「85歳以上」が14.3%となっています。



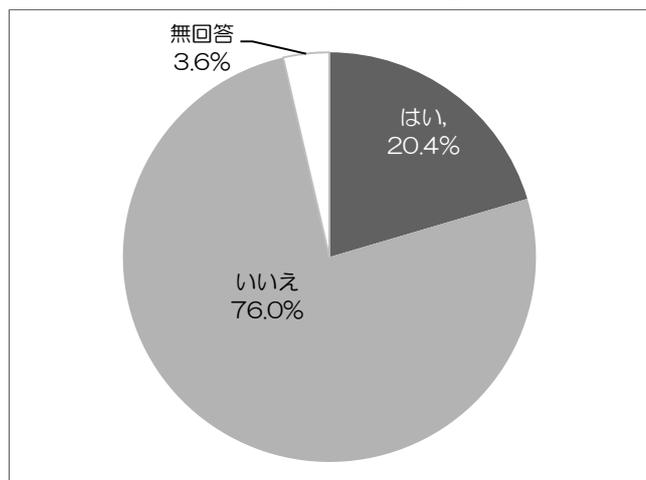
(3) 年金の種類

年金の種類では、「国民年金」が最も多く52.2%と半数を超えており、次いで「厚生年金（企業年金あり）」「厚生年金（企業年金なし）」（19.3%）となっています。



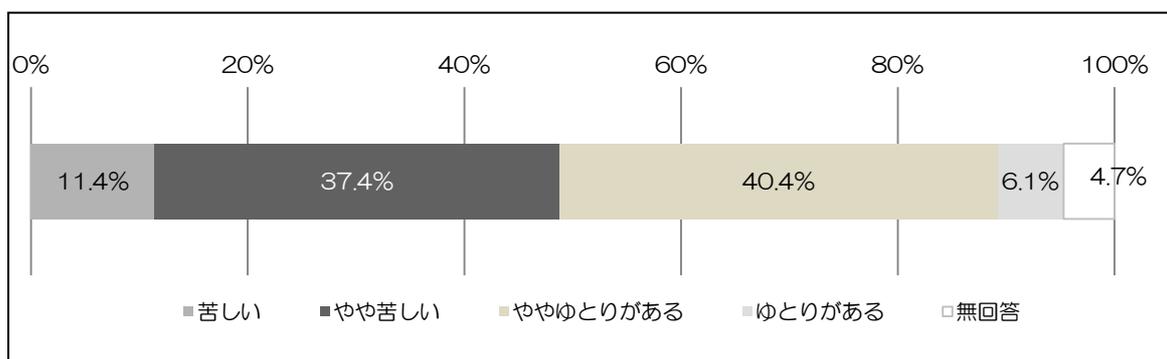
(4) 現在の就労状況

現在、収入のある仕事をしているかについては、「いいえ」が76.0%と7割を超えています。



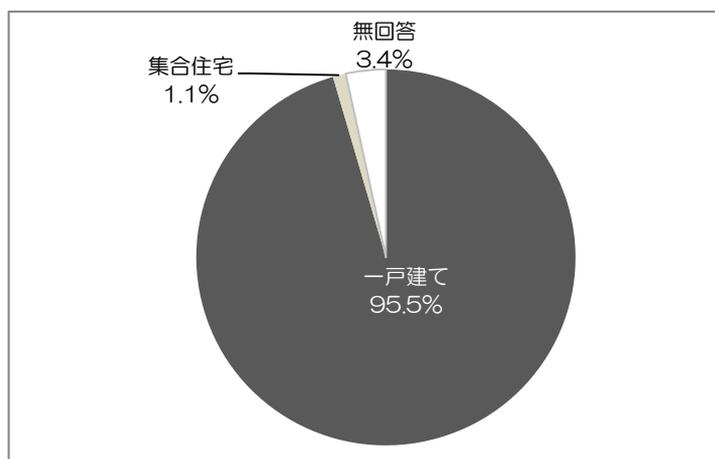
(5) 現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況を経済的にみて感じることにについては、「ややゆとりがある」(40.4%)と「ゆとりがある」(6.1%)を合わせた層が46.5%となっており、「苦しい」(11.4%)と「やや苦しい」(37.4%)を合わせた層(48.8%)を下回っています。



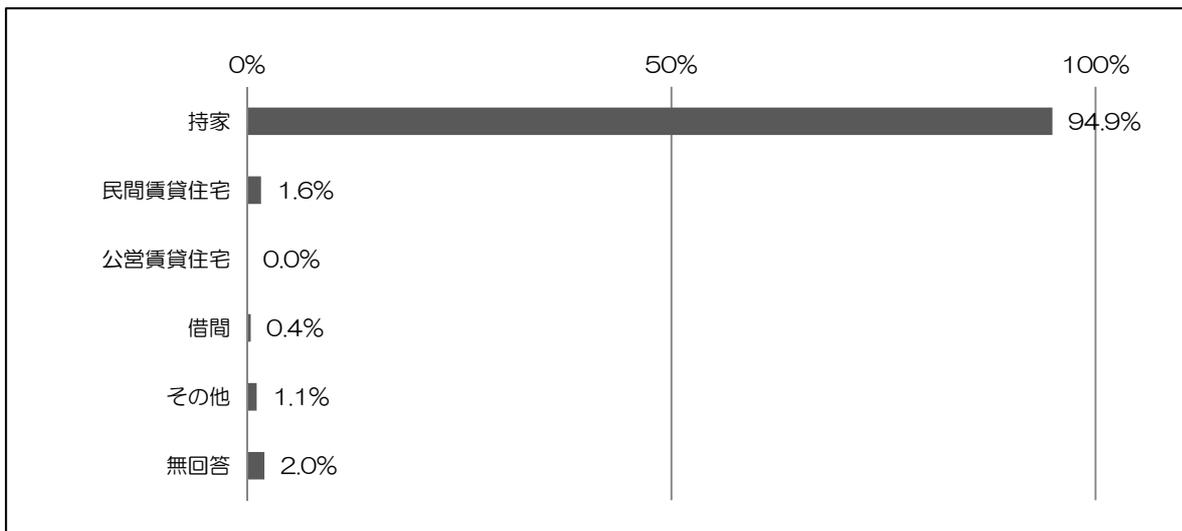
(6) 住まいの種別

住まいの種別では、「一戸建て」が95.5%とほとんどを占めています。



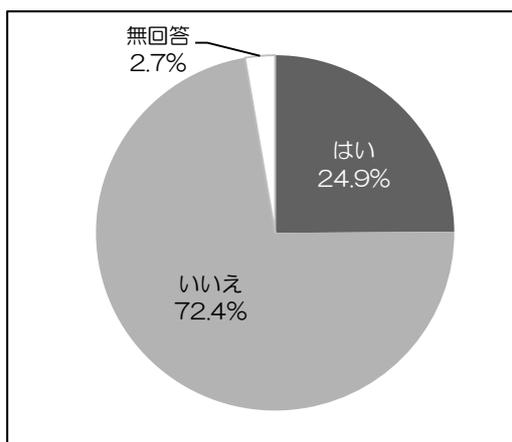
(7) 住まいの状況

住まいの状況では、「持家」が94.9%とほとんどを占めています。



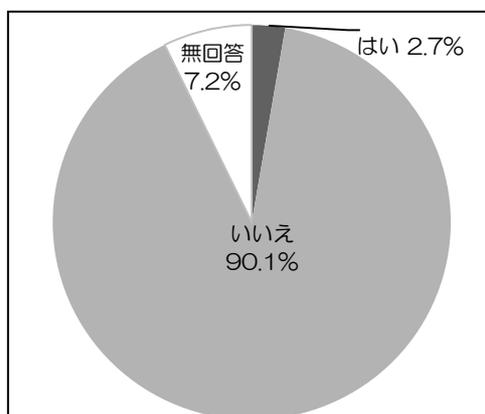
(8) 生活階について

主に生活する部屋が2階以上であるかについては、「いいえ」が72.4%、「はい」が24.9%となっています。



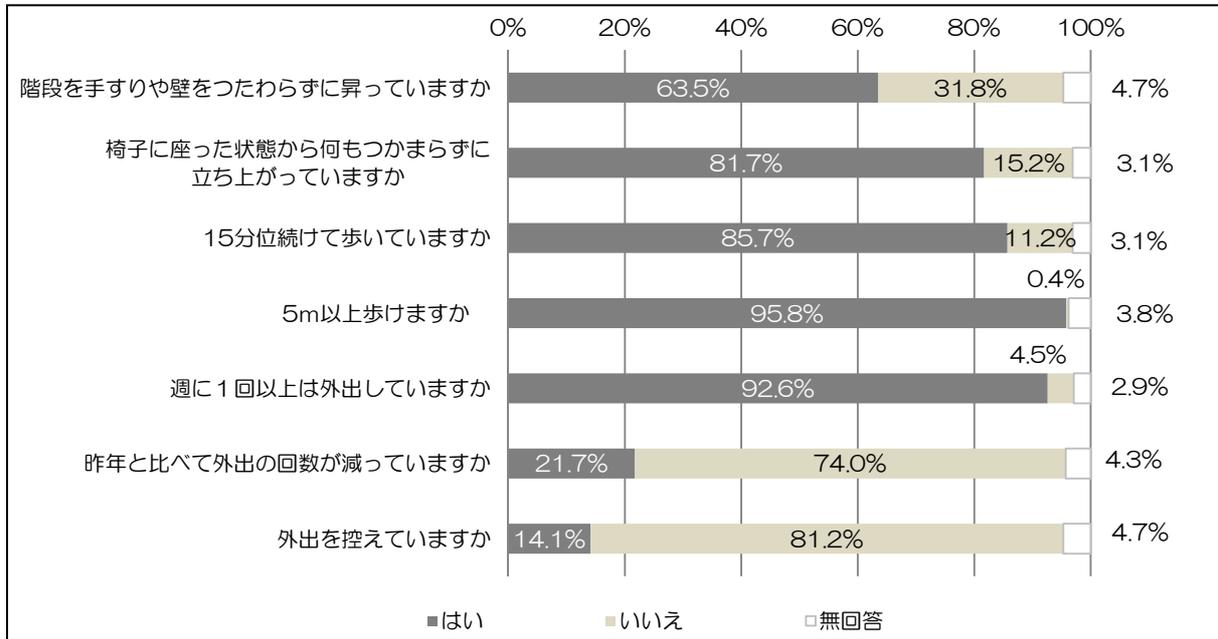
・エレベーターの設置状況 (2階以上に住んでいる人)

エレベーターを設置している人は2.7%となっています。

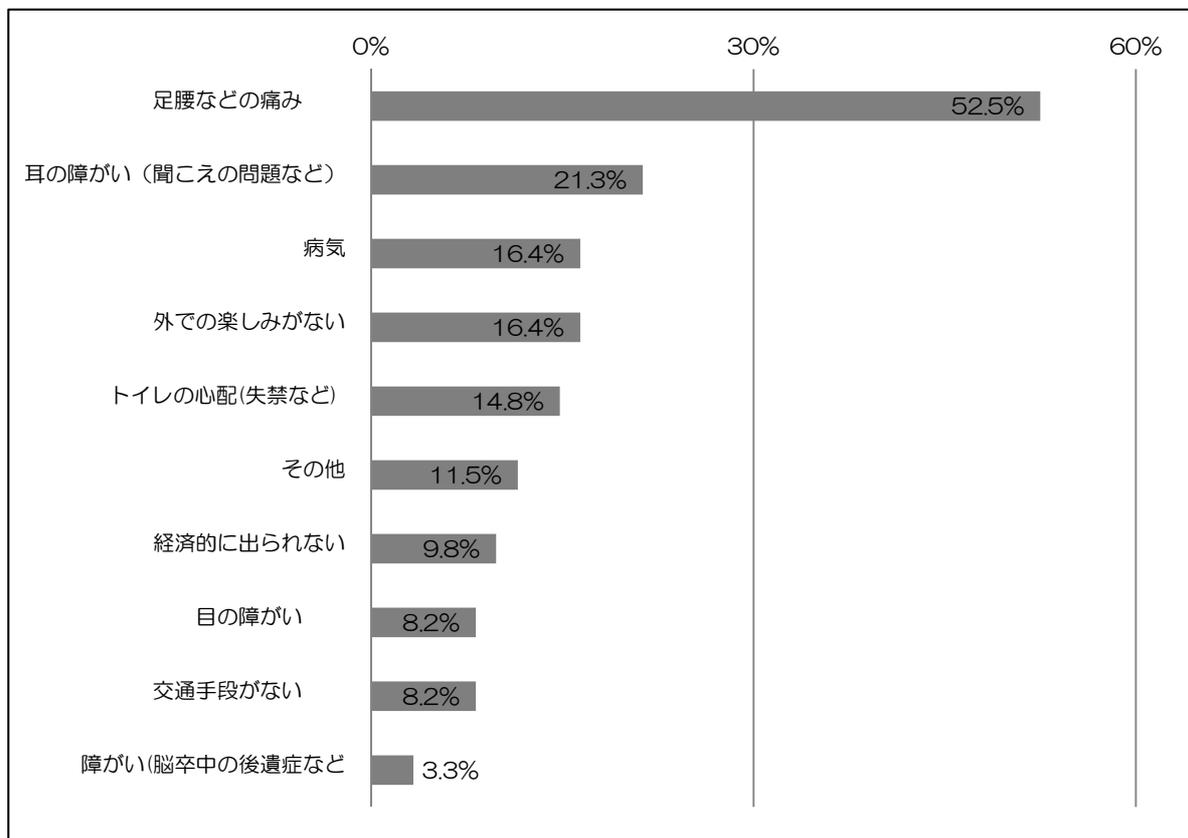


4 運動・閉じこもりについて

運動・閉じこもりの状況についての各設問の回答は、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」と「外出を控えていますか」の項目に関しては「いいえ」の割合が高くなっていますが、それ以外の項目では「はい」の割合が高くなっています。

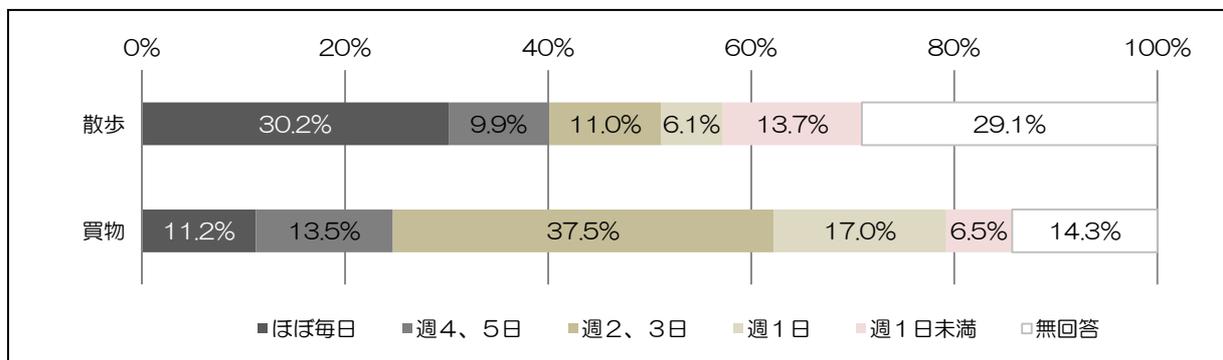


上記項目の「外出を控えていますか」で「はい」と回答のあった人にその理由を尋ねると、「足腰などの痛み」が最も多く52.5%と約5割となっています。（複数回答）



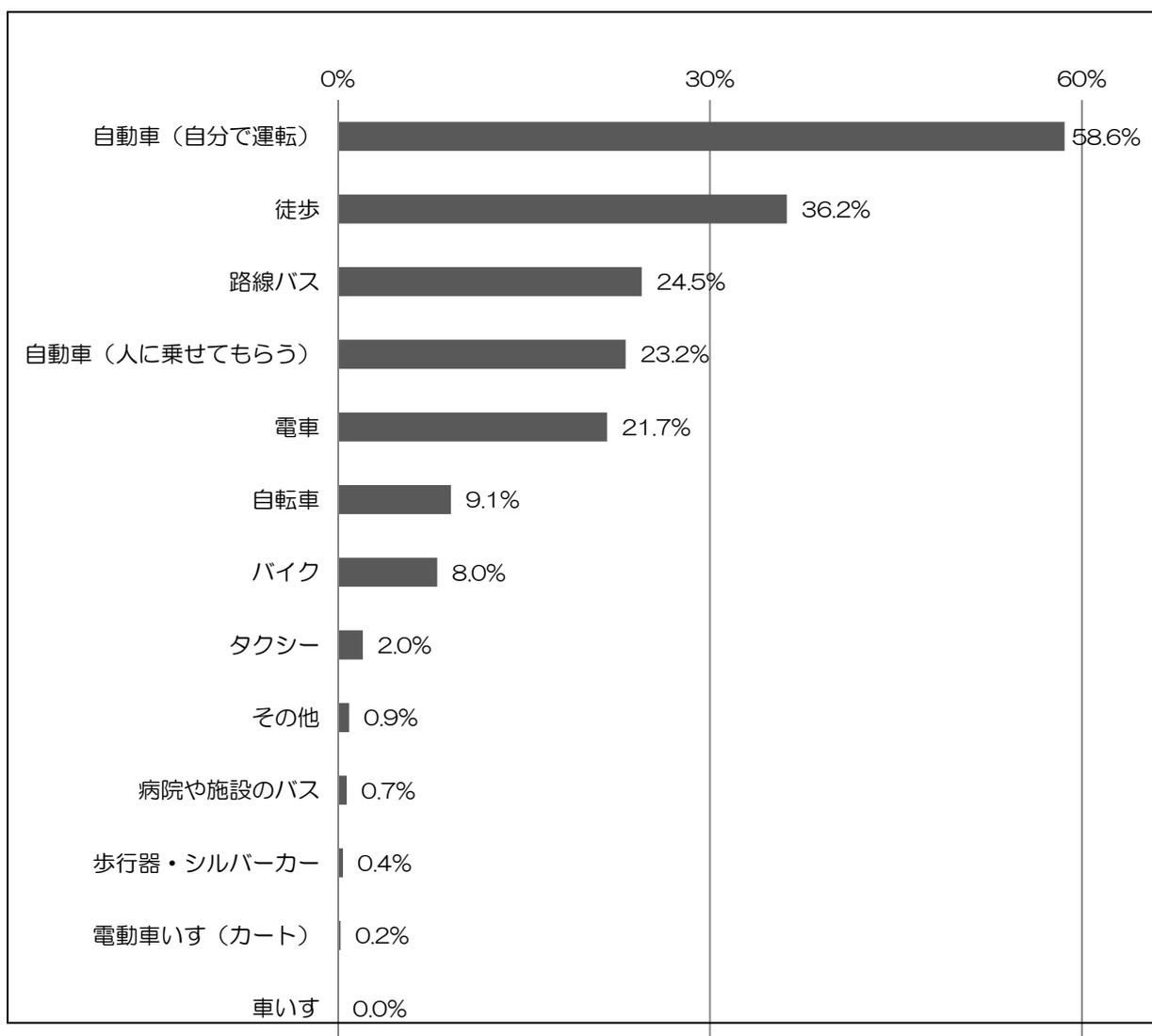
・買物、散歩で外出する頻度について

外出する頻度については、散歩では「ほぼ毎日」が最も多く、30.2%となっていますが、買物では「週に2、3日」が最も多く37.5%となっています。



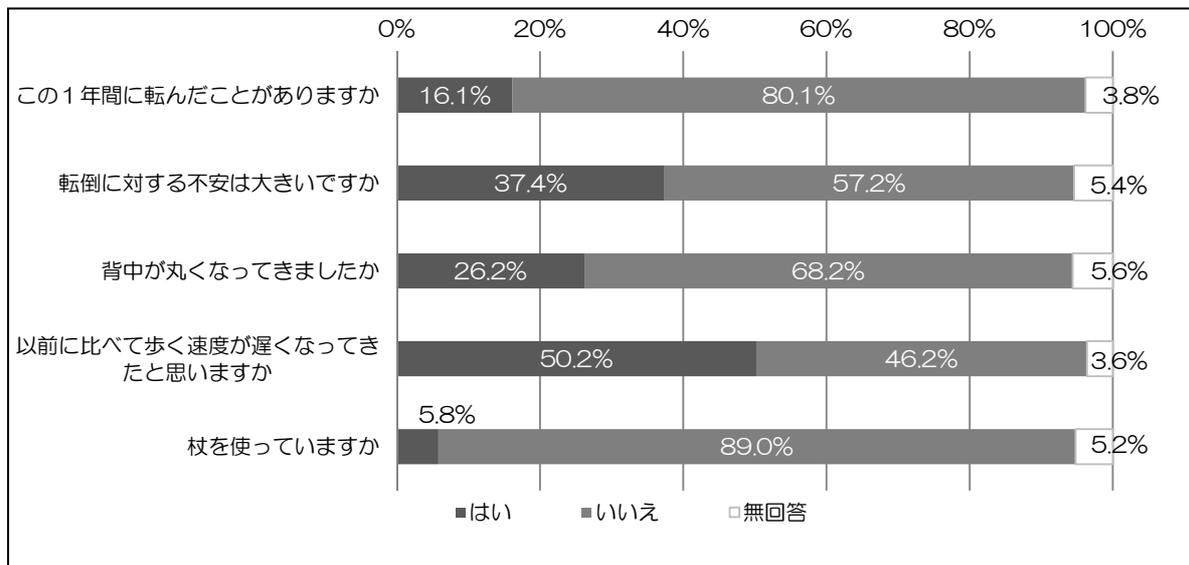
・外出する際の移動手段について（複数回答）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が最も多く58.6%となっています。次いで「徒歩」（36.2%）、「路線バス」（24.5%）となっています。



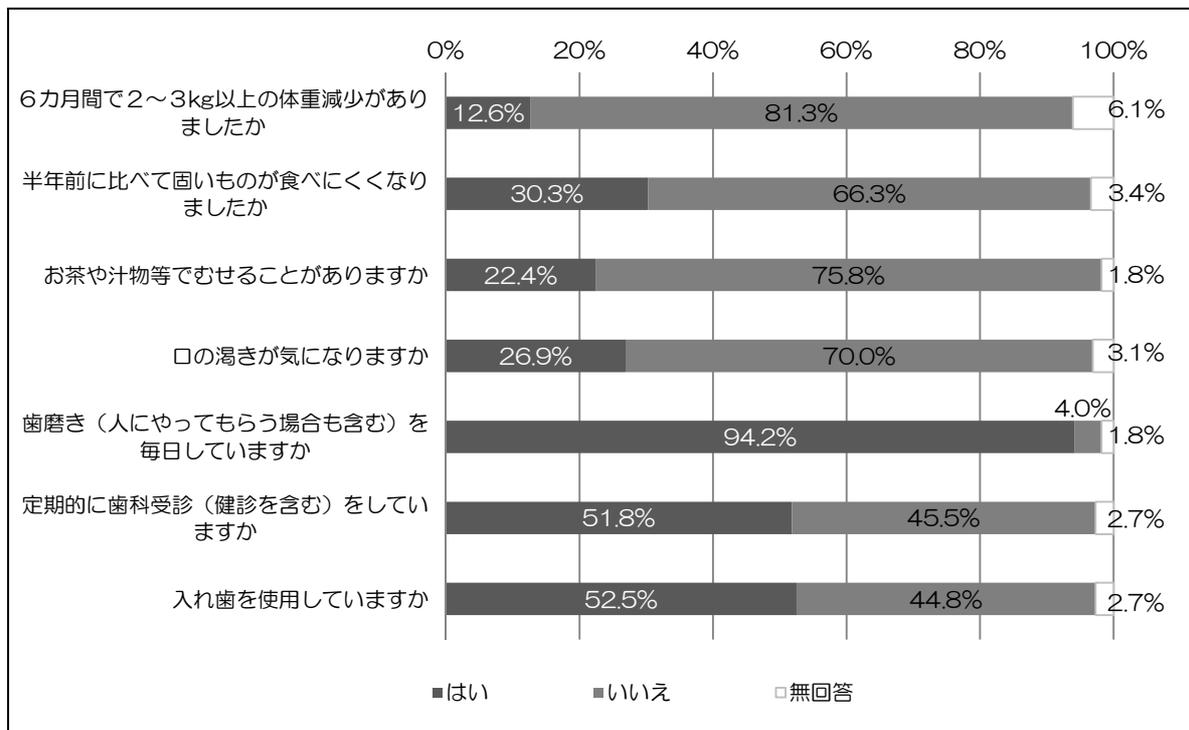
5 転倒予防について

転倒予防についての各設問の回答は、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」は「はい」の割合が高くなっていますが、それ以外の項目では「いいえ」の割合が高くなっています。



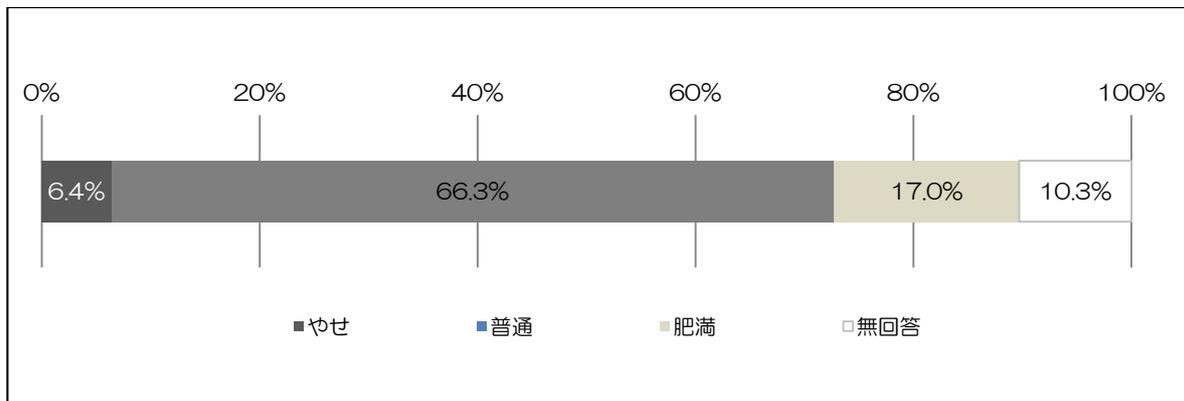
6 口腔・栄養について

口腔・栄養についての各設問の回答は、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」や「定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか」、「入れ歯を使用していますか」の項目に関しては「はい」の割合が高くなっていますが、それ以外の項目では「いいえ」の割合が高くなっています。



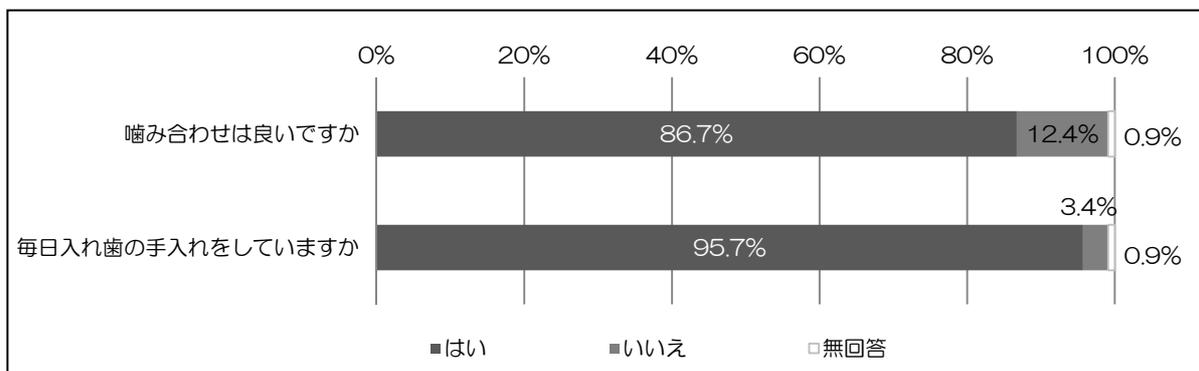
・BMIについて

BMIとは、身長からみた体重の割合を示す体格指数のことで、18.5未満で「やせ」、25以上で「肥満」となります。本調査の結果では、「普通」が最も多く66.3%となっています。



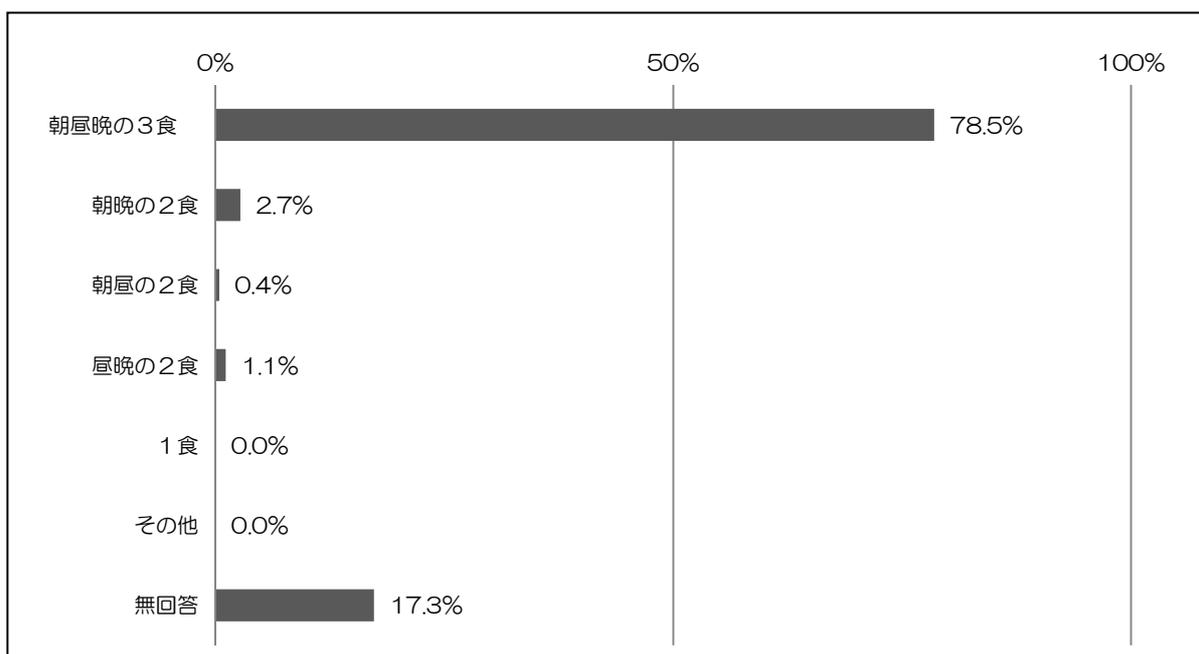
・入れ歯の状況（入れ歯を使用している人）

入れ歯の状況では、両方の項目で「はい」が8割以上となっています。



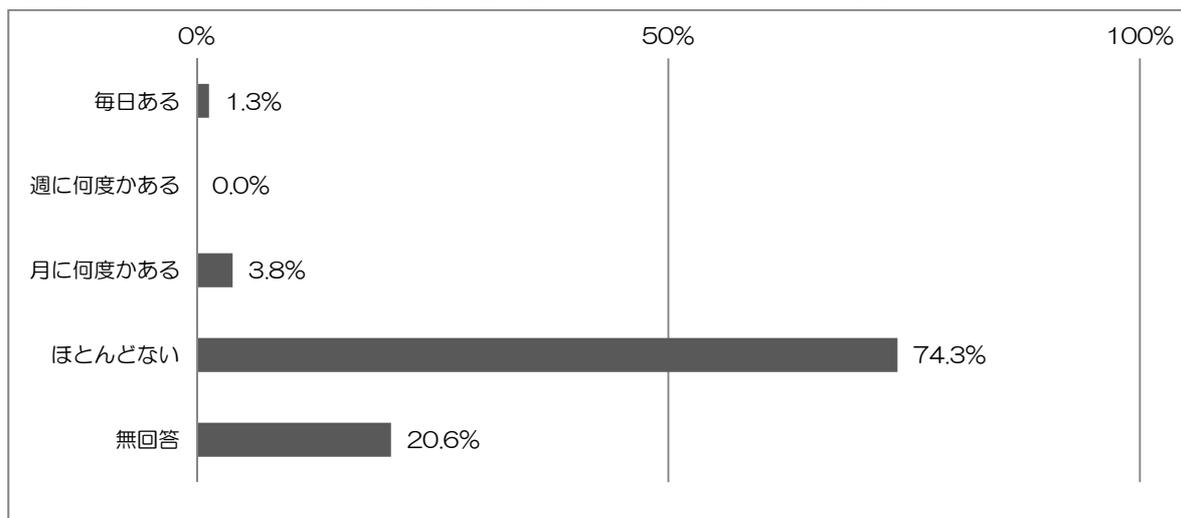
・1日の食事の回数

朝昼晩の3食をきちんと食べている方が8割程度となっています。



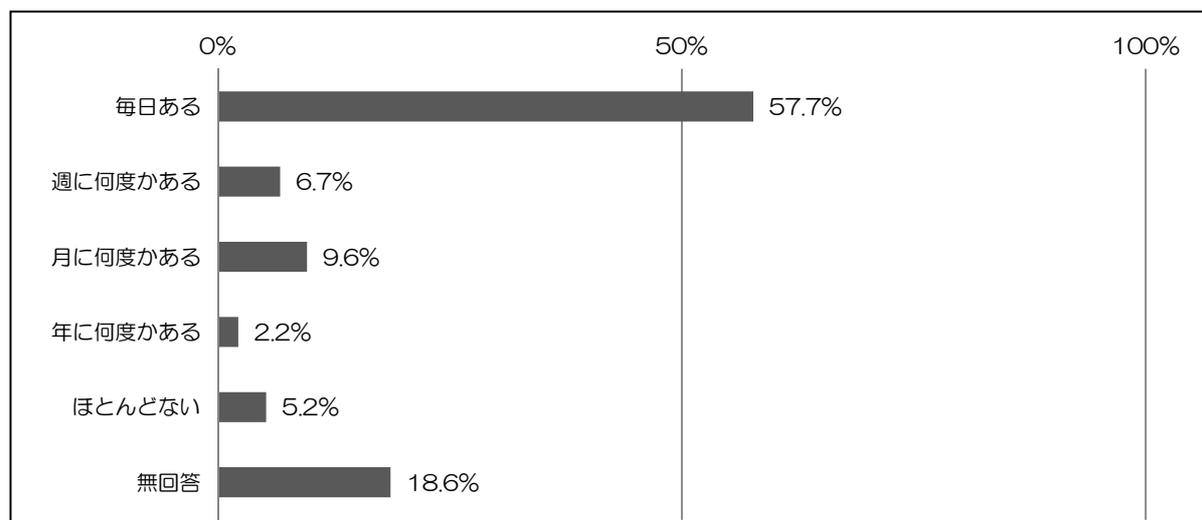
・食事を抜く回数

食事を抜くことは「ほとんどない」が最も多く 74.3%となっています。

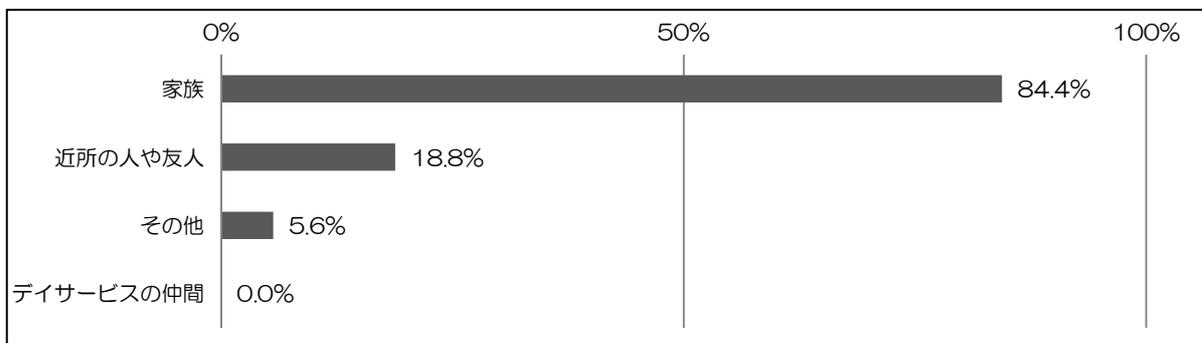


・だれかと食事をする機会

だれかと食事をとにする機会は「毎日ある」が最も多く 57.7%となっています。

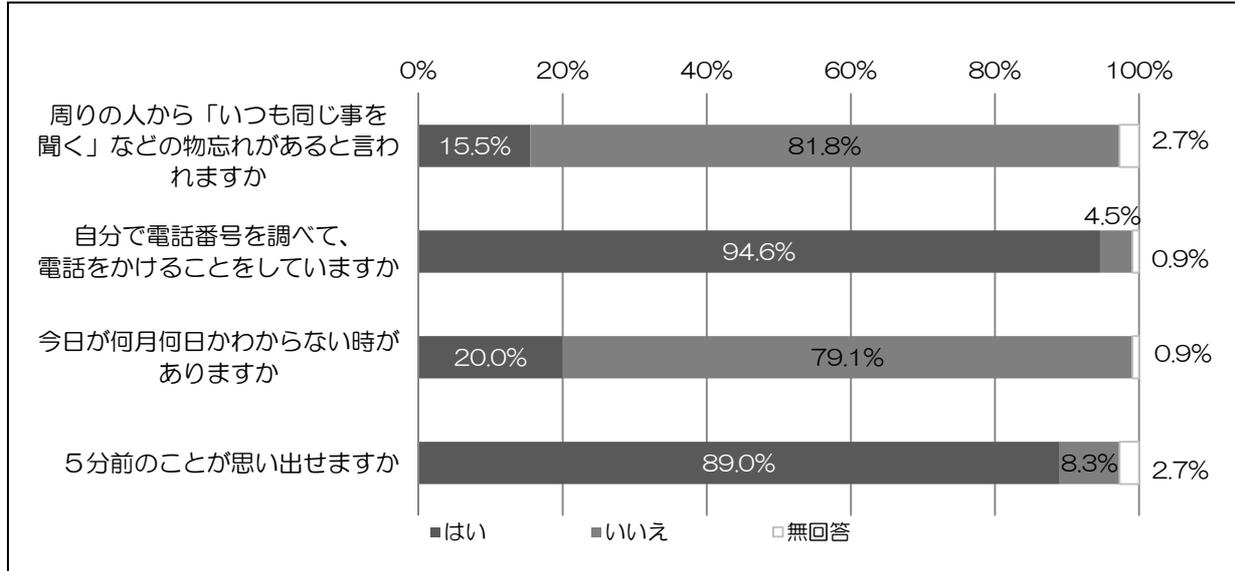


食事をとにするのは「家族」が最も多く 84.4%となっています。

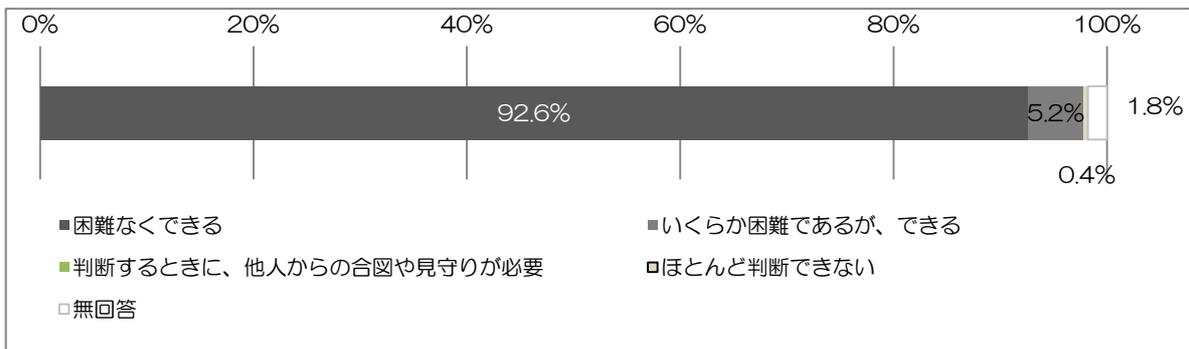


7 物忘れについて

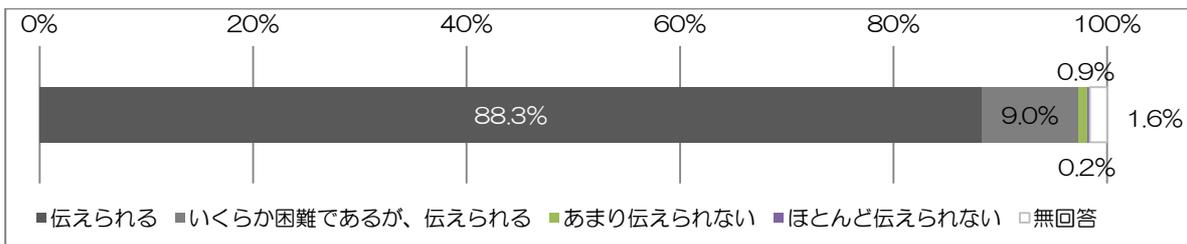
物忘れについての各設問の回答は、「周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか」と「今日が何月何日かわからない時がありますか」の項目に関しては「いいえ」の割合が高くなっていますが、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」と「5分前のことが思い出せますか」では「はい」の割合が高くなっています。



「その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか」では、「はい」が92.6%と9割を超えており、「判断するときに他人からの合図や見守りが必要」は0%となっています。

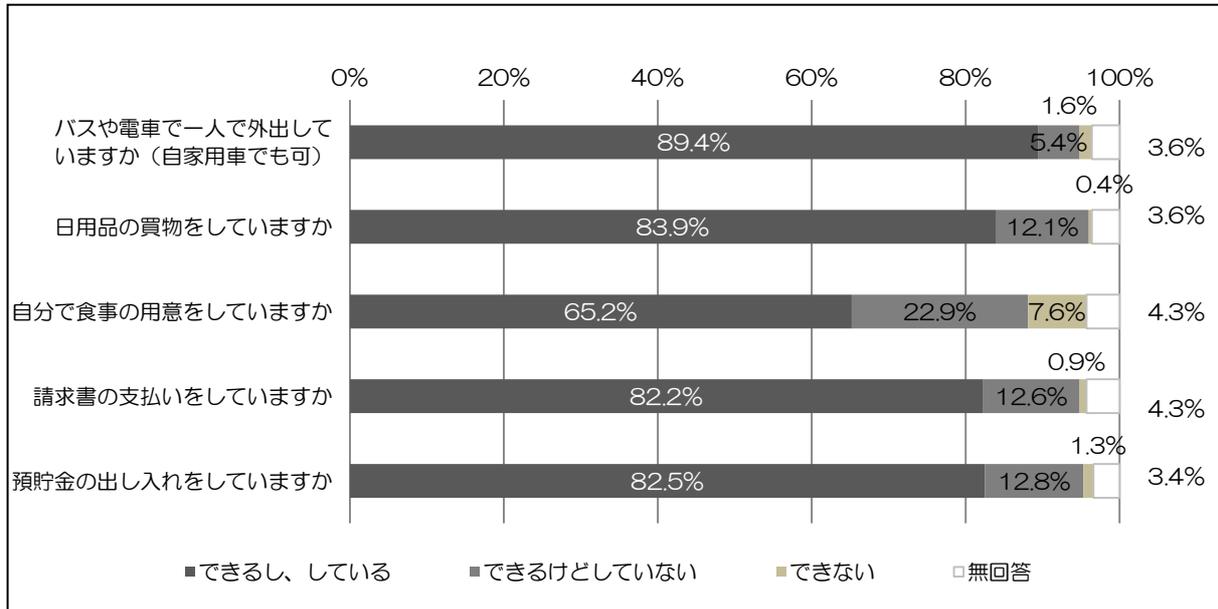


「人に自分の考えをうまく伝えられますか」では、「伝えられる」が88.3%となっています。

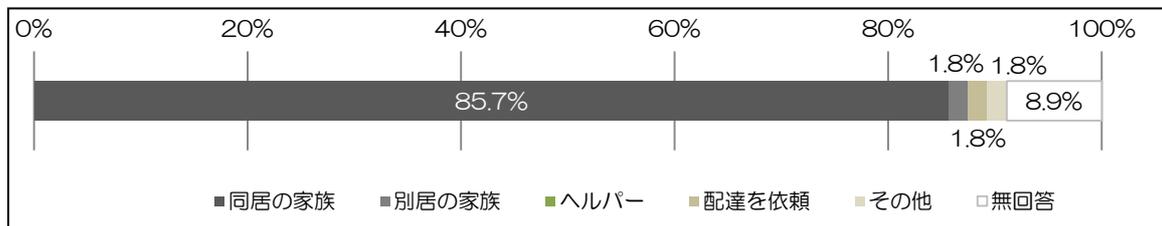


8 日常生活について

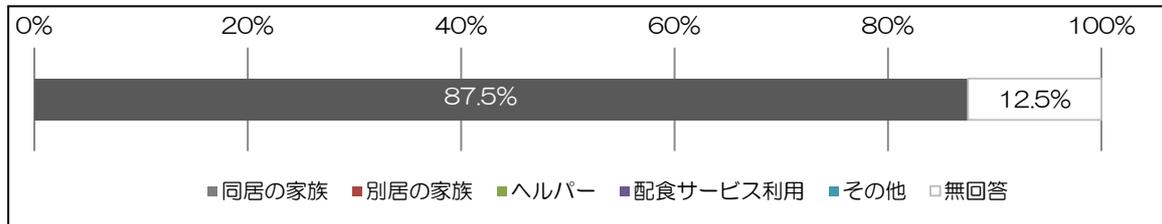
日常生活についての下記グラフ内の設問の回答は、すべての項目で「できるし、している」が最も多くなっています。



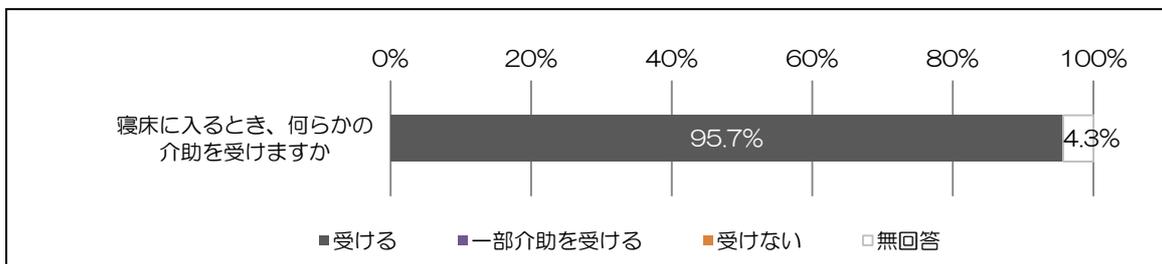
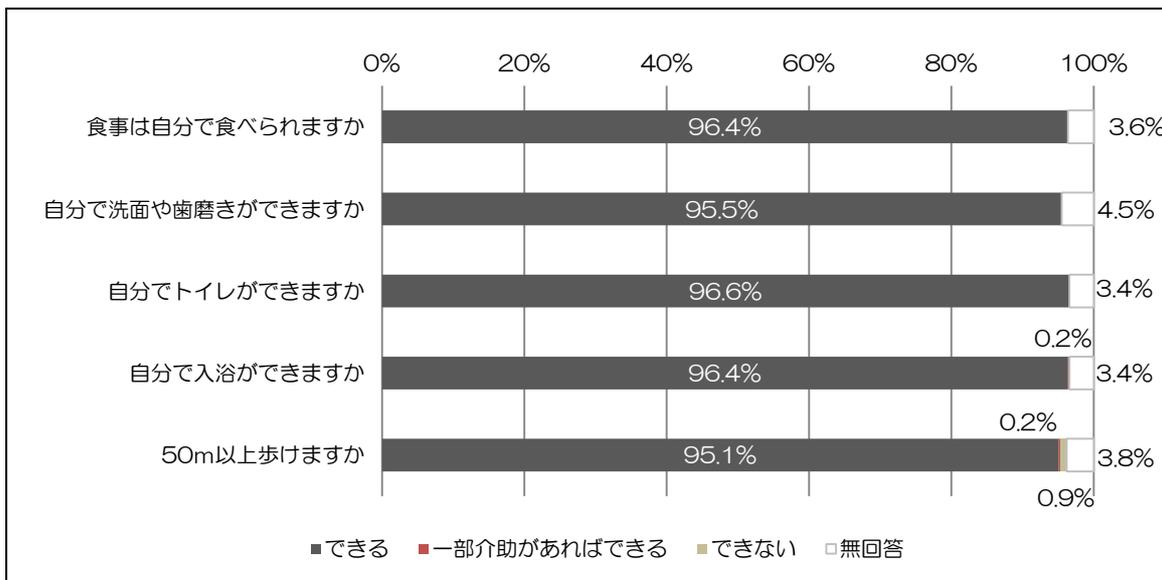
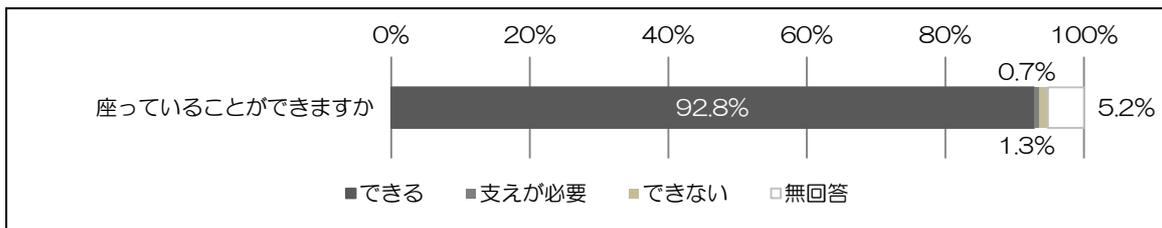
日用品の買物をしていないとき・できない時に、買い物をするのは「同居の家族」が85.7%となっており、「ヘルパー」は0%となっています。



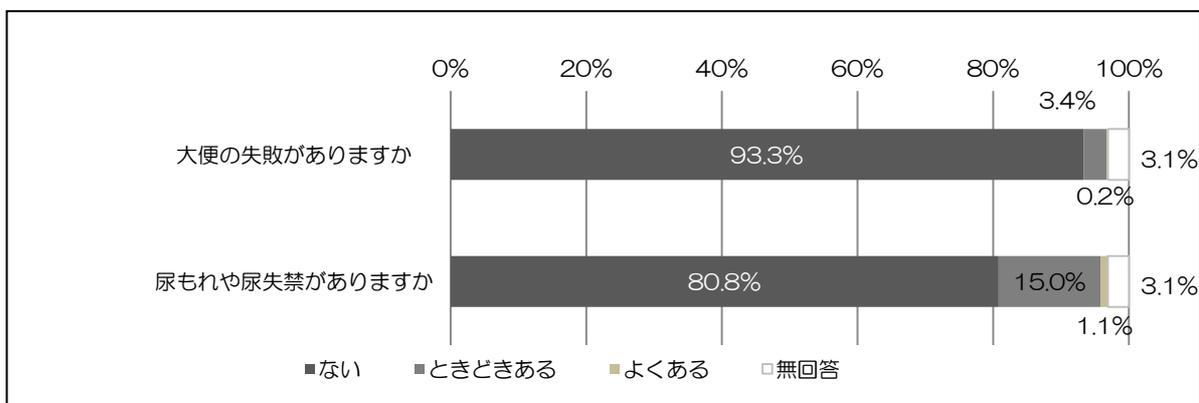
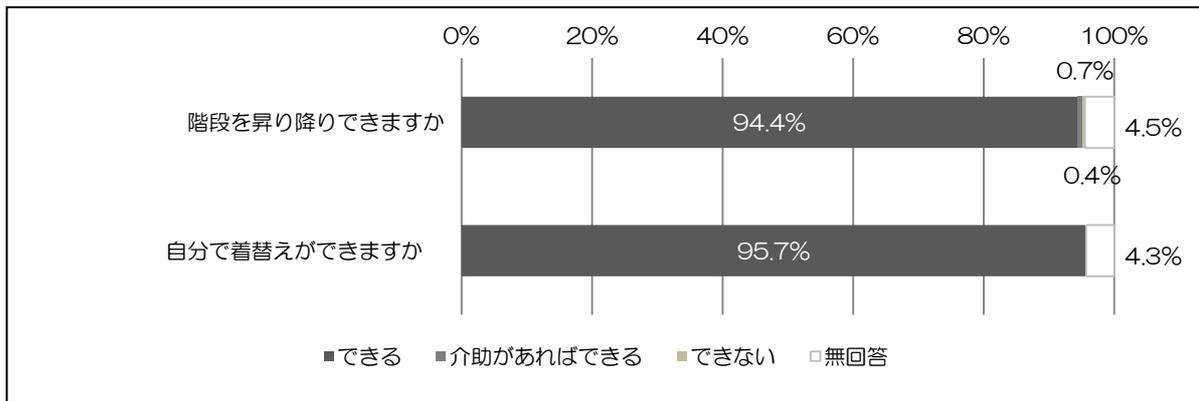
自分で食事の用意をしていないとき・できない時に、食事の用意をするのは「同居の家族」が87.5%となっており、「別居の家族」「ヘルパー」「配食サービス利用」は0%となっています。



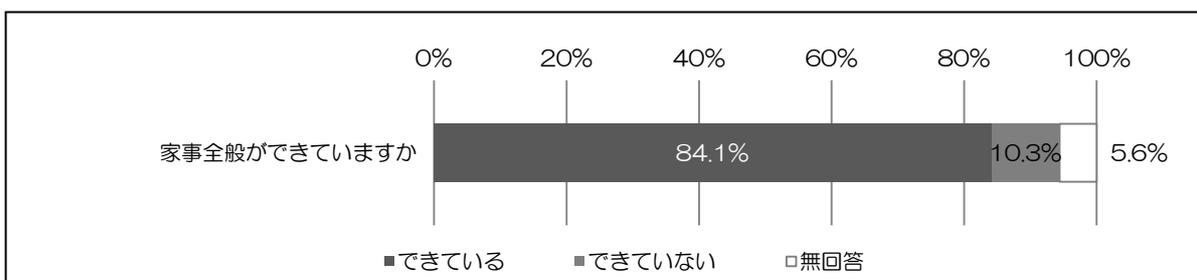
下記グラフ内の設問の回答においても、すべての項目で「できる」あるいは「受けない」が最も多くなっています。



下記グラフ内の設問の回答においても、すべての項目で「できる」あるいは「ない」が最も多くなっています。

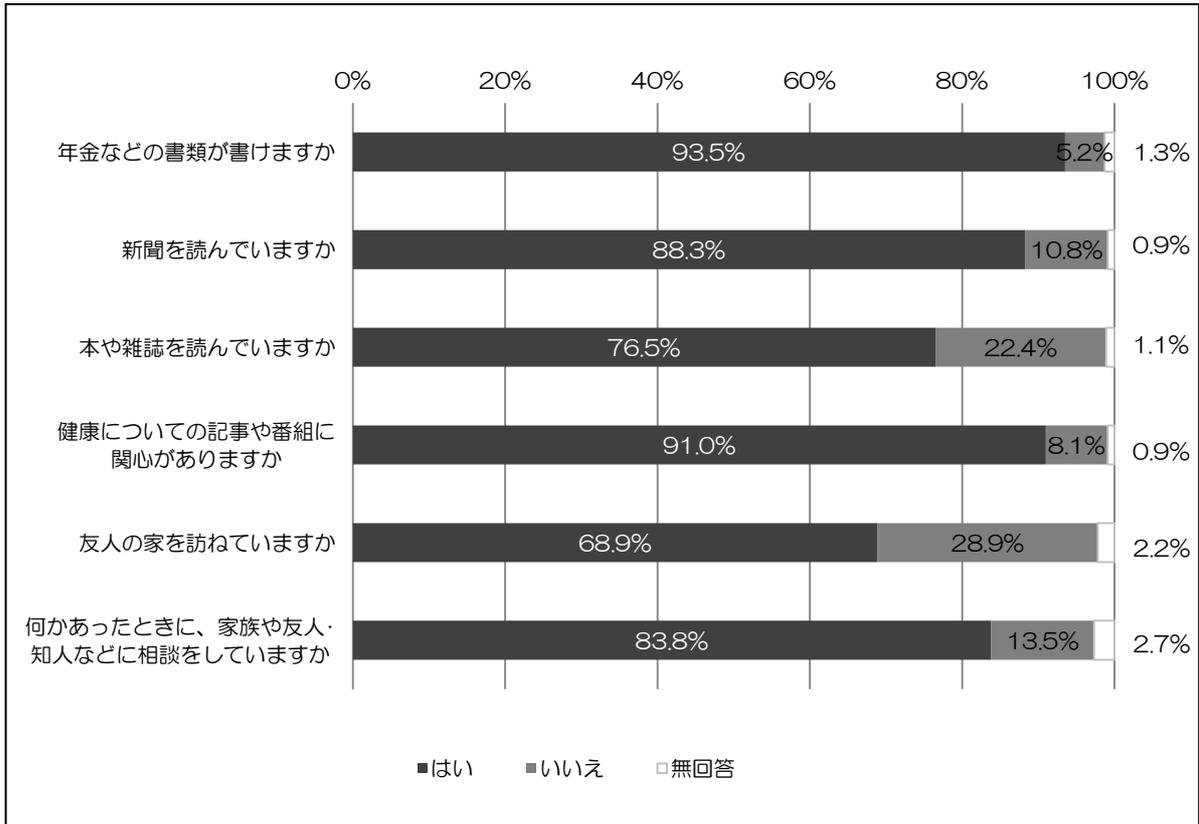


「家事全般ができていますか」では、「できている」が最も多く 84.1%となっています。



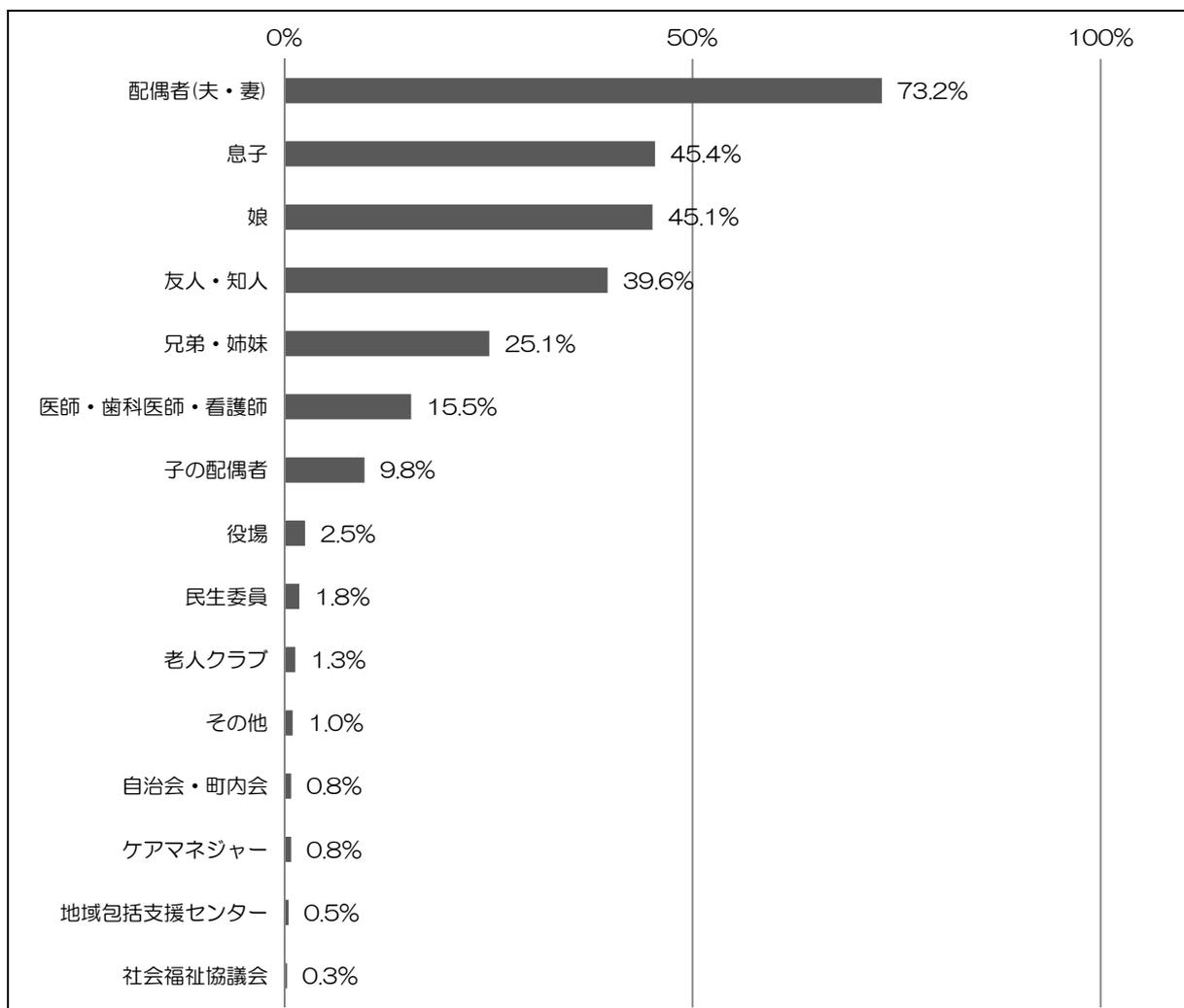
9 社会参加について

社会参加についての下記グラフ内の設問の回答は、すべての項目で「はい」が最も多くなっています。

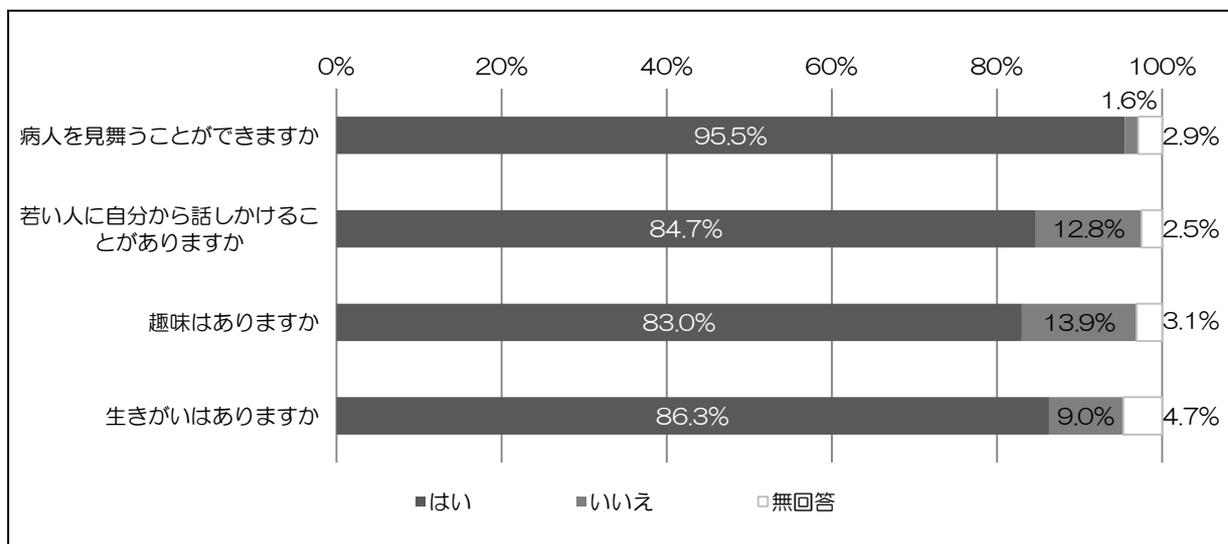


・相談相手（何かあったときに相談をしている人）（複数回答）

何かあったときに、誰かに相談をしている人の相談相手では、「配偶者（夫・妻）」が最も多く 73.2% となっています。次いで「息子」（45.4%）、「娘」（45.1%）となっています。

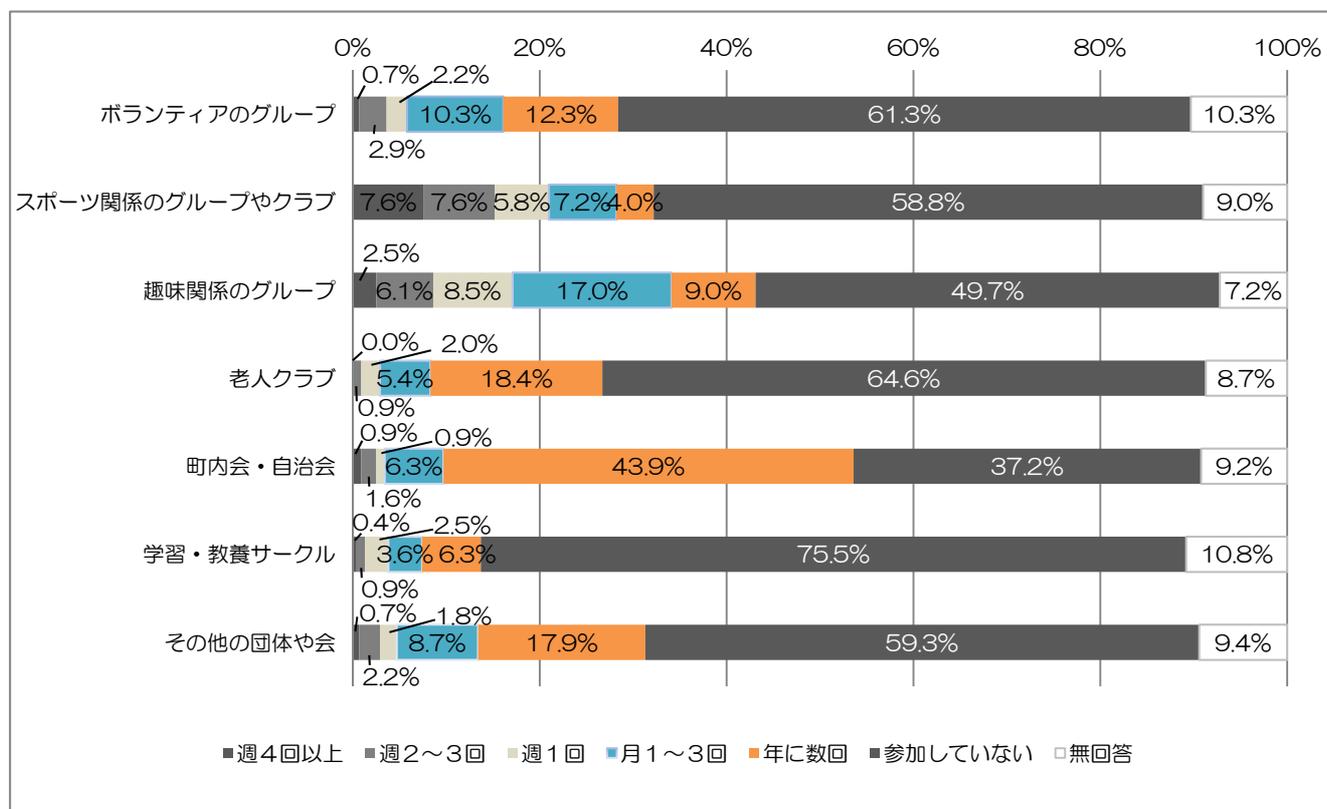


下記グラフ内の設問の回答は、すべての項目で「はい」が最も多くなっています。



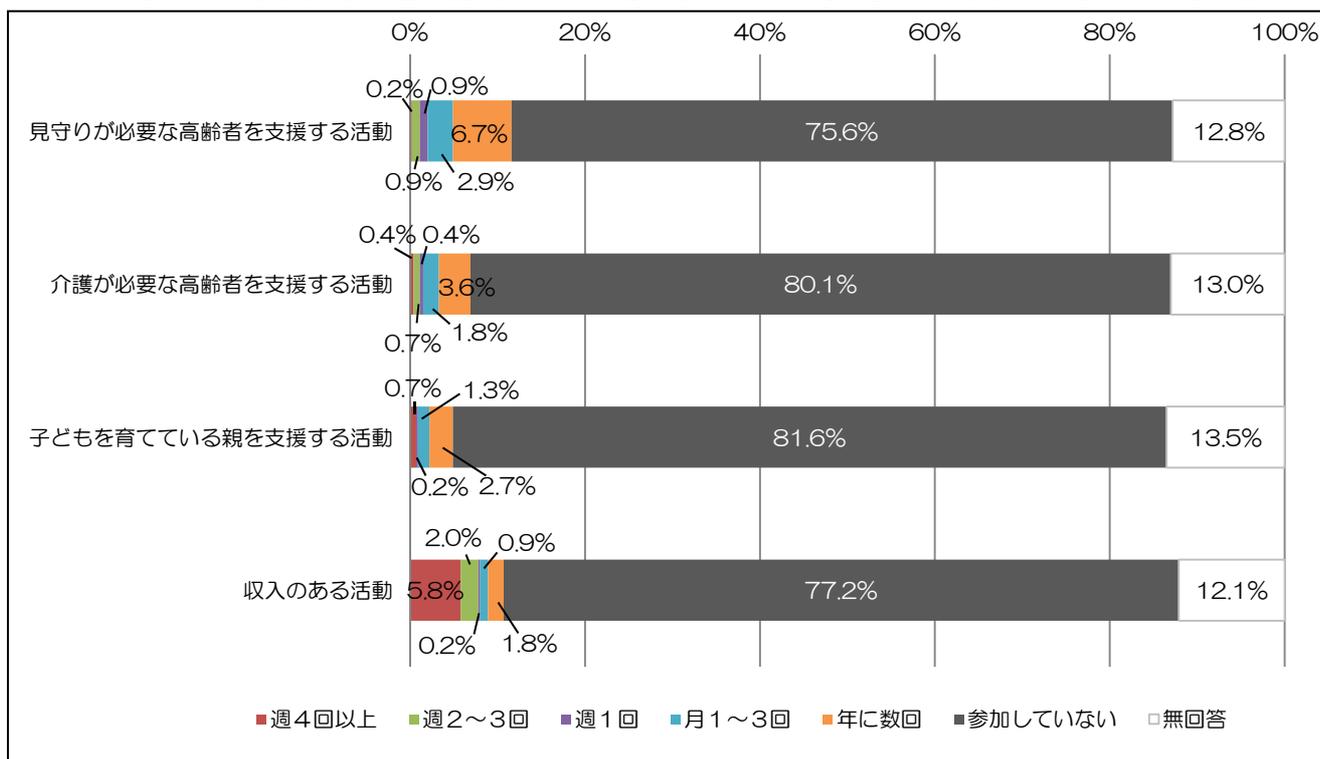
・地域活動等の参加状況（複数回答）

地域活動等の参加状況については、「自治会・町内会」は「年に数回」が43.9%となっています。その他の活動には「参加していない」が4割以上となっています。



・社会参加活動や仕事への参加状況（複数回答）

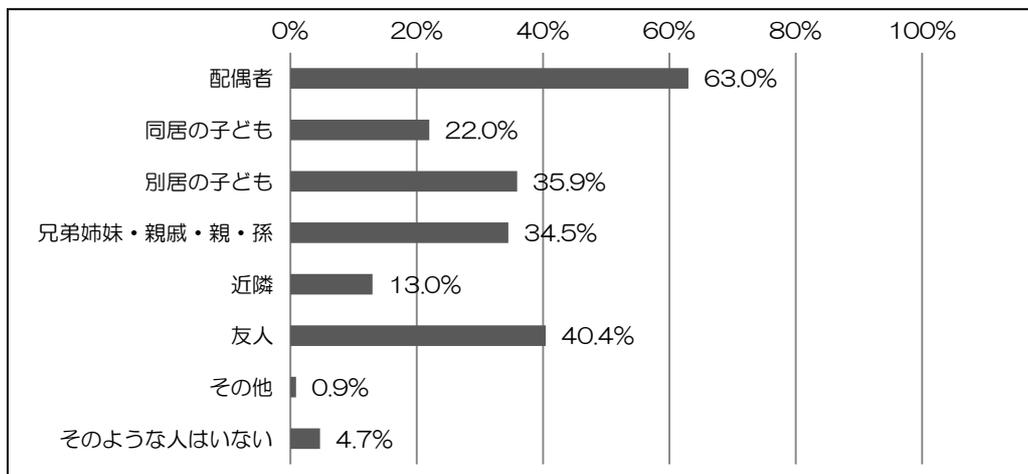
社会参加活動や仕事の参加状況については、「見守りが必要な高齢者を支援する活動」は「年に数回」が6.7%となっています。その他の活動についても「参加していない」が7割以上となっています。



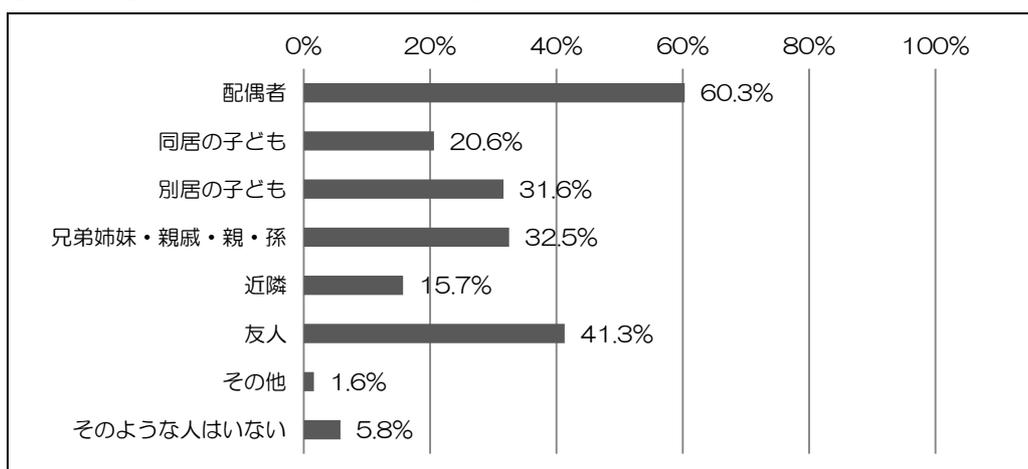
・たすけあいについて（複数回答）

いずれの場合も「配偶者」が6割以上となっています。

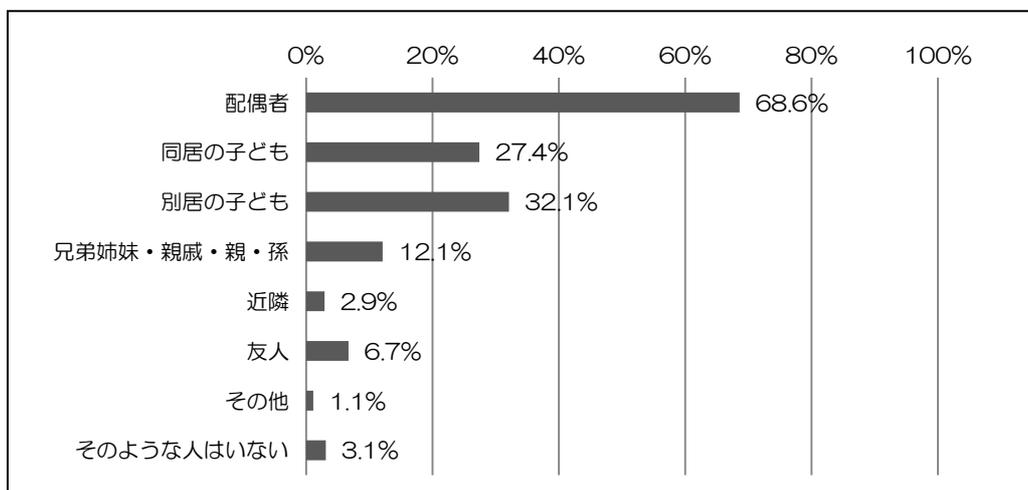
あなたの心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人



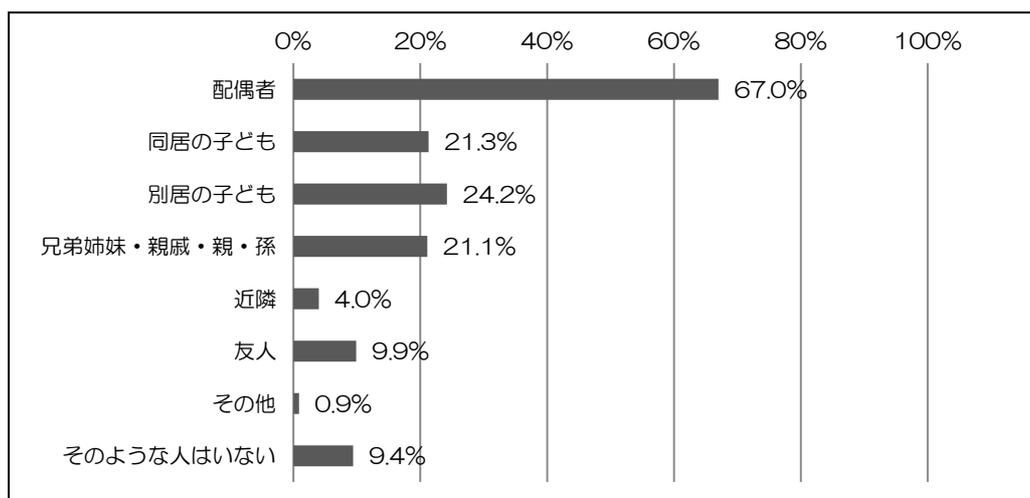
あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人



あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

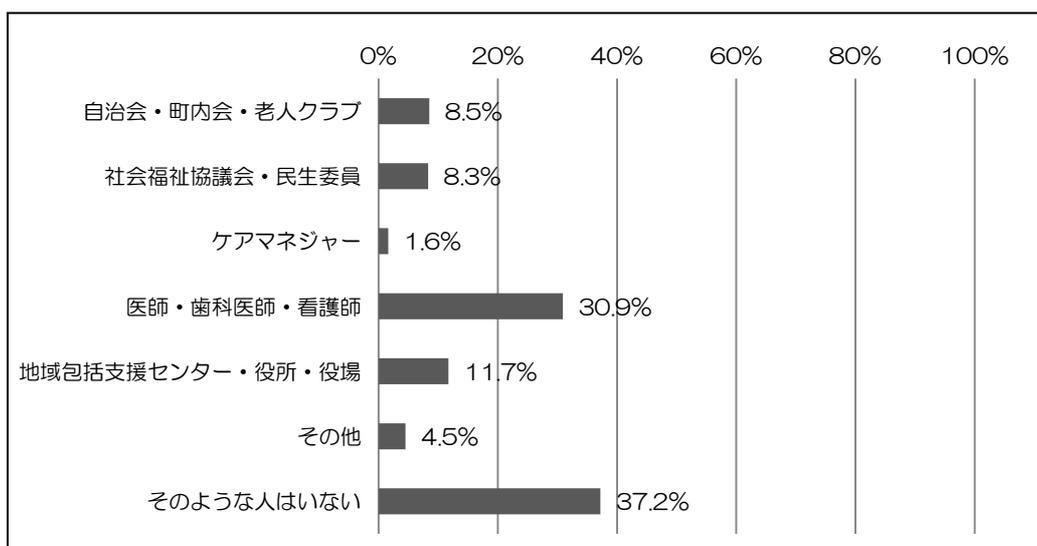


あなたが看病や世話をしている人



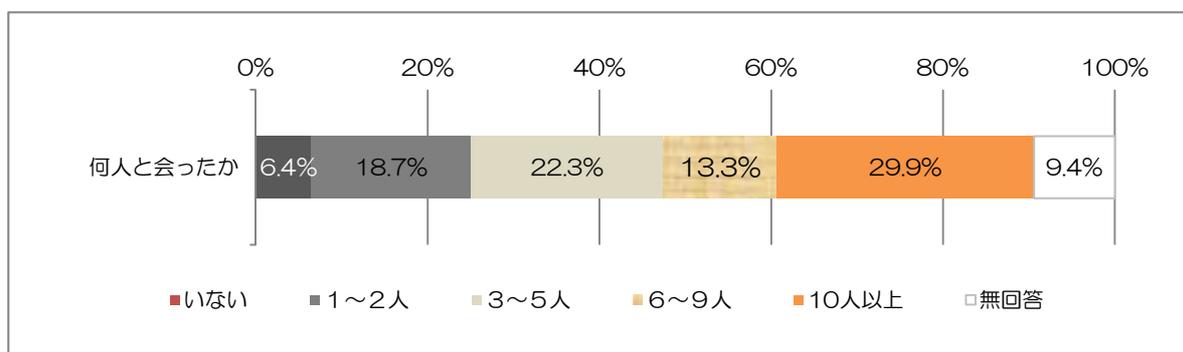
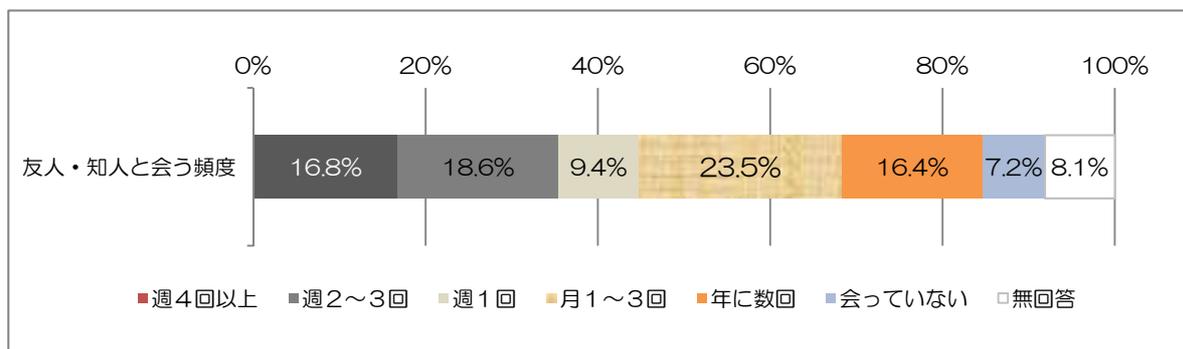
・何かあったときの相談相手（複数回答）

何かあった場合の相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が最も多く 30.9%となっています。

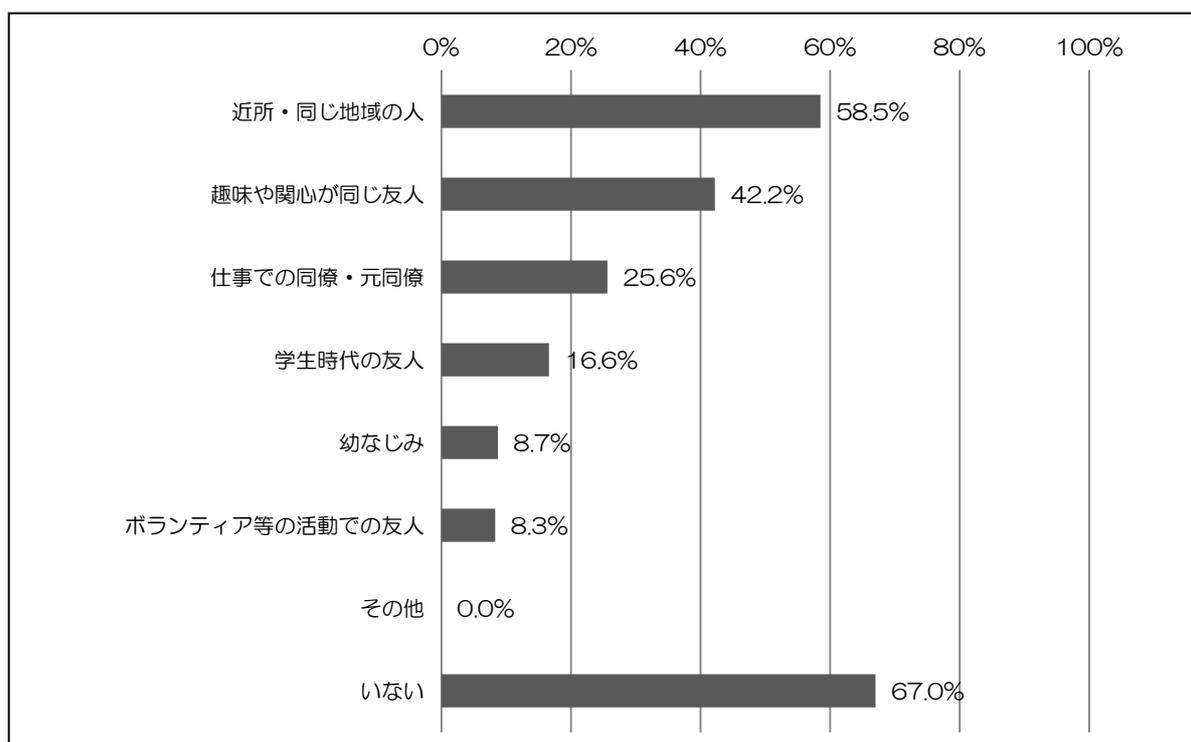


・友人・知人と会う頻度（複数回答）

友人・知人と会う頻度は、「月1～3回」が最も多く（23.5%）、1か月間の間に「10人以上」と会うが29.9%となっています。



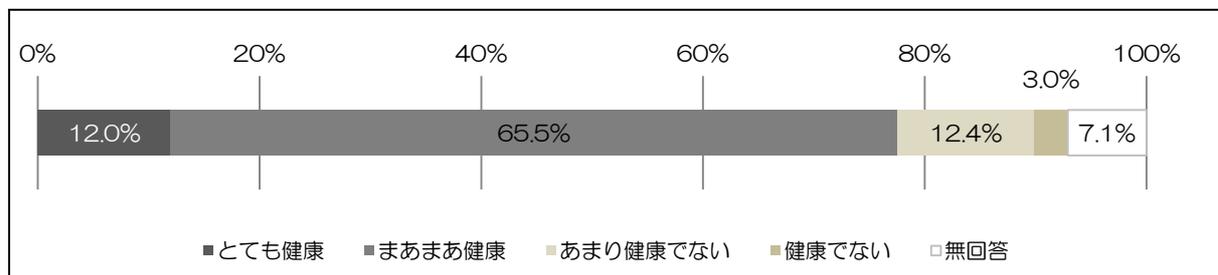
よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が最も多く（58.5%）、次いで「趣味や関心が同じ友人」（42.2%）となっています。



10 健康について

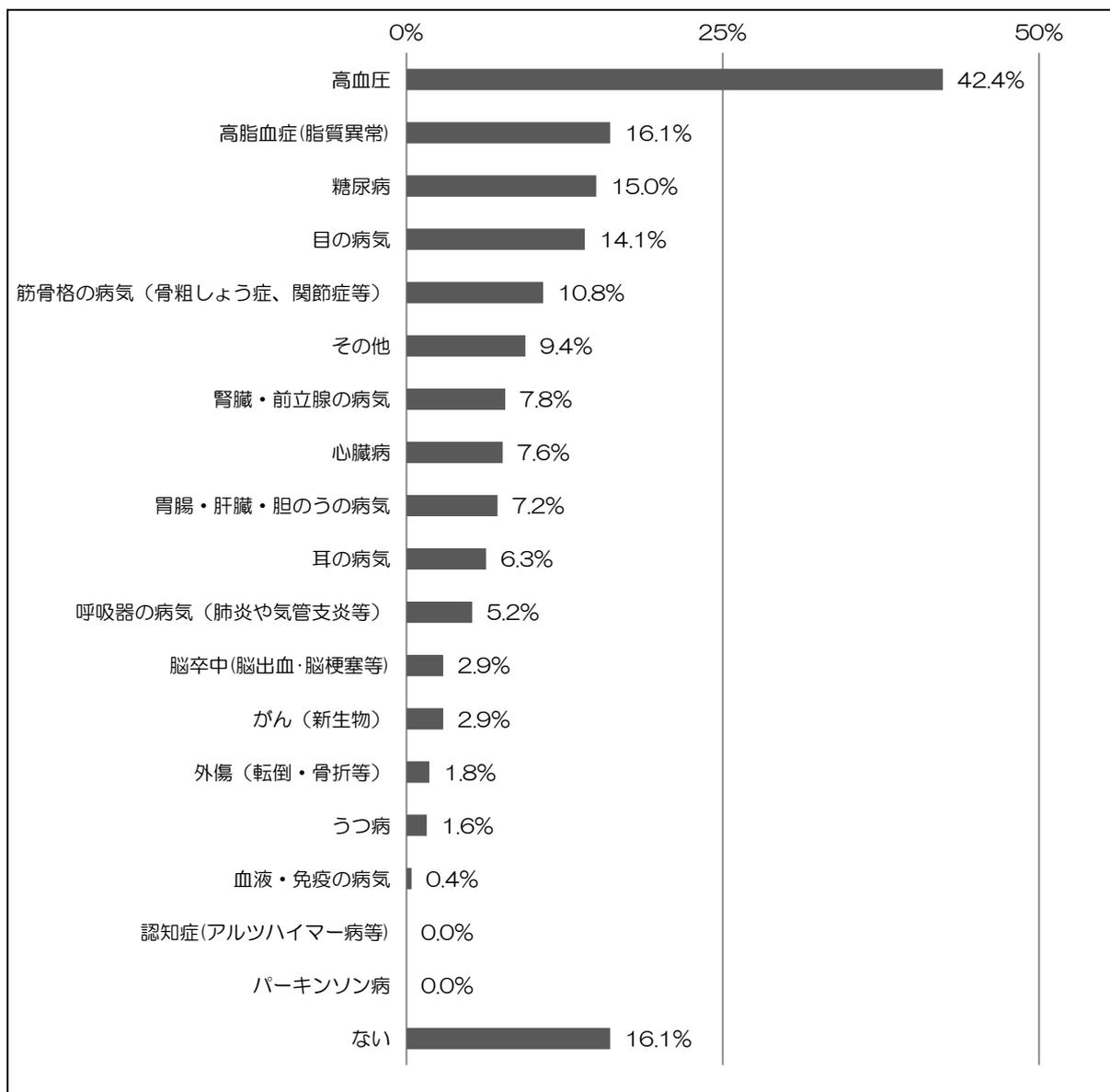
(1) 普段の健康状態

普段の健康状態については、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた層が 77.5%と7割を超えており、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた層（15.4%）を大きく上回っています。



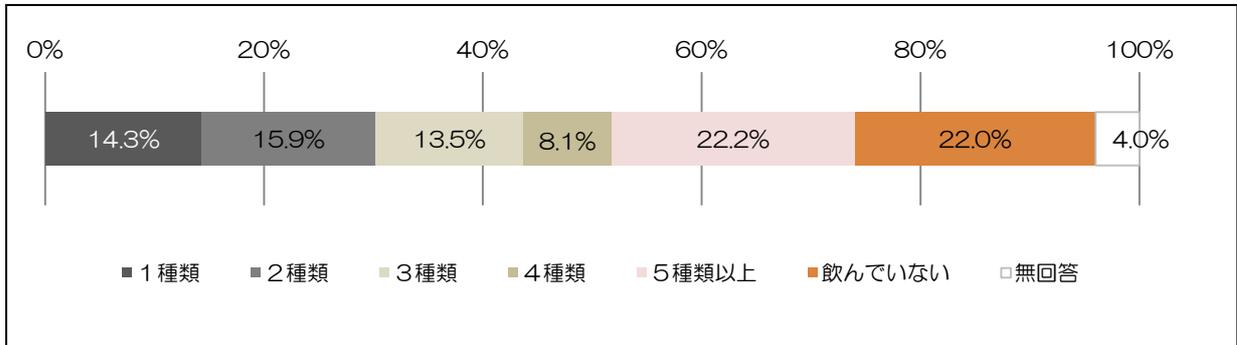
(2) 現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が最も多く 42.4%となっています。次いで「高脂血症（脂質異常）」（16.1%）、「糖尿病」（15.0%）となっています。



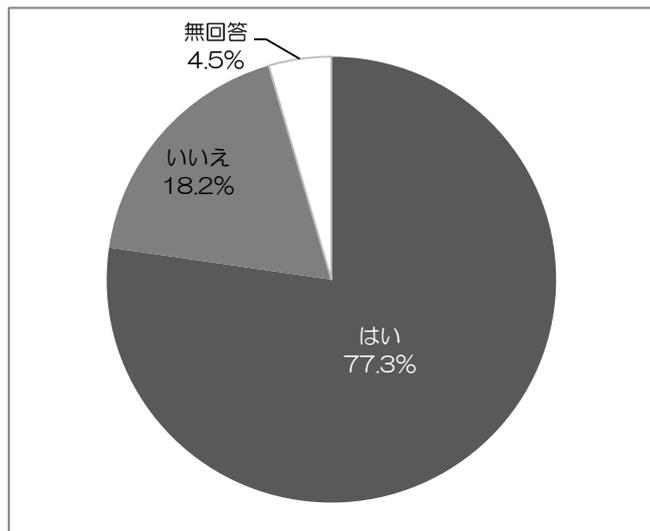
(3) 医師から処方された薬の状況

現在、医師から処方された薬を何種類飲んでいるかについては、「5種類以上」が22.2%と最も多くなっています。



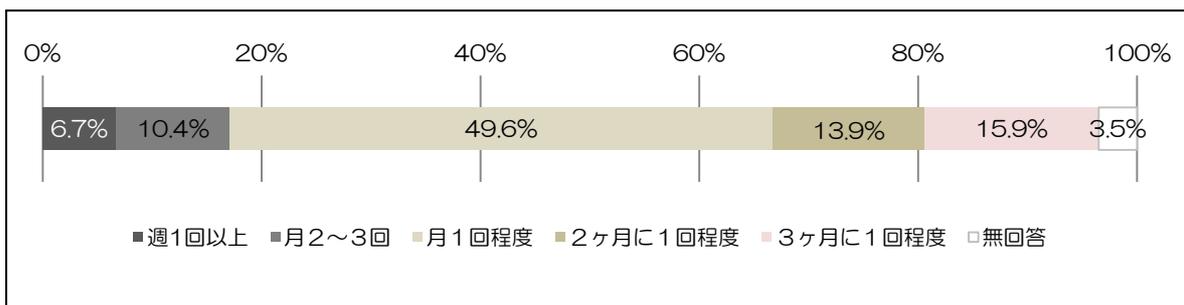
(4) 病院・医院（診療所、クリニック）への通院状況

現在、病院・医院（診療所、クリニック）へ通院しているかについては、「はい」が77.3%となっています。



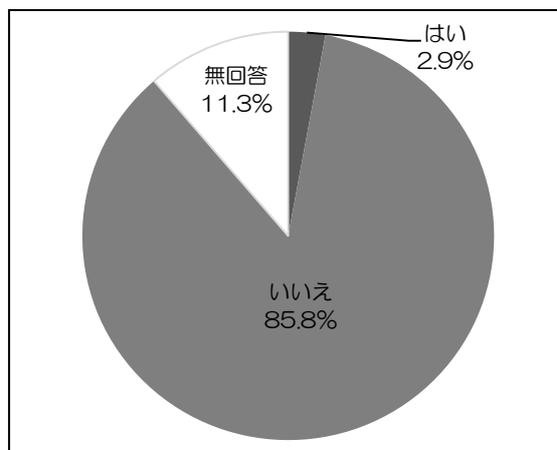
・通院頻度（現在通院している人）

通院している頻度については、「月1回程度」が最も多く49.6%となっています。次いで「3ヶ月に1回程度」（15.9%）、「2ヶ月に1回程度」（13.9%）となっています。



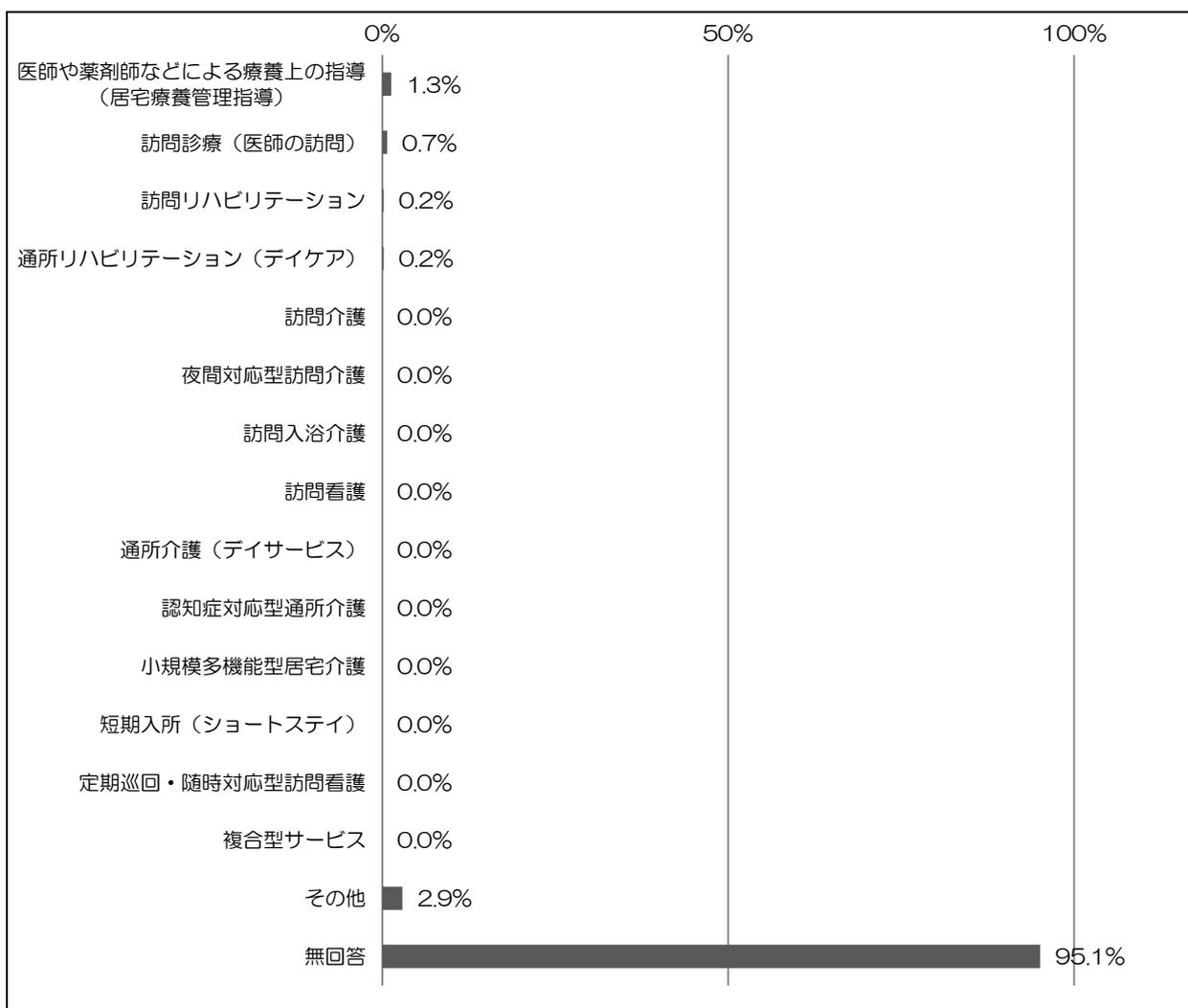
・通院での介助の必要性（現在通院している人）

通院に介助が必要かどうかについては、「いいえ」が85.8%と9割近くとなっています。



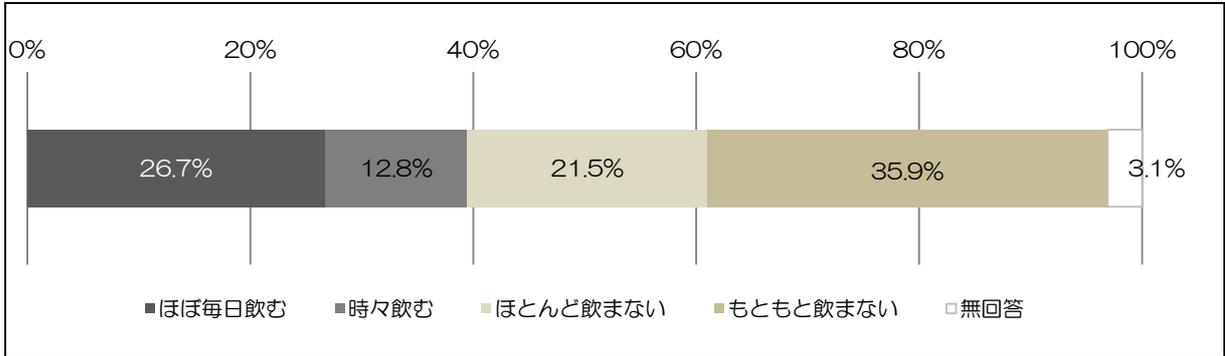
(5) 在宅サービスの利用状況（複数回答）

在宅サービスの利用状況については、「無回答」（利用していない）が95.1%とほとんどとなっています。利用している人の中で最も多かったサービスは「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」で1.3%となっています。



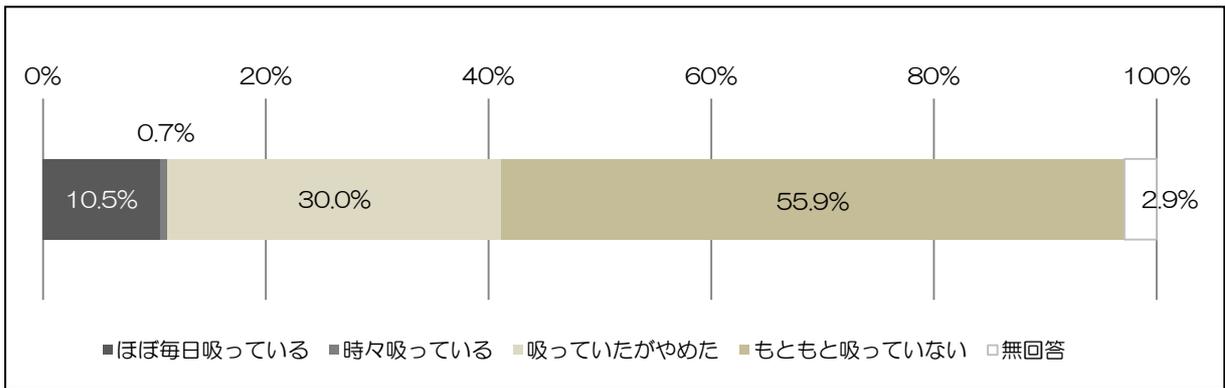
(6) 飲酒状況

飲酒状況については、「もともと飲まない」が最も多く 35.9%となっています。次いで「ほぼ毎日飲む」(26.7%)、「ほとんど飲まない」(21.5%) となっています。



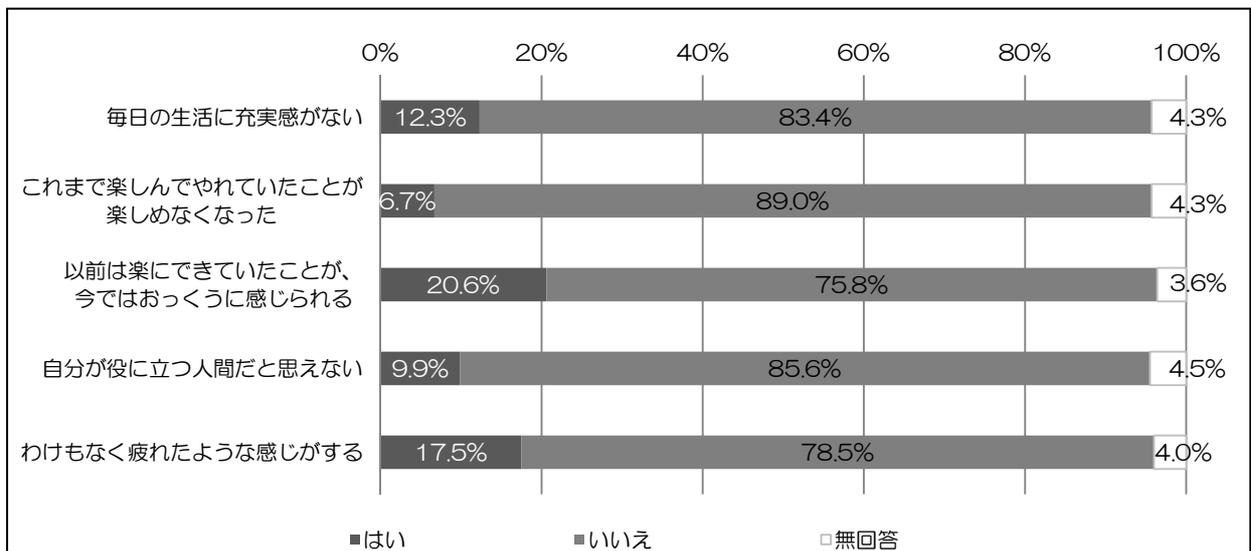
(7) 喫煙状況

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が最も多く 55.9%となっています。次いで「吸っていたがやめた」(30.0%) となっています。



(8) ここ 2 週間の状況

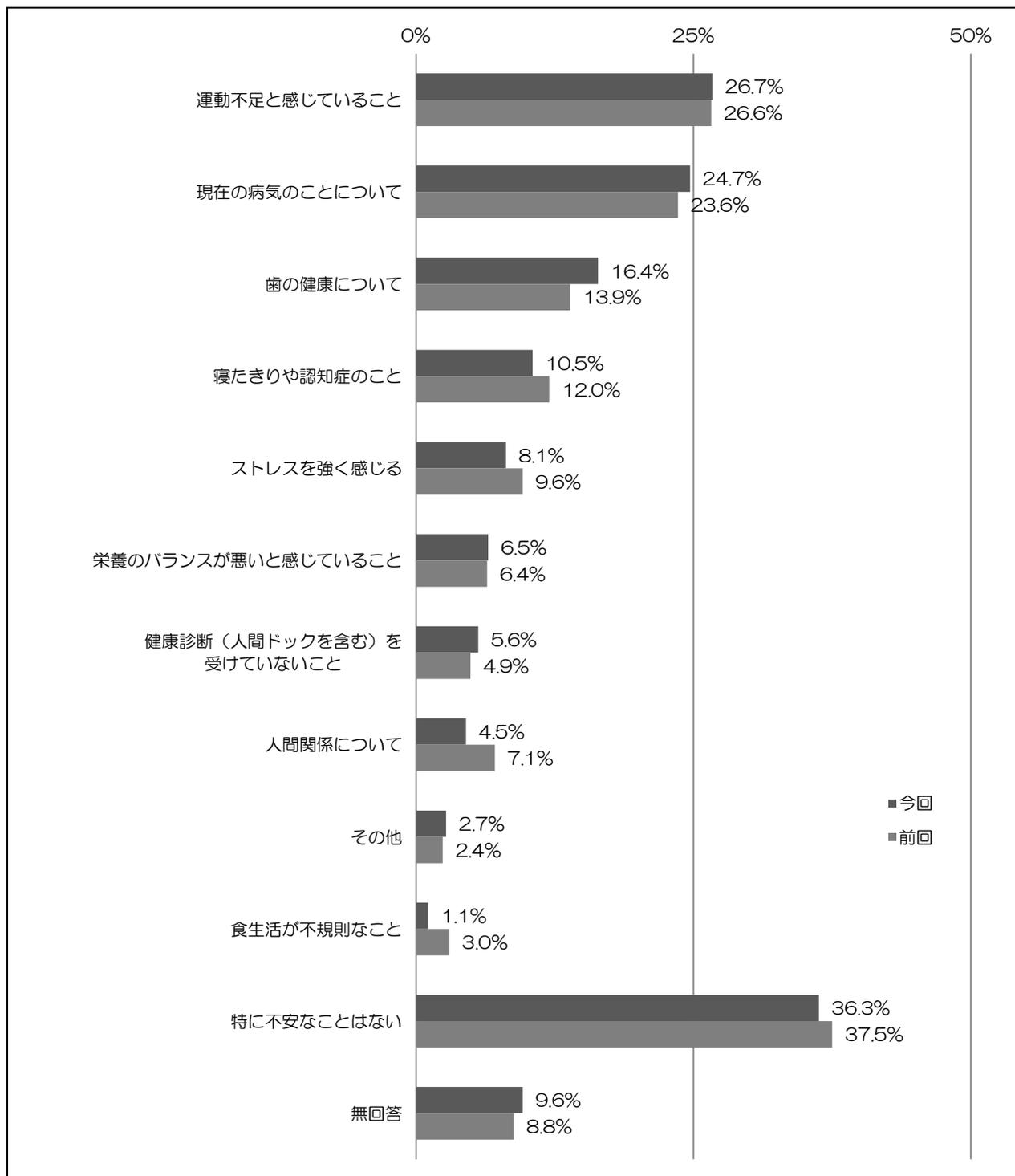
ここ 2 週間の状況については、下記の項目全てにおいて「いいえ」の割合が高くなっています。



(9) 健康などについての不安なこと（複数回答）

健康などに何か不安なことがあるかどうかについては、「特に不安なことはない」が 36.3%と最も多くなっていますが、不安を抱えている人の中では「運動不足と感じていること」が最も多く、26.7%となっています。次いで「現在の病気について」（24.7%）、「歯の健康について」（16.4%）となっています。

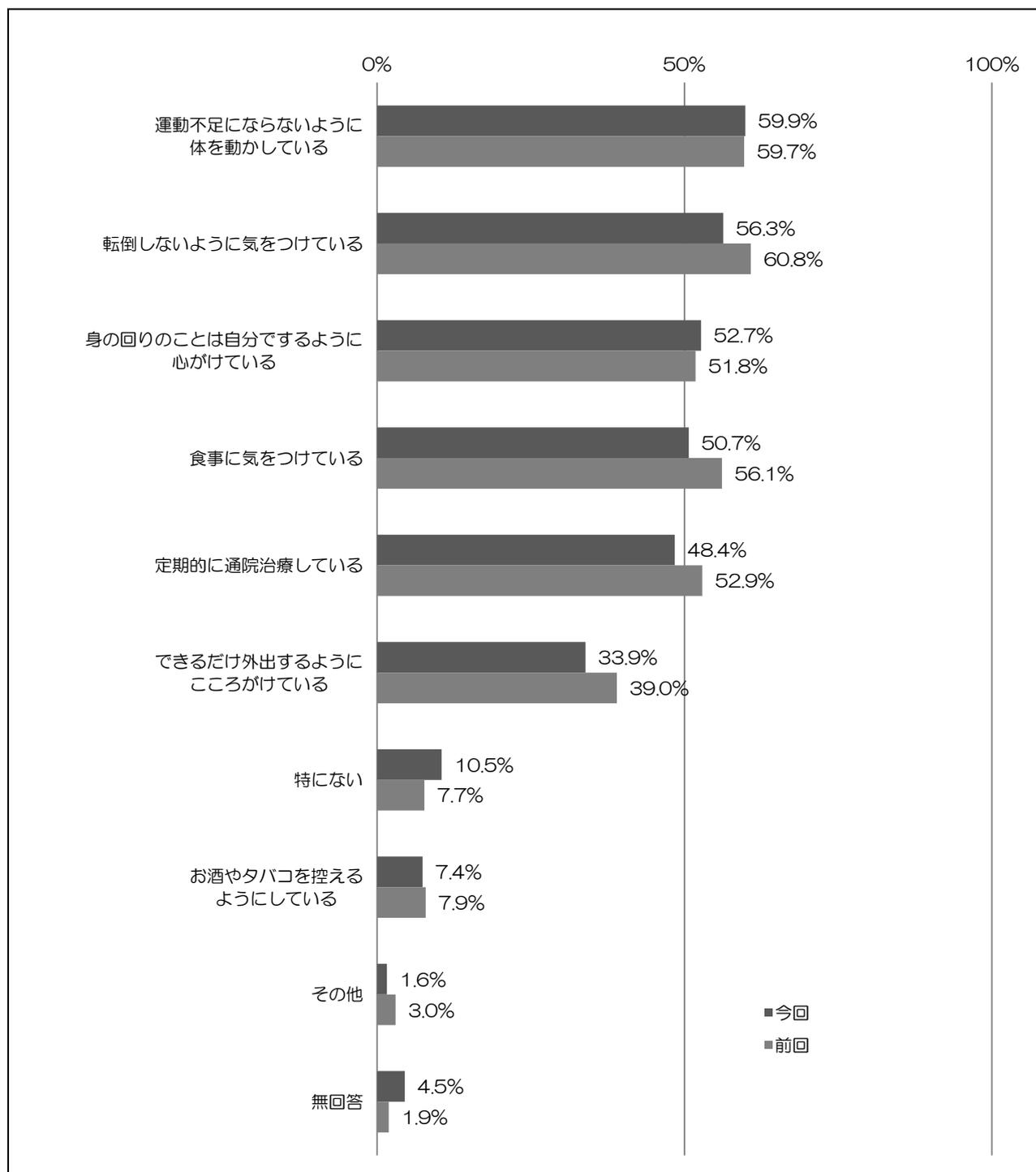
前回調査と比較すると、「運動不足と感じていること」「現在の病気について」「歯の健康について」が増加しています。



(10) 健康な生活を送るために気をつけていること（複数回答）

健康な生活を送るために気をつけていることについては、「運動不足にならないように体を動かしている」が最も多く 59.9%となっています。次いで「転倒しないように気をつけている」(56.3%)、「身の回りのことは自分でするように心がけている」(52.7%) となっています。

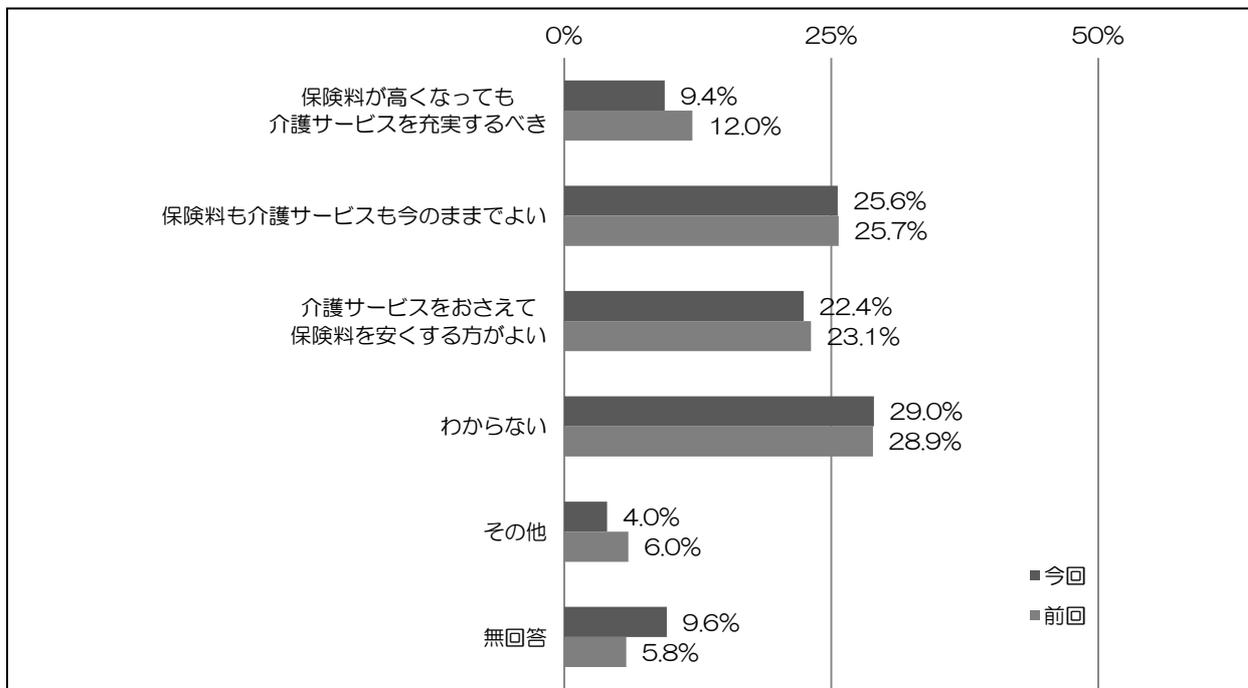
前回調査と比較すると、「食事に気をつけている」「定期的に通院治療している」が減少しています。



1 1 介護保険について

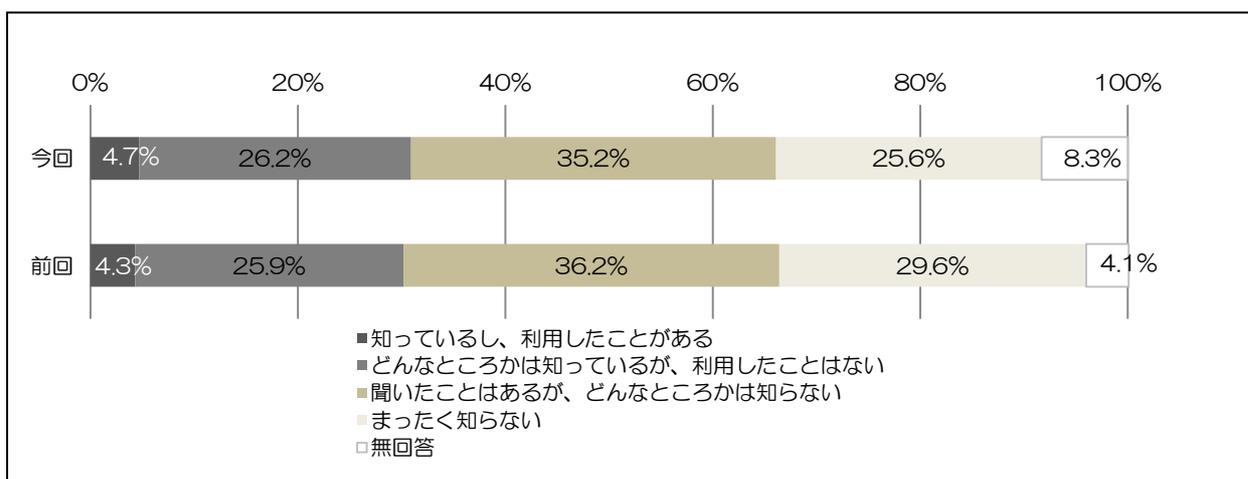
(1) 今後の保険料のあり方について

今後の保険料のあり方については、「わからない」が最も多く 29.0%となっています。次いで「保険料も介護サービスも今のままでよい」(25.6%)、「介護サービスをおさえて、保険料を安くするほうがよい」(22.4%)となっています。



(2) 地域包括支援センターの認知度

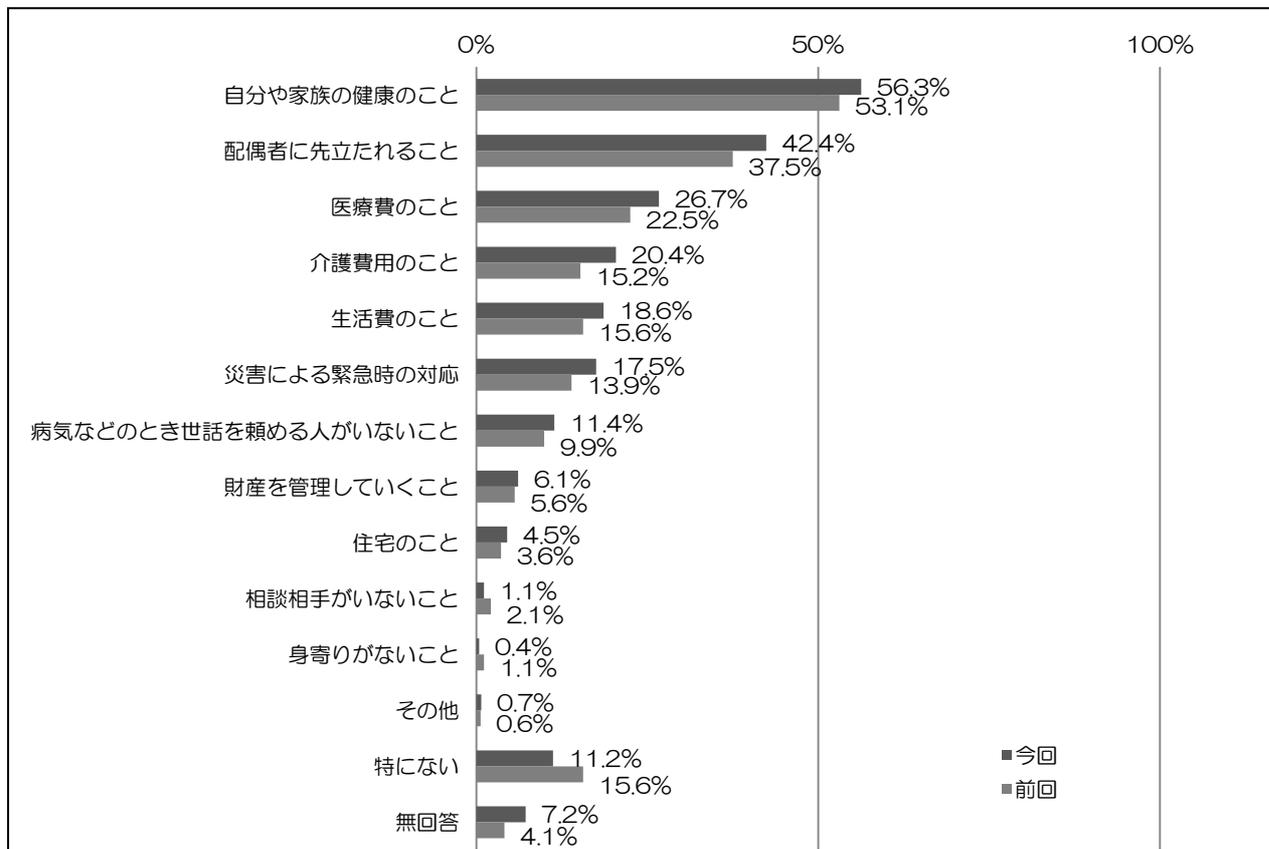
地域包括支援センターの認知度については、「聞いたことはあるが、どんなところかは知らない」が最も多く 35.2%となっており、次いで「どんなところかは知っているが、利用したことはない」が 26.2%となっています。



12 将来の生活について

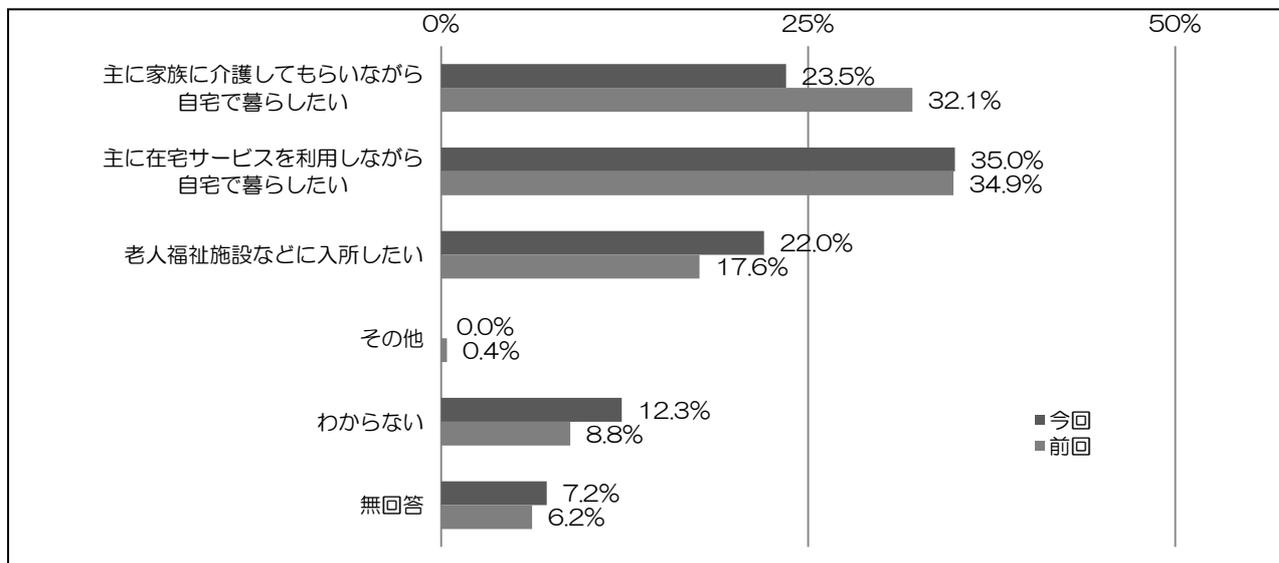
(1) 将来不安に感じること（複数回答）

将来不安に感じることについては、「自分や家族の健康のこと」が最も多く56.3%となっています。次いで「配偶者に先立たれること」（42.4%）、「医療費のこと」（26.7%）となっています。



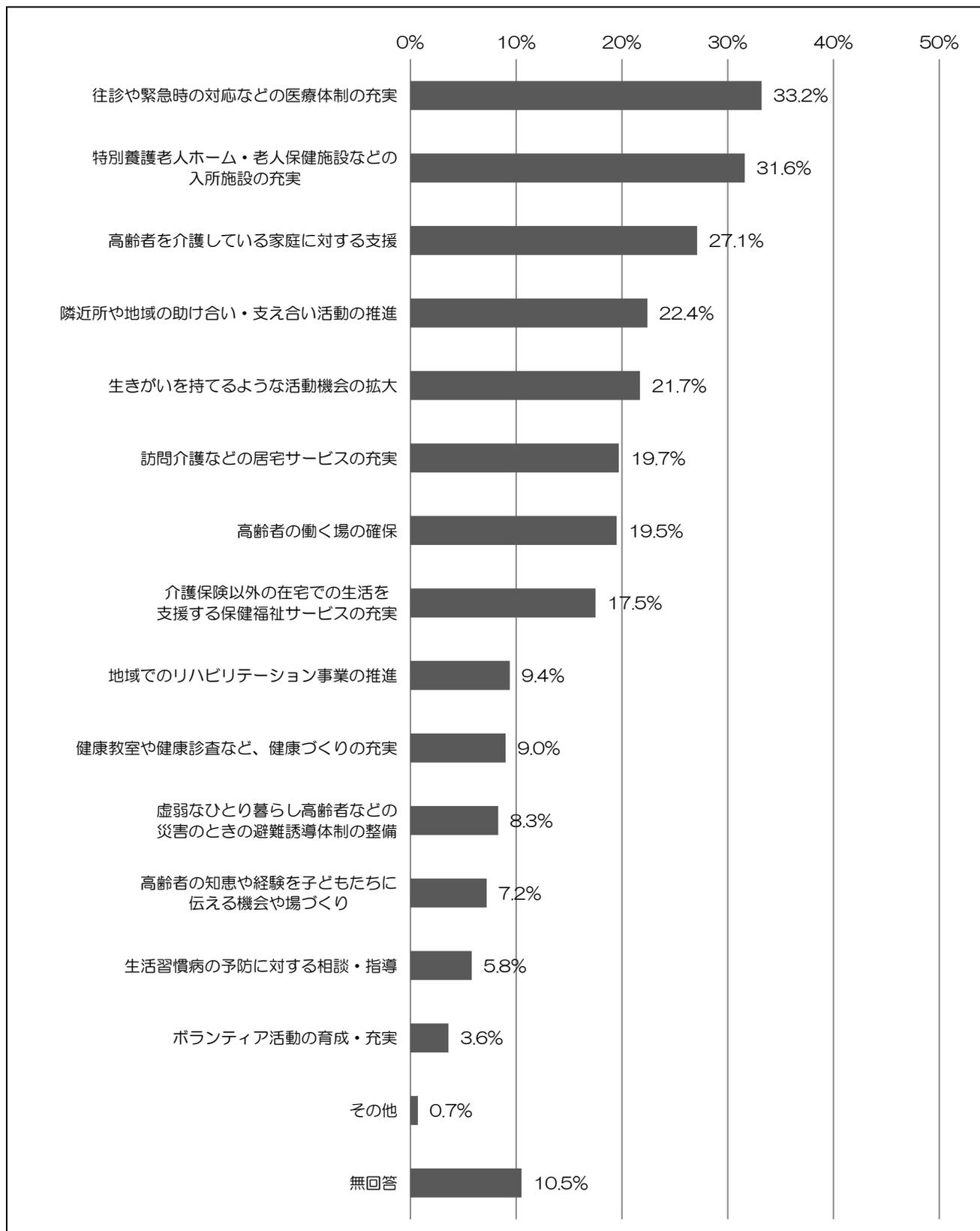
(2) 将来生活したい場所

将来生活したい場所については、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」（23.5%）、「主に在宅サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」（35.0%）と自宅で暮らしたい人が多くなっています。前回調査と比較してもその傾向は大きく変わっていません。

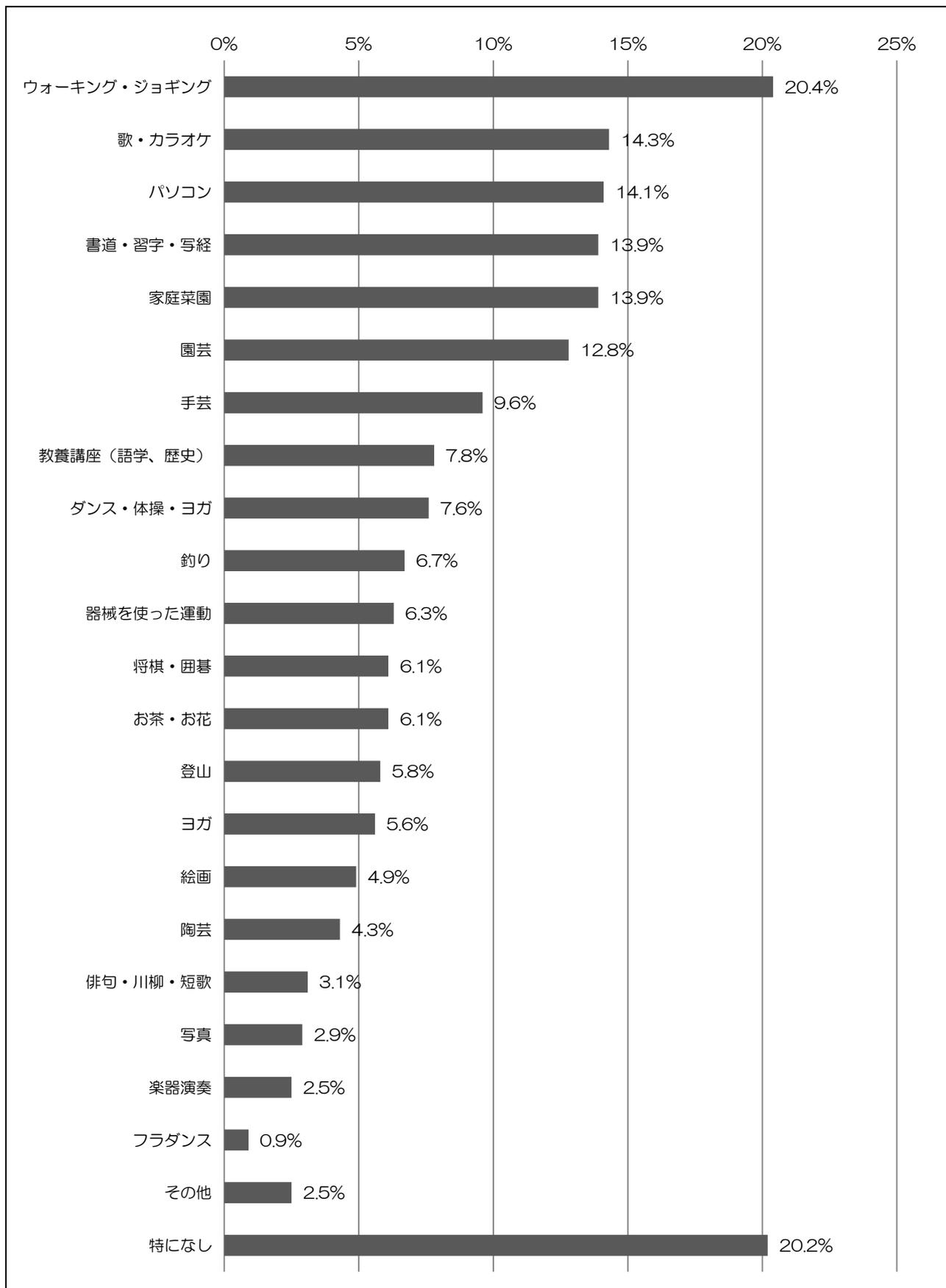


(3) 河南町に望む施策（複数回答）

これからの本格的な超高齢社会に対応していくため、河南町に望むことについては、「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」が33.2%と最も多くなっています。次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」（31.6%）、「高齢者を介護している家庭に対する支援」（27.1%）となっています。

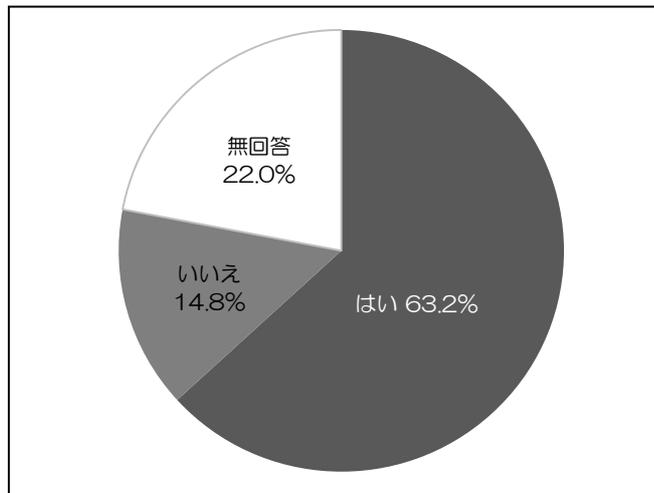


開催されたいプログラムについては、「ウォーキング・ジョギング」(20.4%)、「歌・カラオケ」(14.3%)「パソコン」(14.1%)となりました。

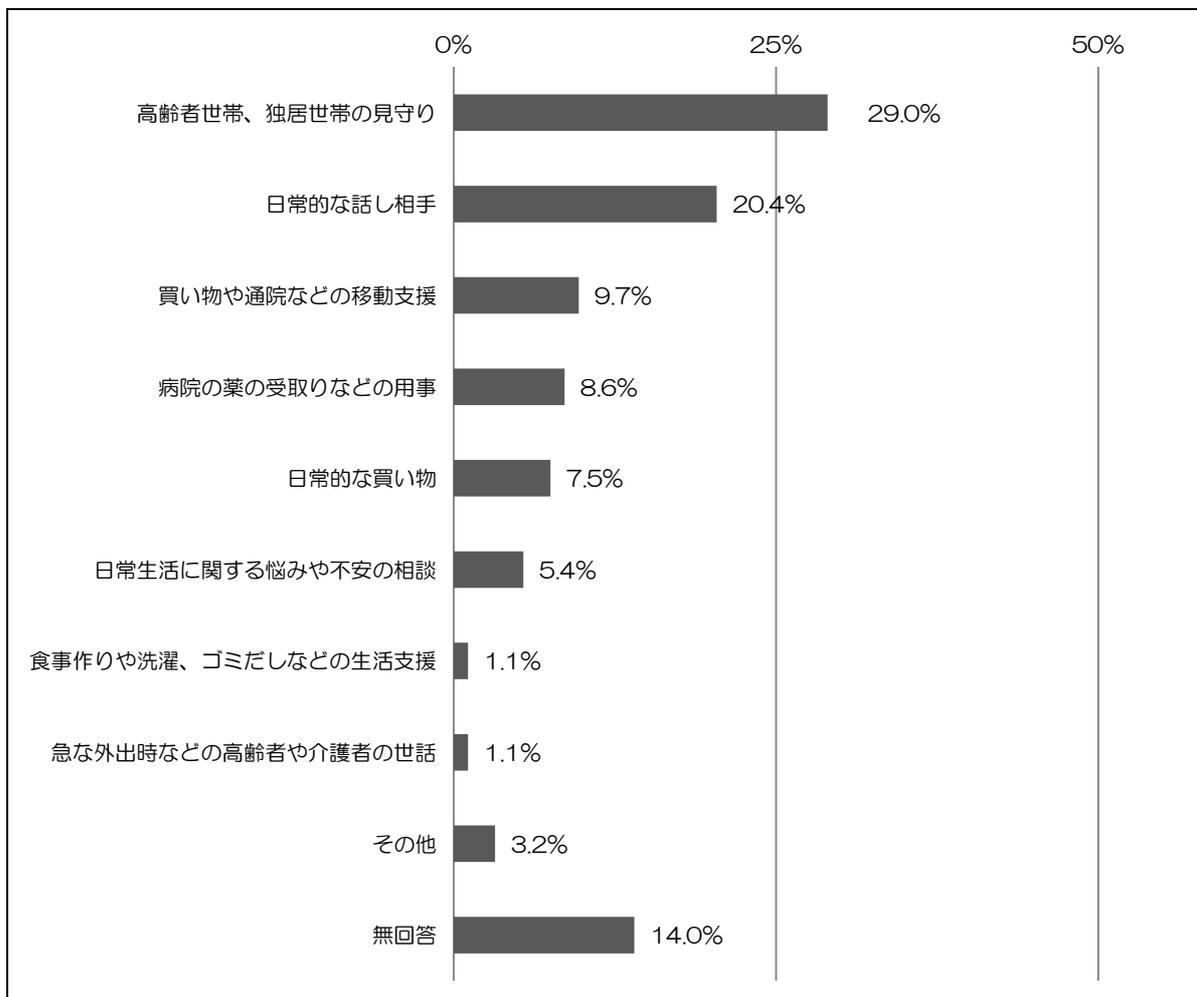


(4) ボランティアやNPOの必要性について

有償または無償ボランティアやNPOの必要性について、6割以上の方が「はい」と回答しました。

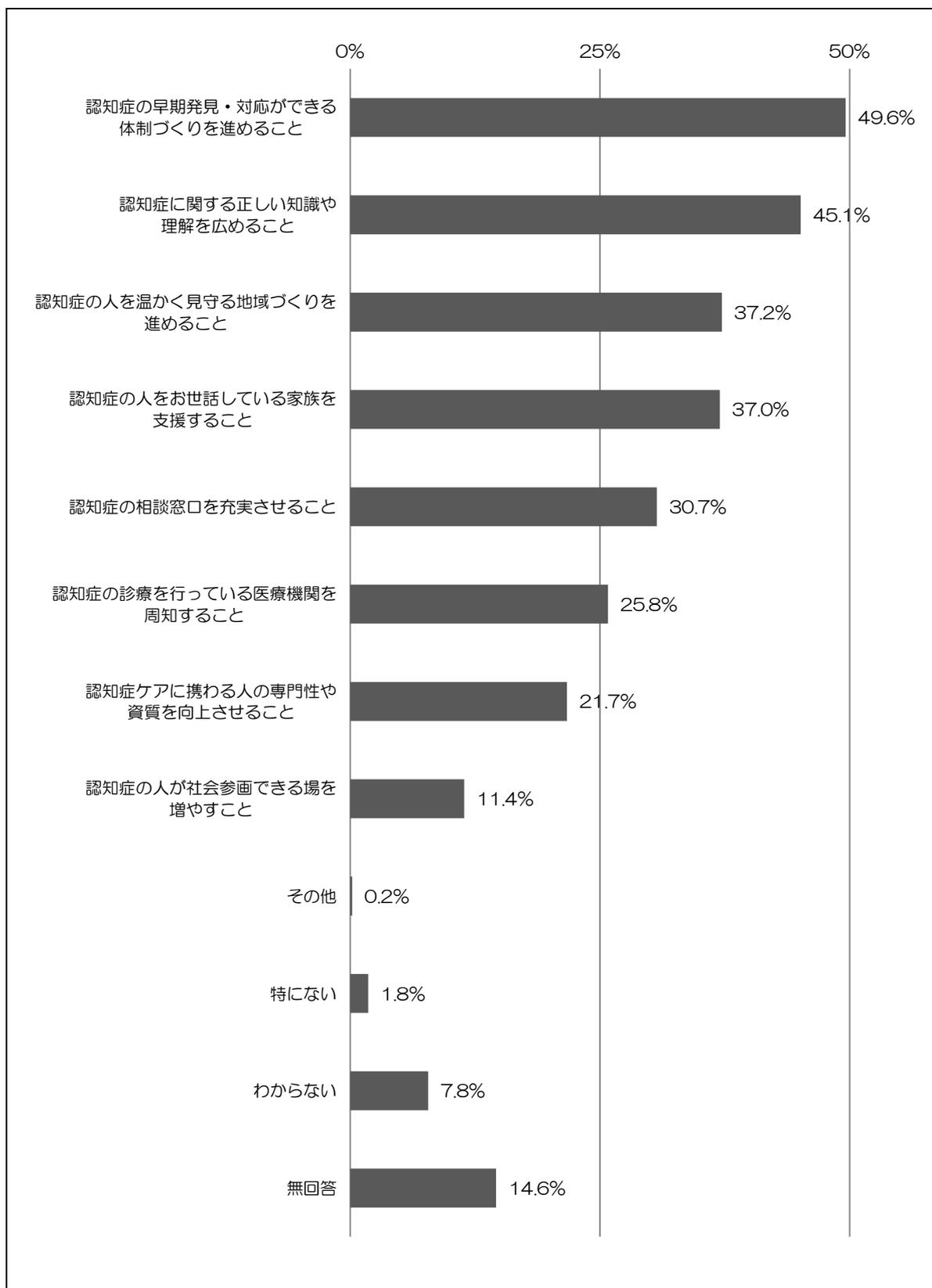


もしボランティアやNPOに参加するのなら、「高齢者世帯・独居世帯の見守り」(29.0%)、「日常的な話し相手」(20.4%)、「買い物や通院などの移動支援」(9.7%)となりました。



(5) 認知症の人が安心して暮らせるまちにするために（複数回答）

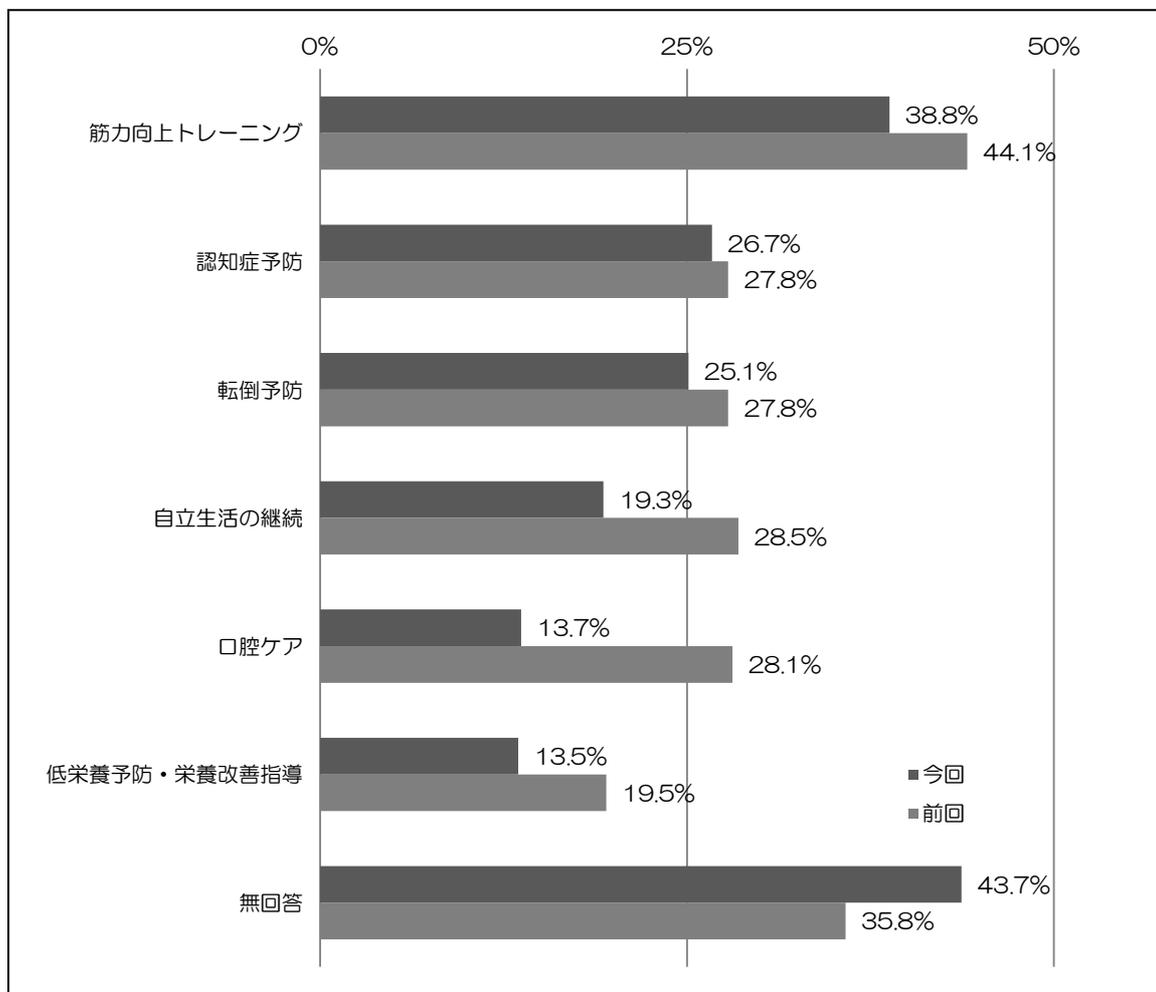
認知症の人が安心して暮らせるまちにするため河南町に望むことについては、「認知症の早期発見・対応ができる体制づくり」(49.6%)が最も多くなっています。



13 介護予防サービスについて

(1) 利用したい介護予防サービス（複数回答）

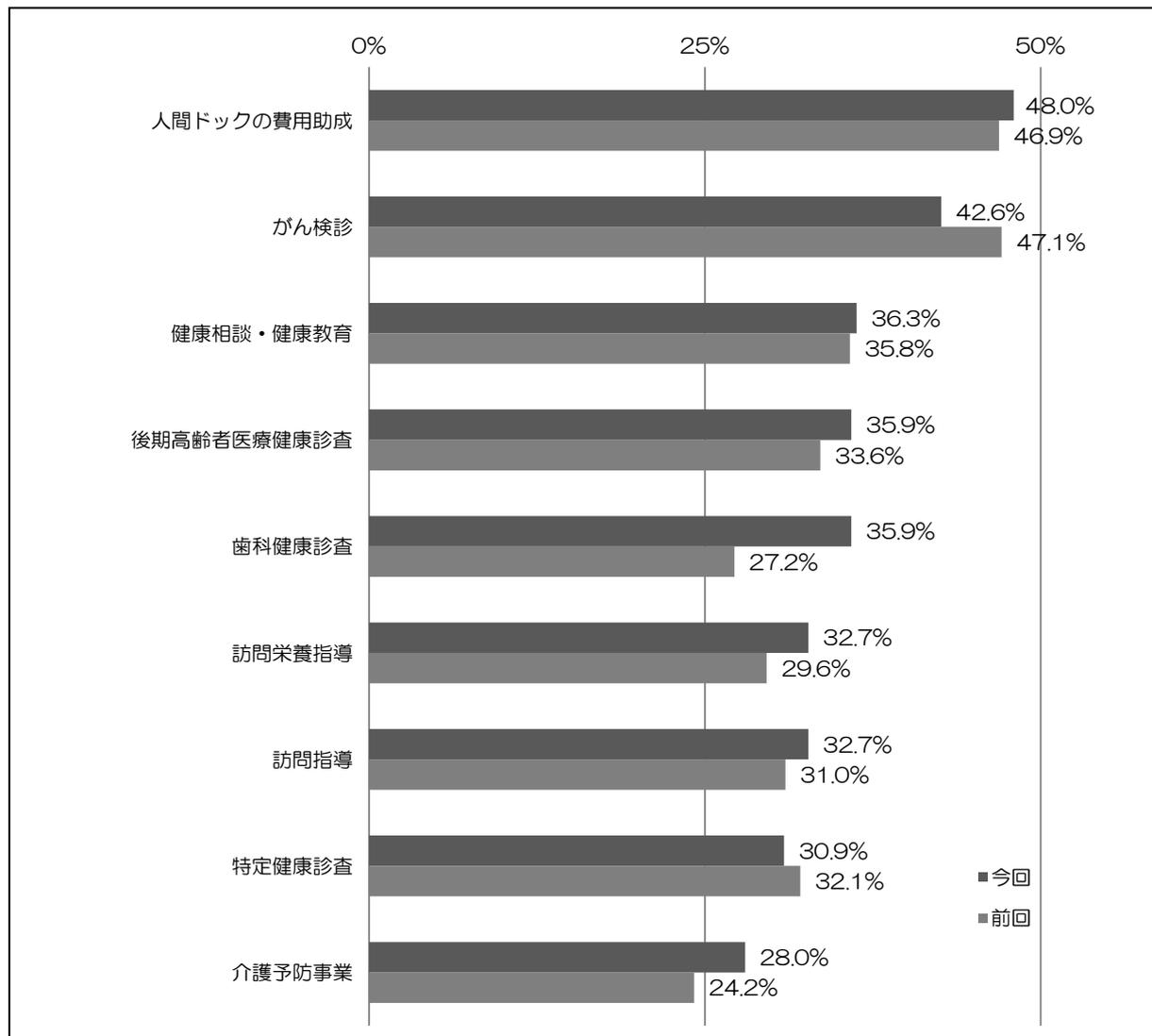
利用を希望している介護予防サービスについては、「筋力向上トレーニング」が 38.8%と最も多くなっています。次いで「認知症予防」(26.7%)、「転倒予防」(25.1%)となっています。



14 保健福祉サービスについて

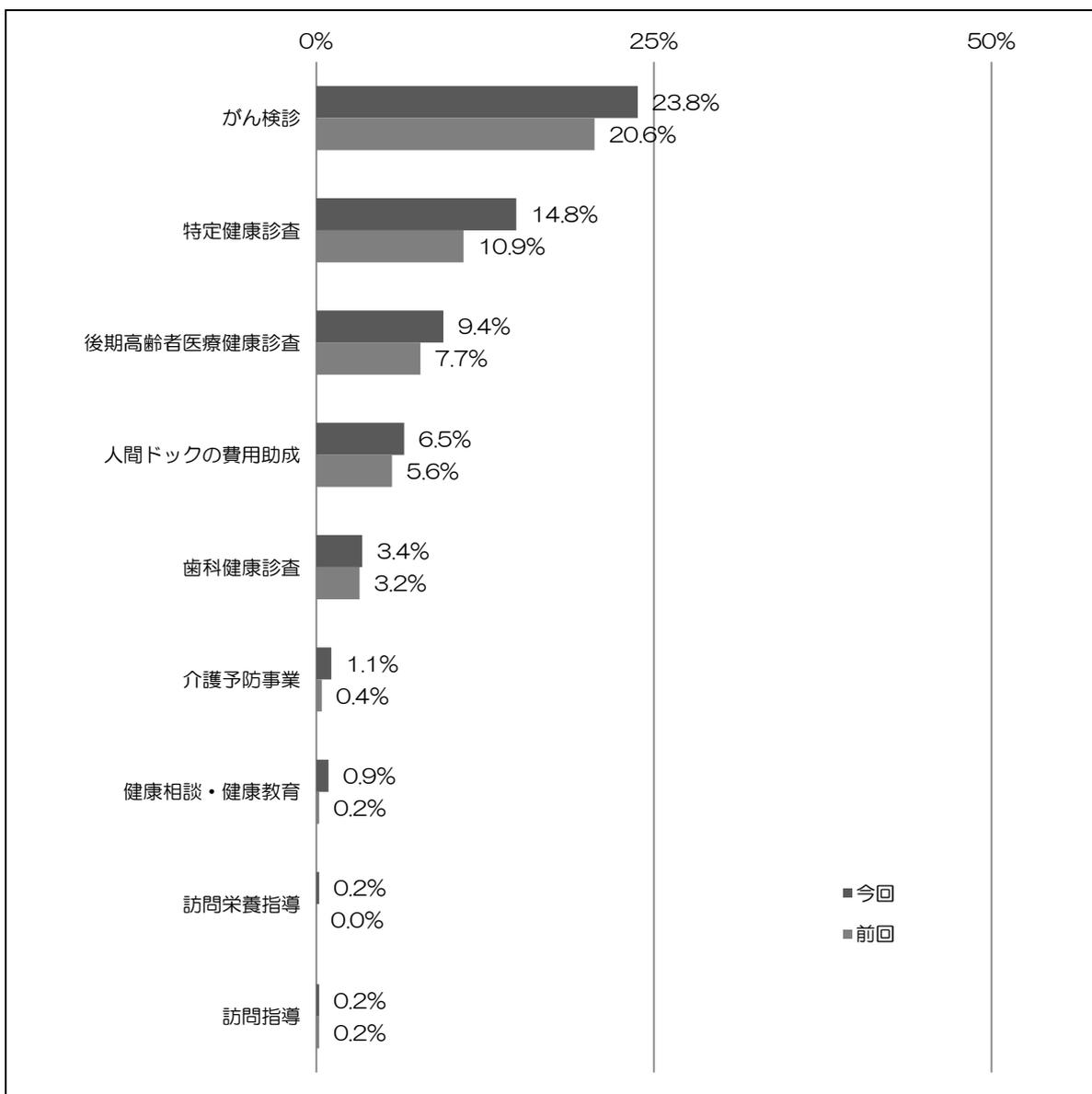
(1) 知っている保健福祉サービス（複数回答）

知っている保健福祉サービスについては、「人間ドックの費用助成」が48.0%と最も多くなっています。次いで「がん検診」(42.6%)、「健康相談・健康教育」(36.3%)となっています。



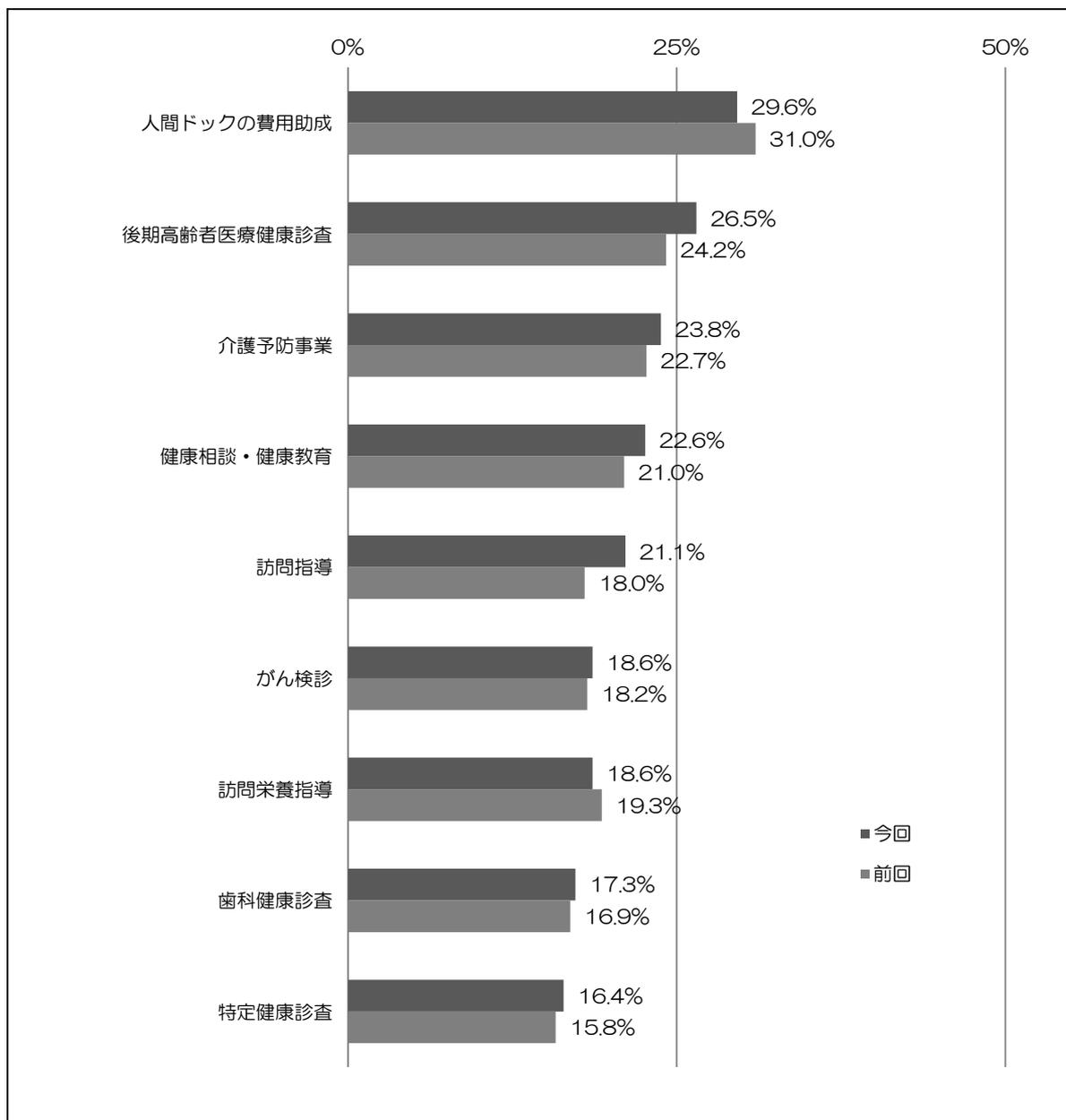
(2) 利用している保健福祉サービス（複数回答）

現在利用している保健福祉サービスについても、「がん検診」が 23.8%と最も多くなっています。次いで「特定健康診査」（14.8%）、「後期高齢者医療健康診査」（9.4%）となっています。



(3) 今後利用したい保健福祉サービス（複数回答）

今後利用したい保健福祉サービスについては、「人間ドックの費用助成」が 29.6%と最も多くなっています。次いで「後期高齢者医療健康診査」(26.5%)、「介護予防事業」(23.8.%)となっています。



15 機能評価の結果について

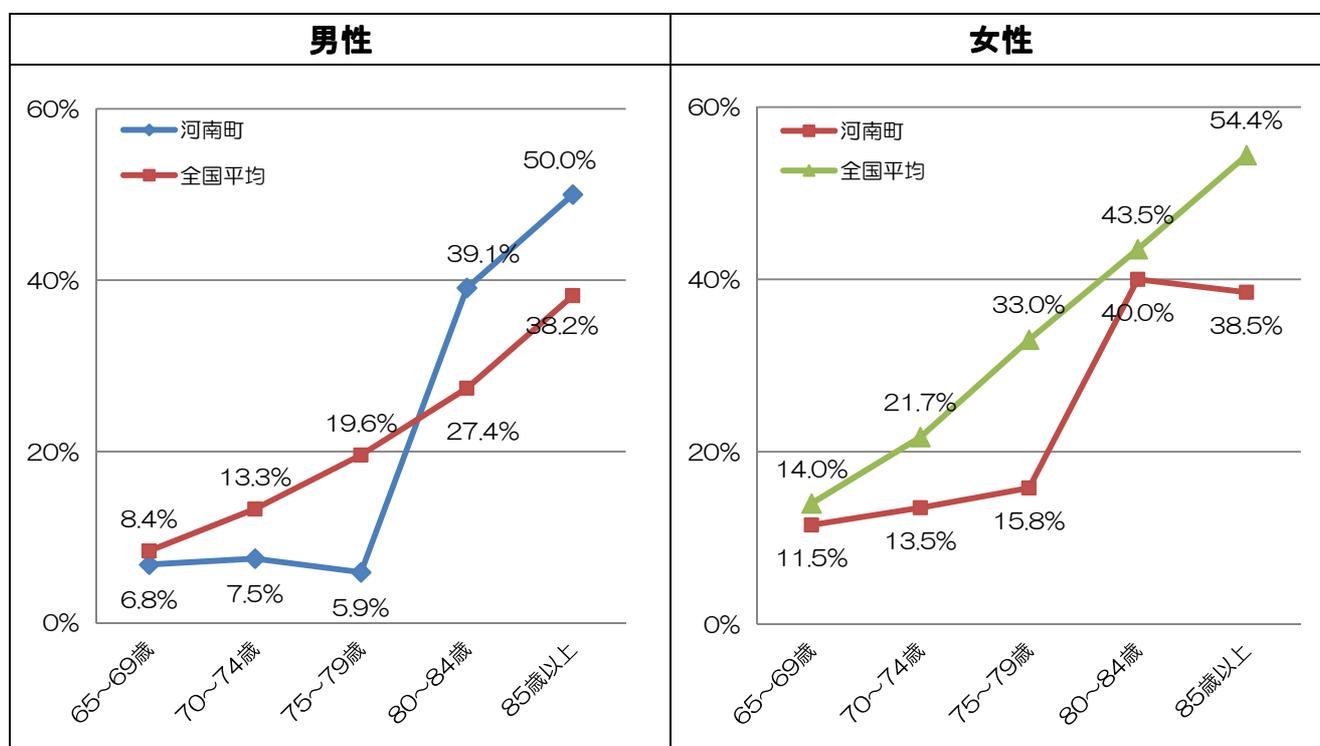
今回のアンケート調査では、設問事項に基本チェックリストが盛り込まれており、機能評価を算出できるようになっていました。以下に各機能評価をまとめます。

(1) 運動器（運動機能）

基本チェックリストに基づく運動器の評価結果をみると、一般高齢者全体で 15.3%、男性で 12.8%、女性で 17.5%が該当者となっています。

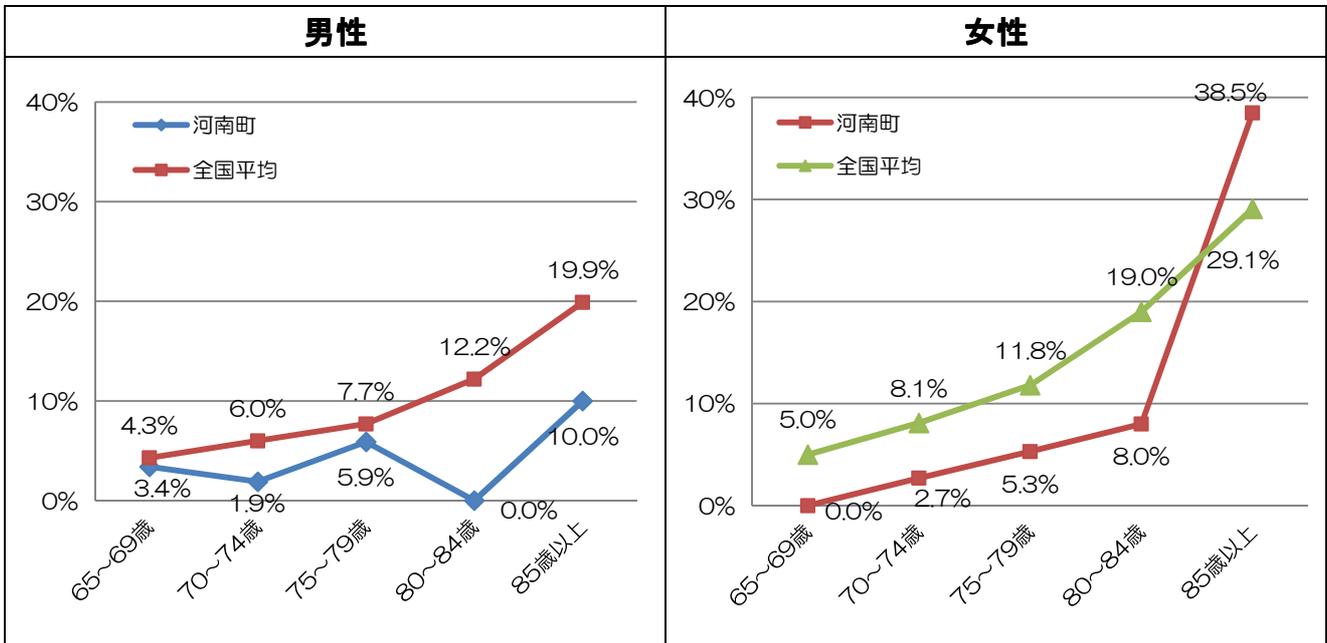
全国調査と比較すると、男性は 80 歳以上で全国平均より高い割合となっている一方で、女性はほぼ全国平均よりも低い割合となっています。

※全国調査とは、「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業結果」平成 22 年厚生労働省老健局 以下同様



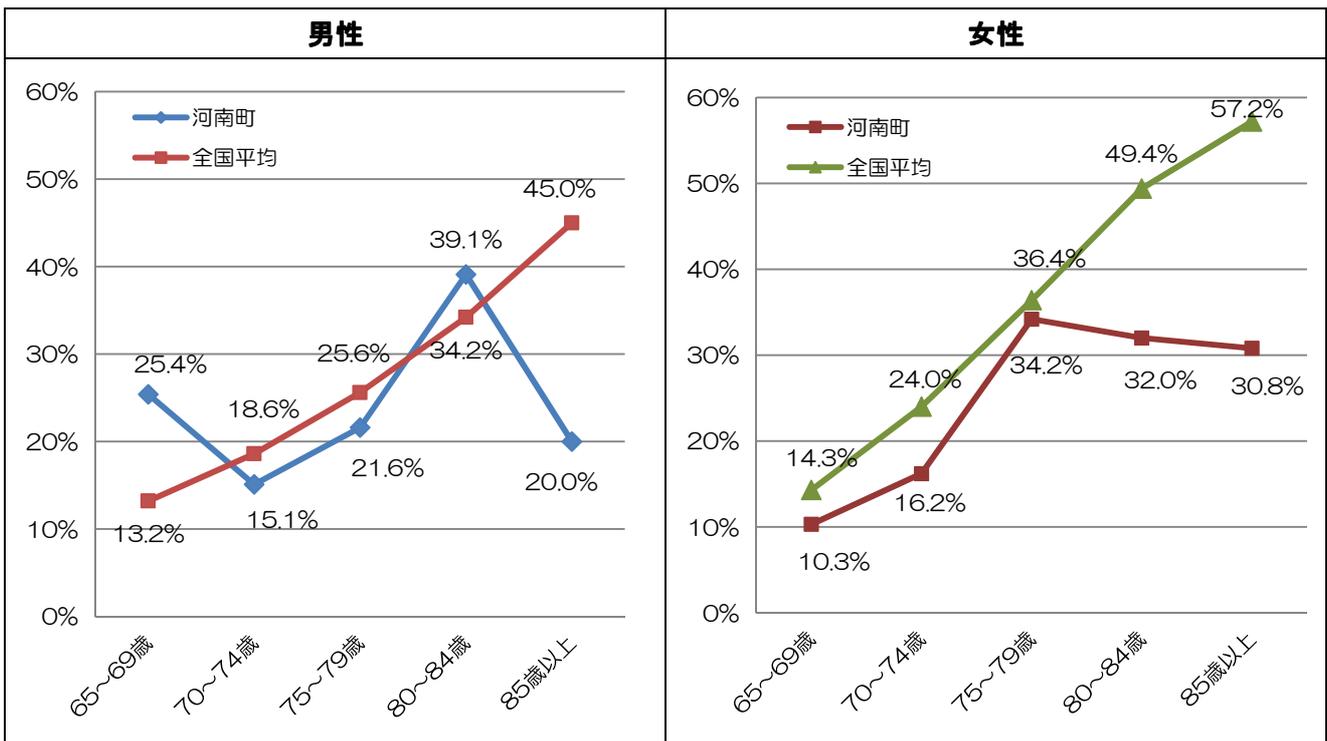
(2) 閉じこもり予防（活発度）

基本チェックリストに基づく閉じこもり予防の評価結果をみると、一般高齢者全体で18.6%、男性で16.8%、女性で20.2%が該当者となっています。全国調査と比較すると、女性の85歳以上を除いて、全国平均より低い水準となっています。



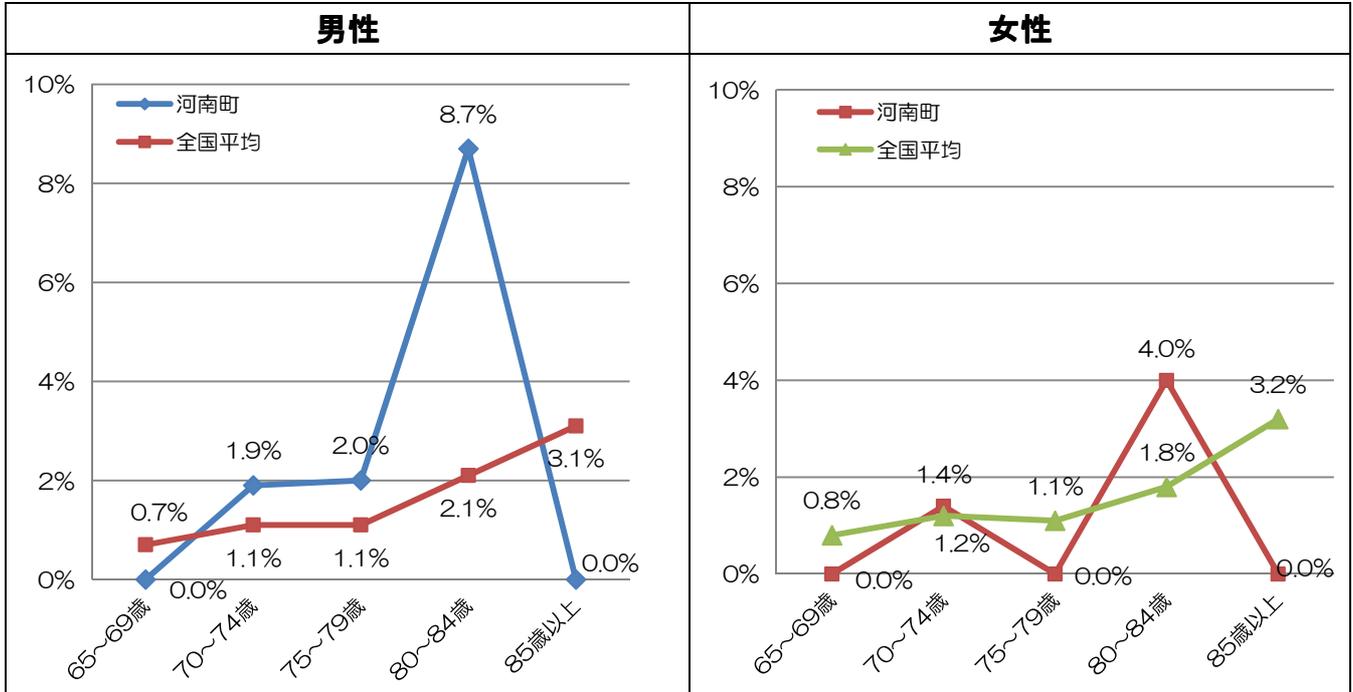
(3) 転倒

基本チェックリストに基づく転倒リスクに関する評価結果をみると、一般高齢者全体で21.2%、男性で23.0%、女性で19.7%が該当者となっており、男性の方が女性よりも該当者割合が高くなっています。全国調査と比較すると、男性65~69歳と80~84歳で全国平均よりも高い水準となっていますが、一方で女性は全ての年齢において全国平均より低い水準となっています。



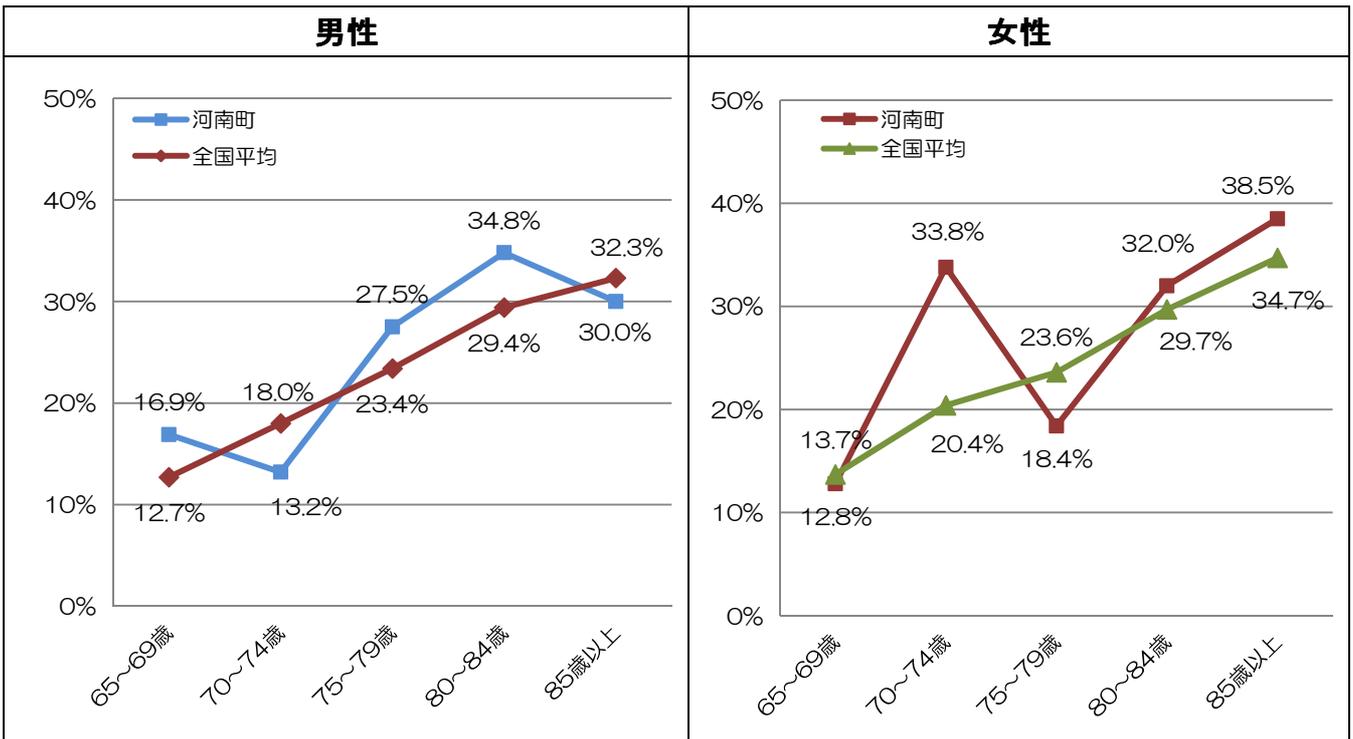
(4) 栄養

基本チェックリストに基づく栄養の評価結果をみると、一般高齢者全体で1.4%、男性で2.0%、女性で0.9%が該当者となっています。全国調査と比較すると、男性は70～84歳で、女性は70～74歳と80～84歳とで全国平均より高い水準となっています。



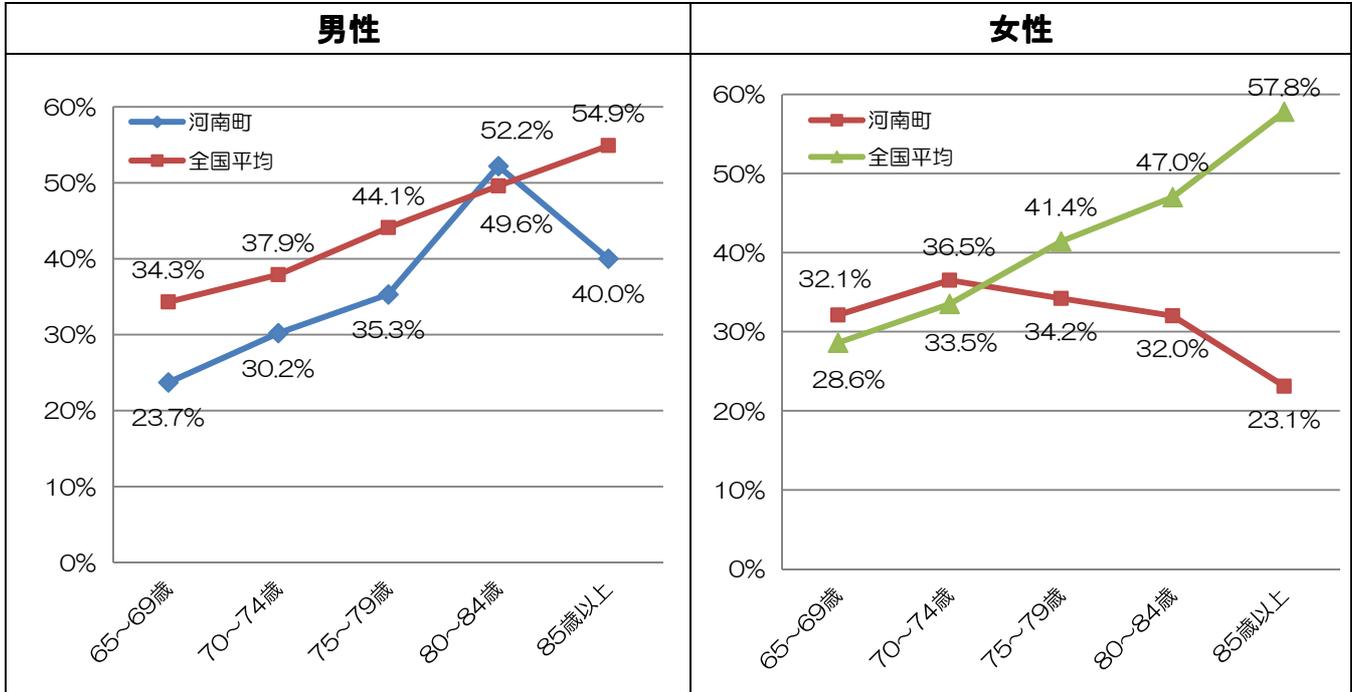
(5) 口腔機能

基本チェックリストに基づく口腔の評価結果をみると、一般高齢者全体で22.9%、男性で21.4%、女性で24.1%が該当者となっています。全国調査と比較すると、男性は70～74歳で、女性は75～79歳とで全国平均より低い水準となっています。



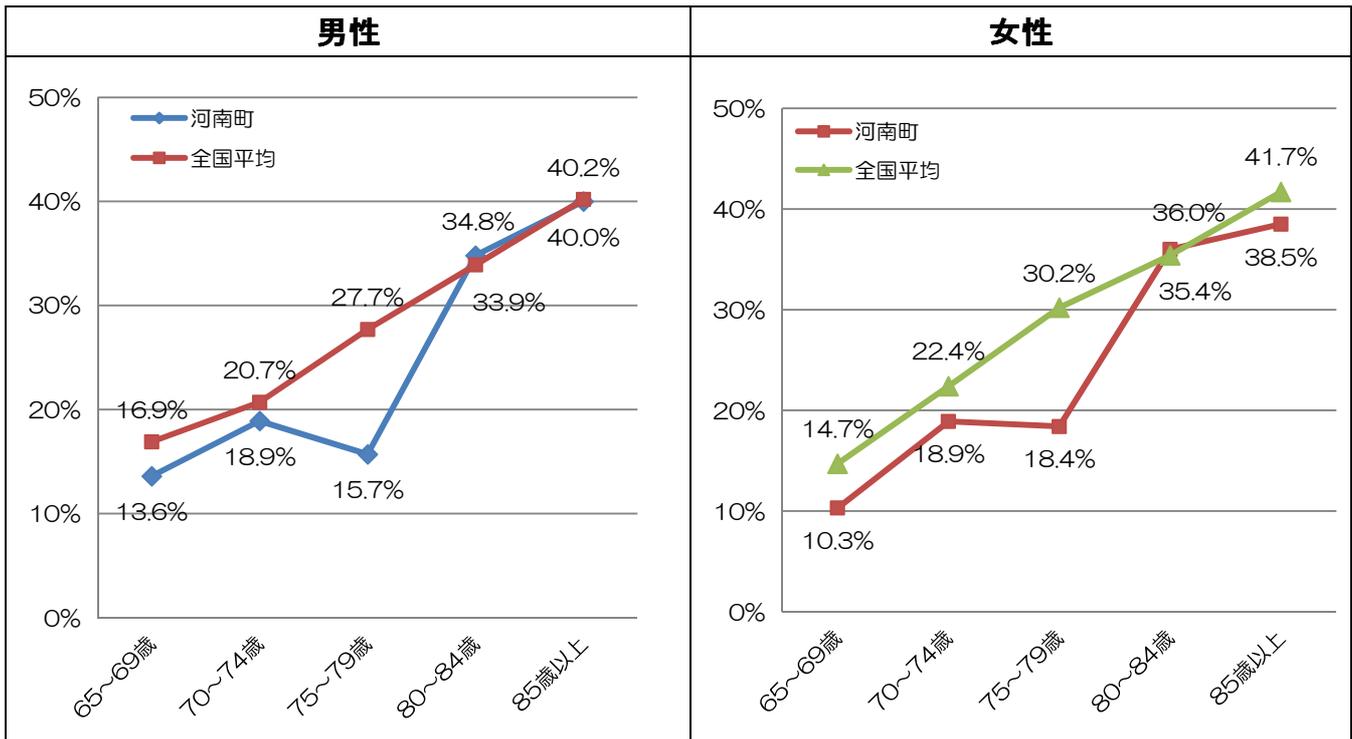
(6) 認知（物忘れ）

基本チェックリストに基づく認知症予防の該当状況をみると、一般高齢者全体で 33.0%、男性で 32.7%、女性で 33.3%が該当者となっています。全国調査と比較すると、男性は 80～84 歳で、女性は 65～74 歳で全国平均より高い水準となっています。



(7) うつ予防（こころ）

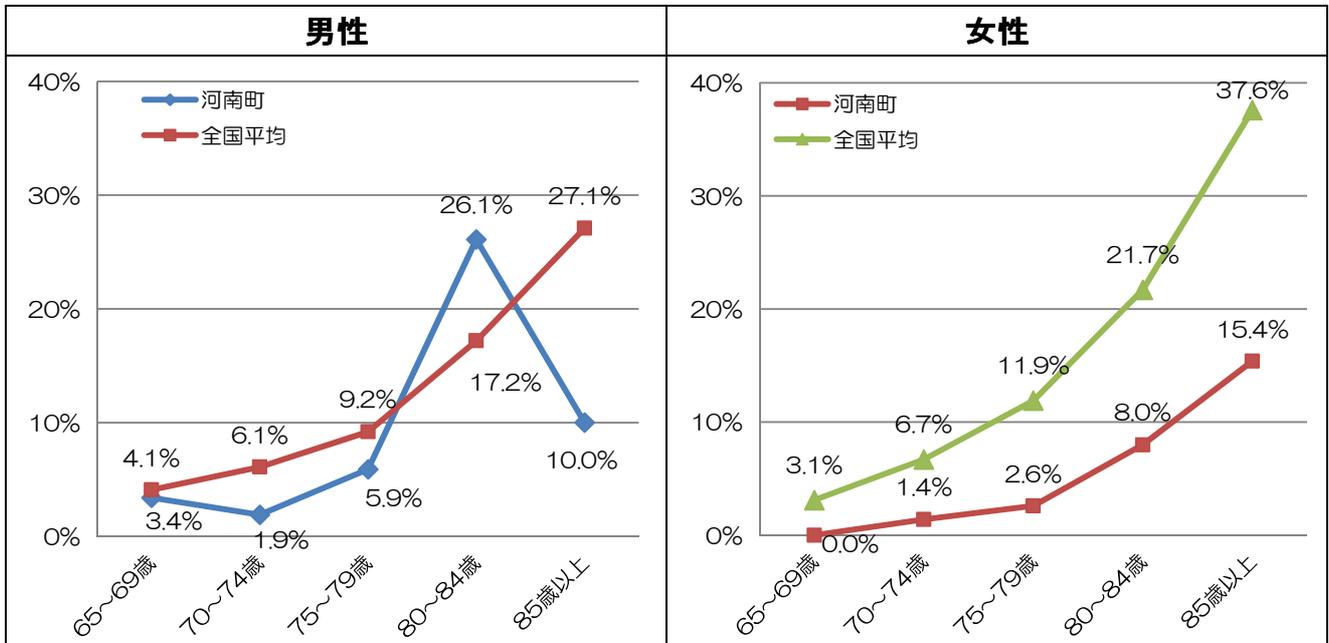
基本チェックリストにおけるうつ予防の該当状況をみると、一般高齢者全体で 19.1%、男性で 19.4%、女性で 18.9%が該当者となっています。該当者数は、男性・女性ともに、75～79 歳を除いて全国平均と同水準の推移となっています。



(8) 虚弱（生活機能全般）

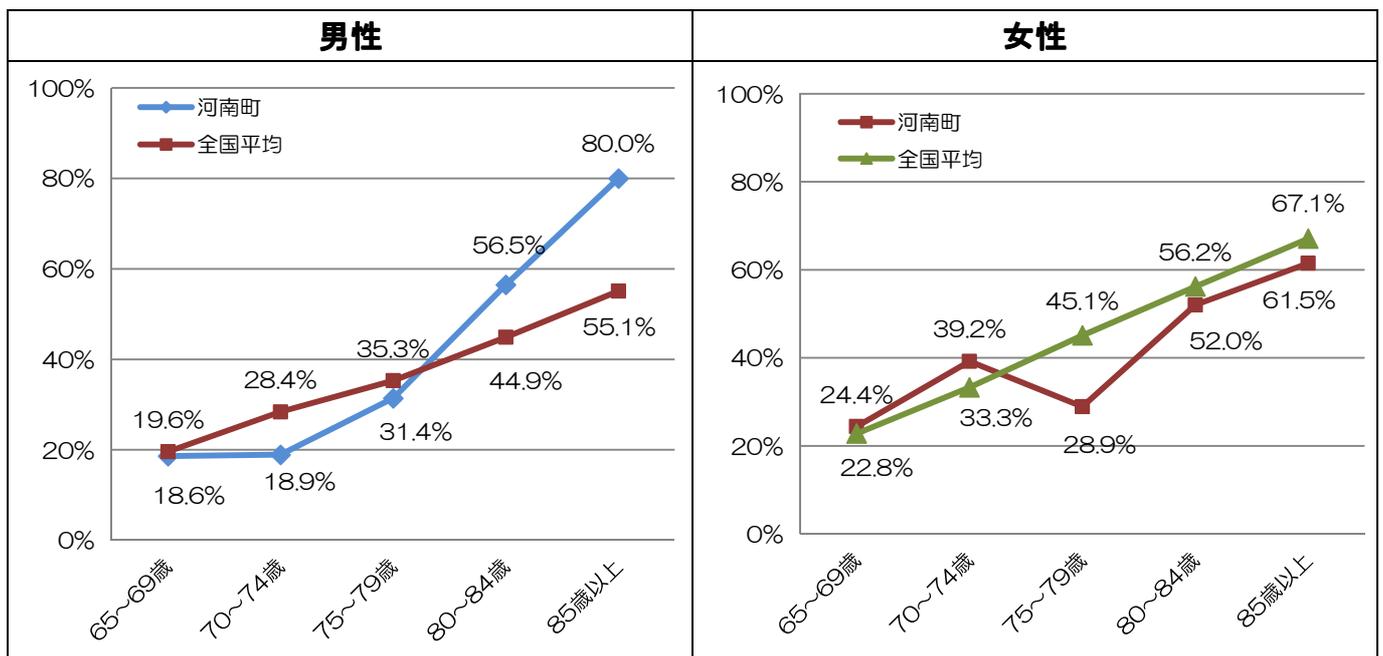
基本チェックリストで、うつ予防に関する5項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、二次予防該当者となります。（虚弱）

該当者割合をみると、一般高齢者全体で4.5%、男性で6.6%、女性で2.6%が該当者となっています。該当者数は、男性は80～84歳で極端に高い水準となっていますが、女性は全国平均と同様の推移となっています。



(9) 二次予防事業対象者

二次予防対象者については、運動、口腔など複数の評価項目で重複して該当している場合があるため、こうした重複を除いて該当者割合を求めています。該当者割合をみると、一般高齢者全体で32.5%、男性で29.6%、女性で35.1%が該当者となっており、年齢が上がるほど該当者割合が高くなっています。該当者数は、男性は80歳以上で全国平均より高い水準となっていますが、一方で女性は65～74歳は全国平均よりも高い水準ですが、それ以外は低くなっています。

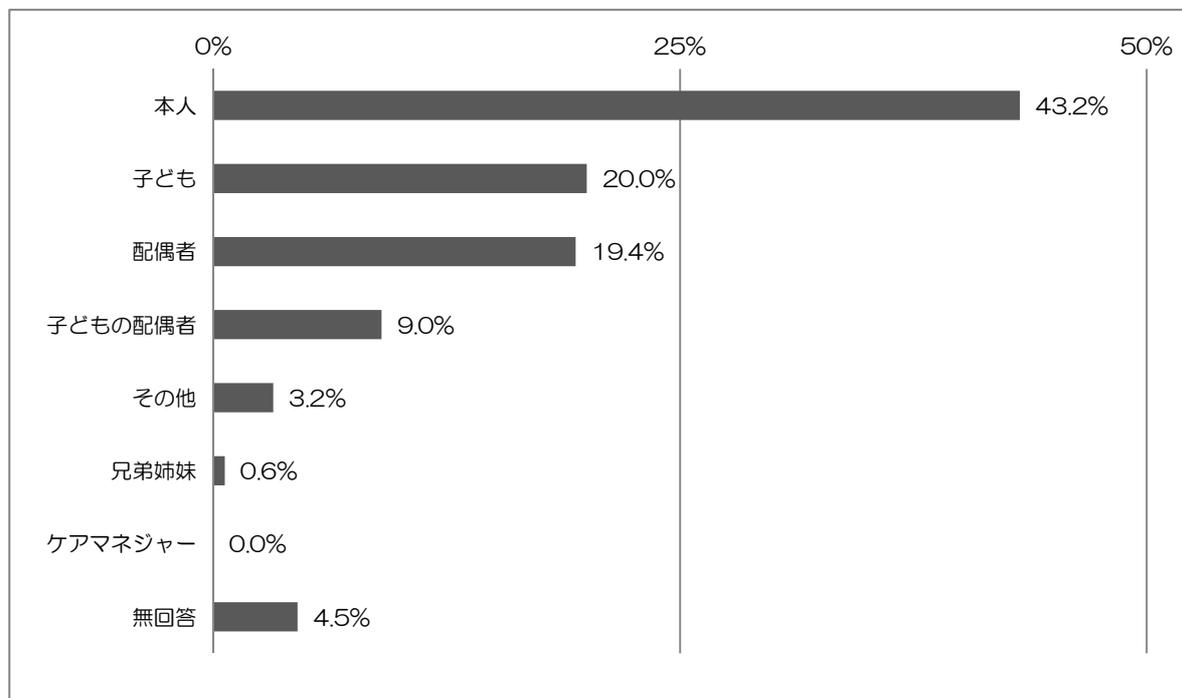


第3章 調査結果（介護保険サービス利用意向調査）

1 アンケートの記入者について

・記入者

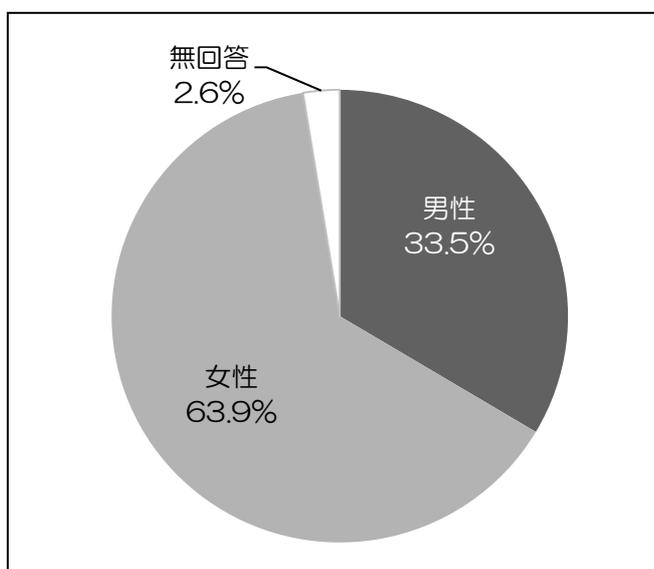
アンケートの記入者を見ると、「本人」が最も多く 43.2%となっています。次いで「子ども」(20.0%)、「配偶者」(19.4%)となっています。



2 あなた自身のことについて

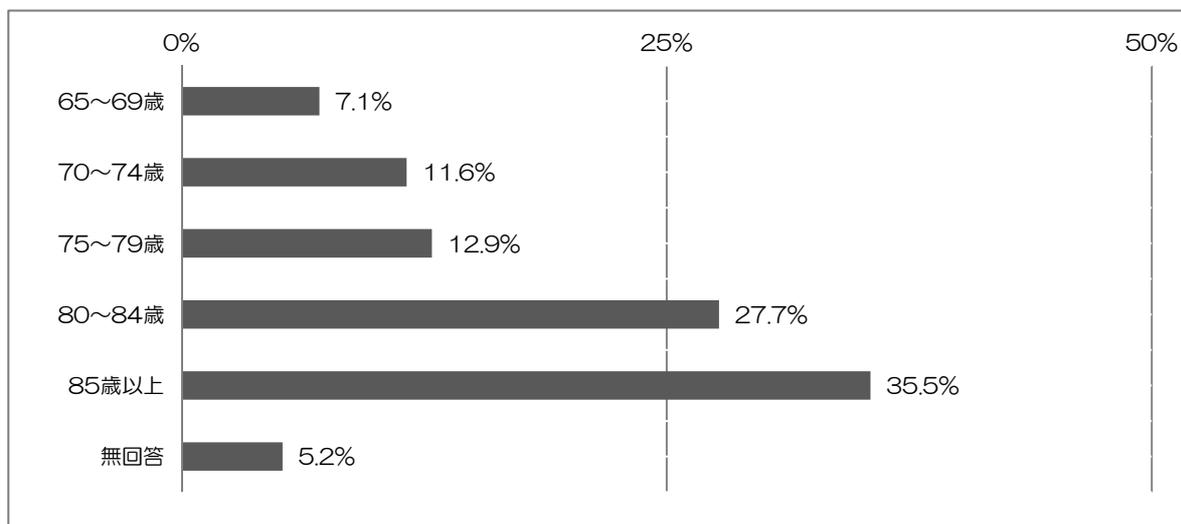
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が 63.9%、「男性」が 33.5%となっています。



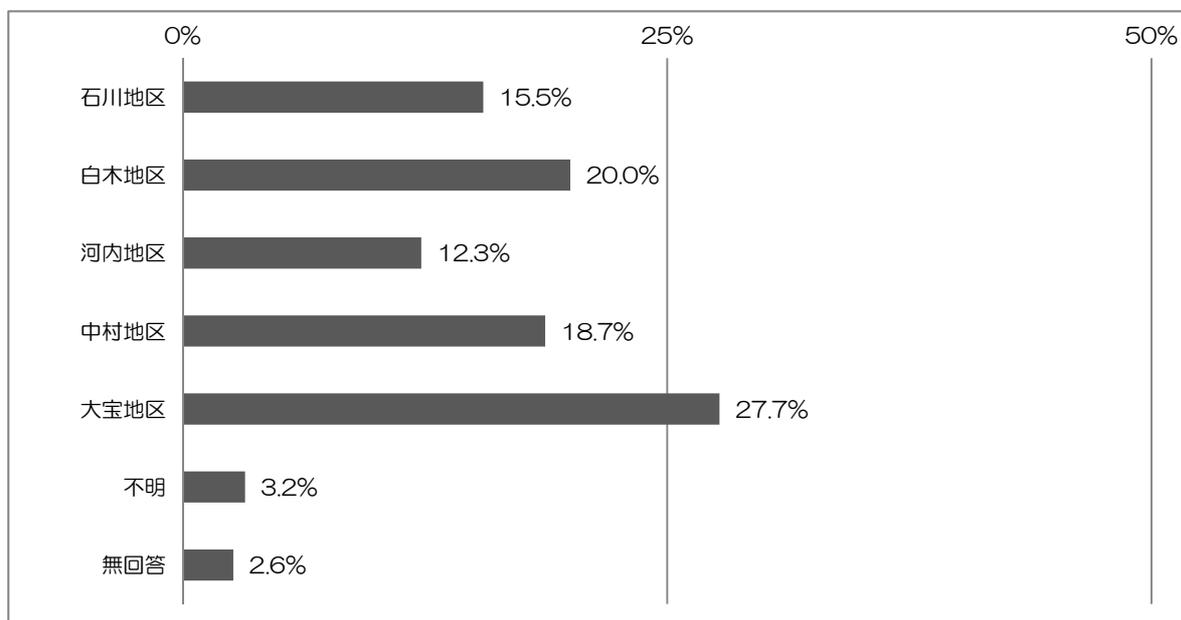
(2) 年齢

回答者の年齢は、「85歳以上」が最も多く35.5%となっています。次いで「80～84歳」(27.7%)、「75～79歳」(12.9%)となっています。



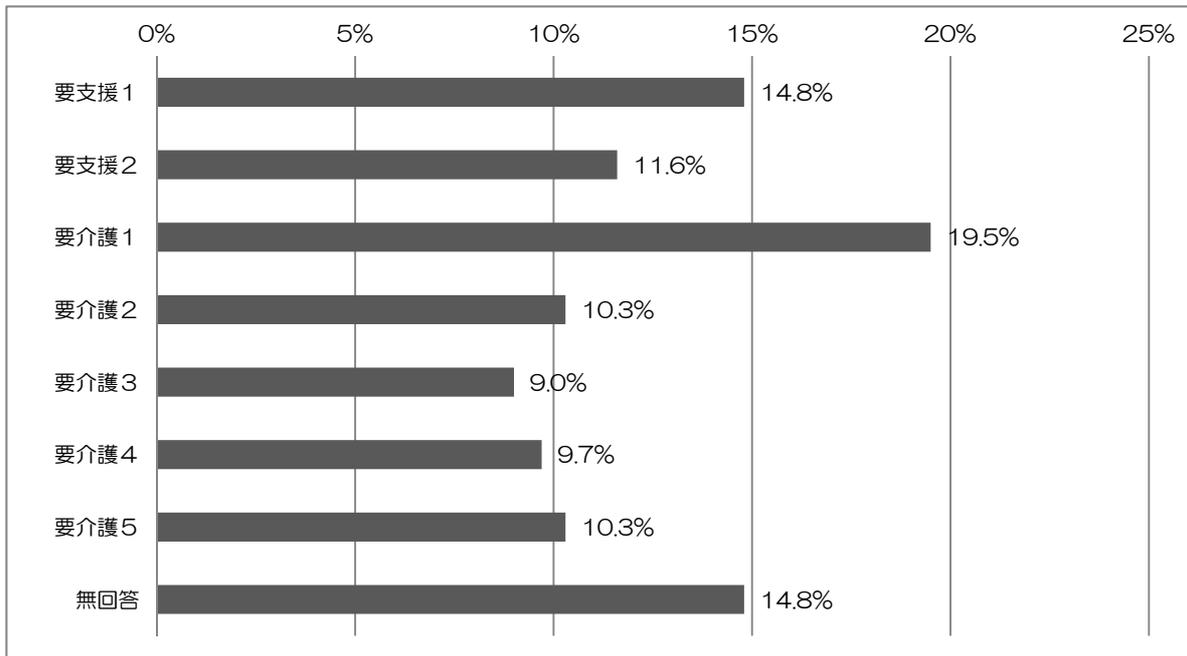
(3) 居住地

回答者の居住地は、「大宝地区」が最も多く27.7%となっています。次いで「白木地区」(20.0%)、「中村地区」(18.7%)となっています。



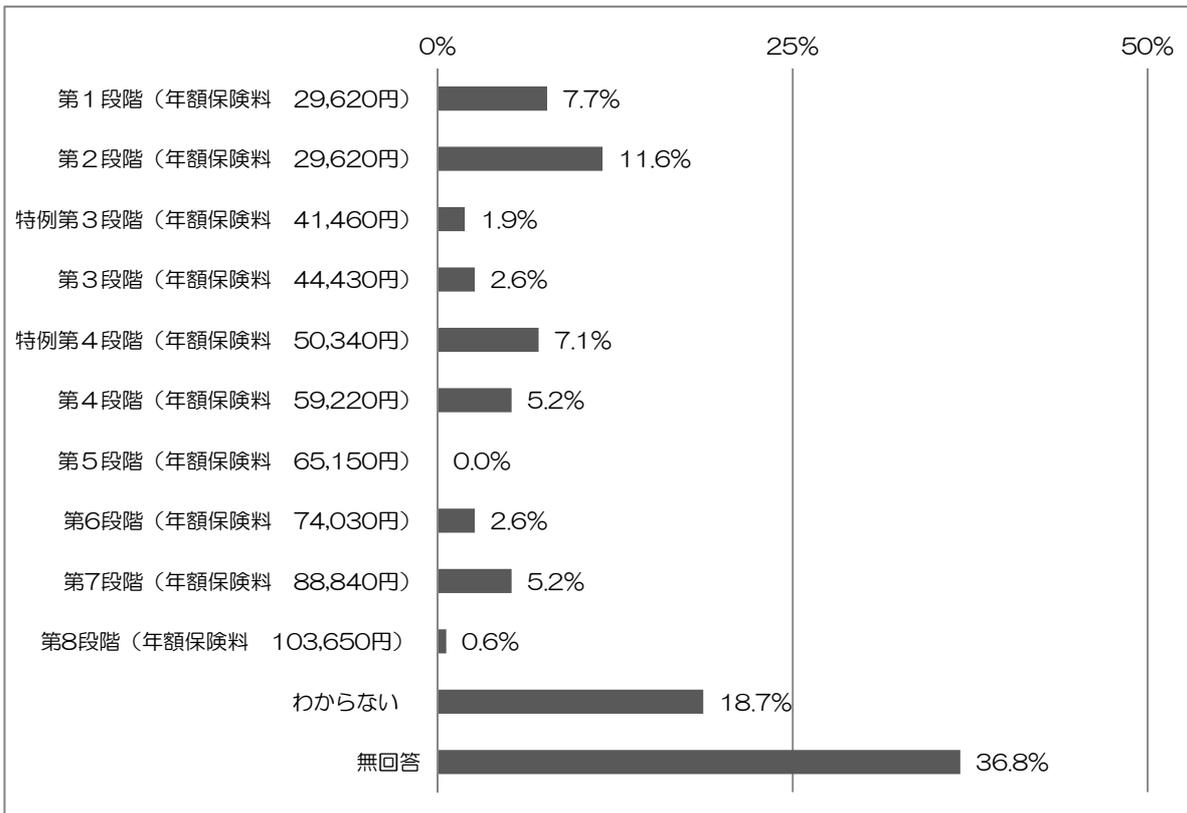
(4) 要介護度

要介護度については、「要介護1」が最も多く19.5%となっており、次いで「要支援1」(14.8%)、「要支援2」(11.6%)となっています。



(5) 介護保険料段階

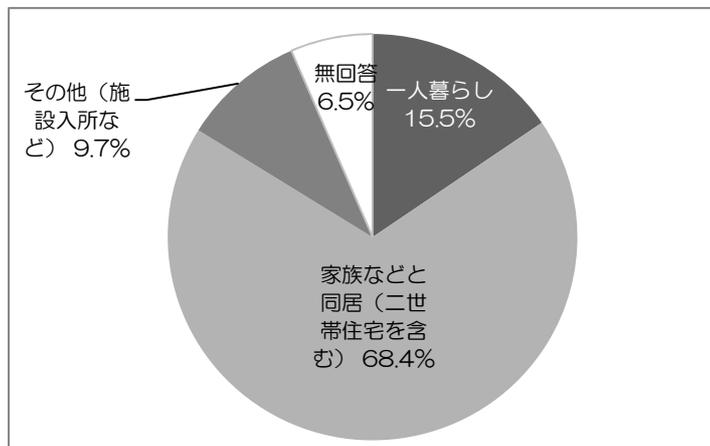
介護保険料の所得段階区分については、「第2段階」が多く11.6%となっています。一方で、「わからない」も18.7%となっています。



3 家族や生活状況について

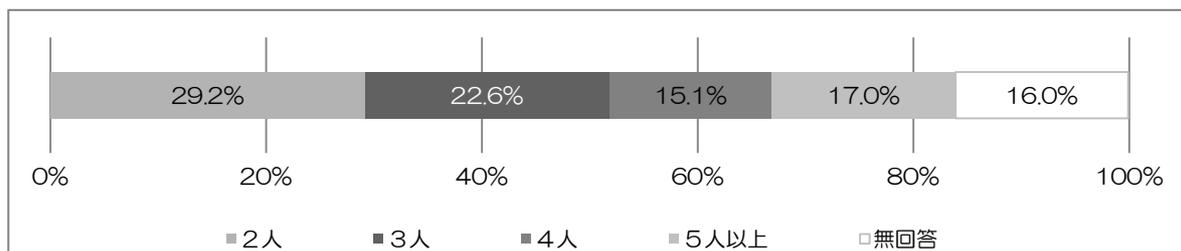
(1) 家族構成

家族構成は、「家族など同居（二世帯住宅を含む）」が最も多く 68.4%となっています。次いで、「一人暮らし」が 15.5%となっています。



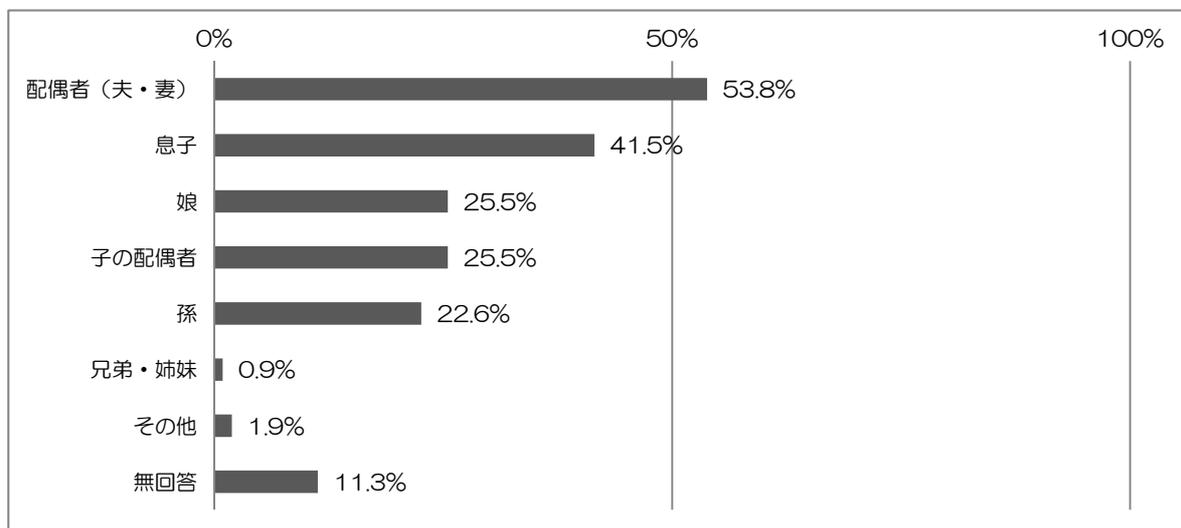
・同居人数（家族など同居されている人）

同居人数は、「2人」が最も多く 29.2%となっています。次いで「3人」(22.6%)、「5人以上」(17.0%)となっています。



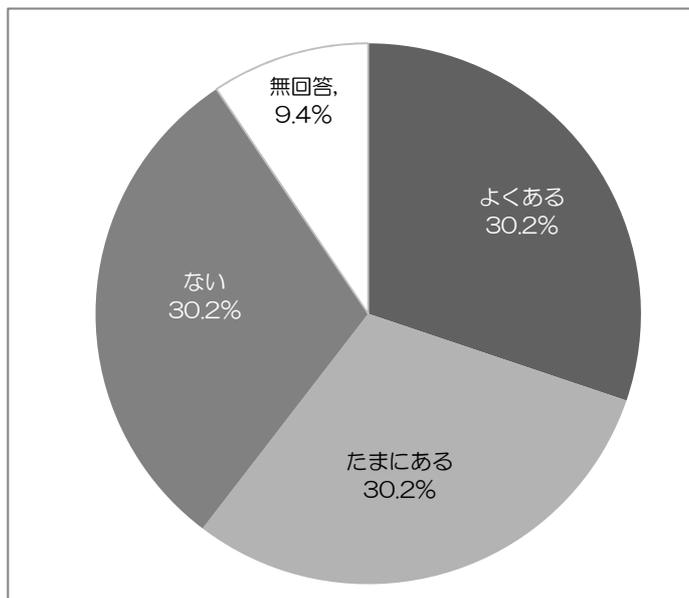
・同居者（家族など同居されている人）（複数回答）

同居者では、「配偶者（夫・妻）」が最も多く 53.8%となっています。次いで「息子」(41.5%)となっています。



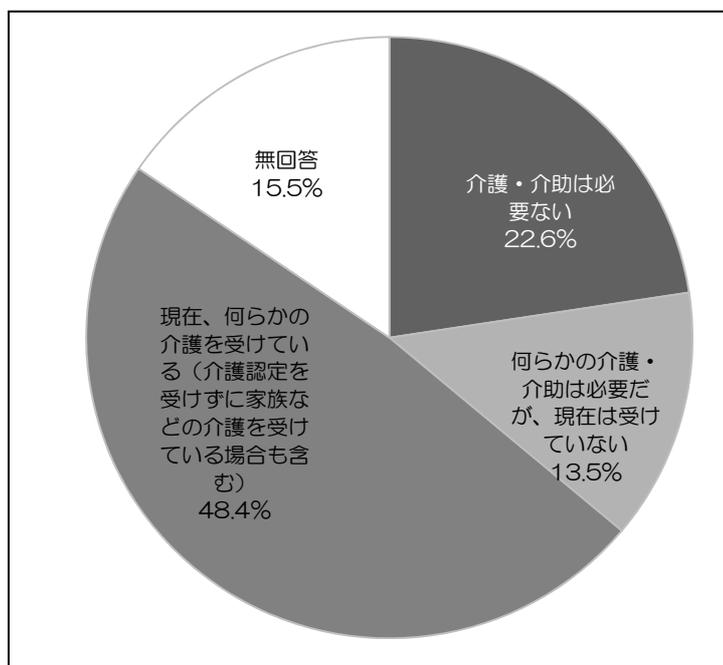
・日中に一人になる状況（家族などと同居されている人）

日中に一人になる状況については、「よくある」「たまにある」と合わせると約6割となっています。



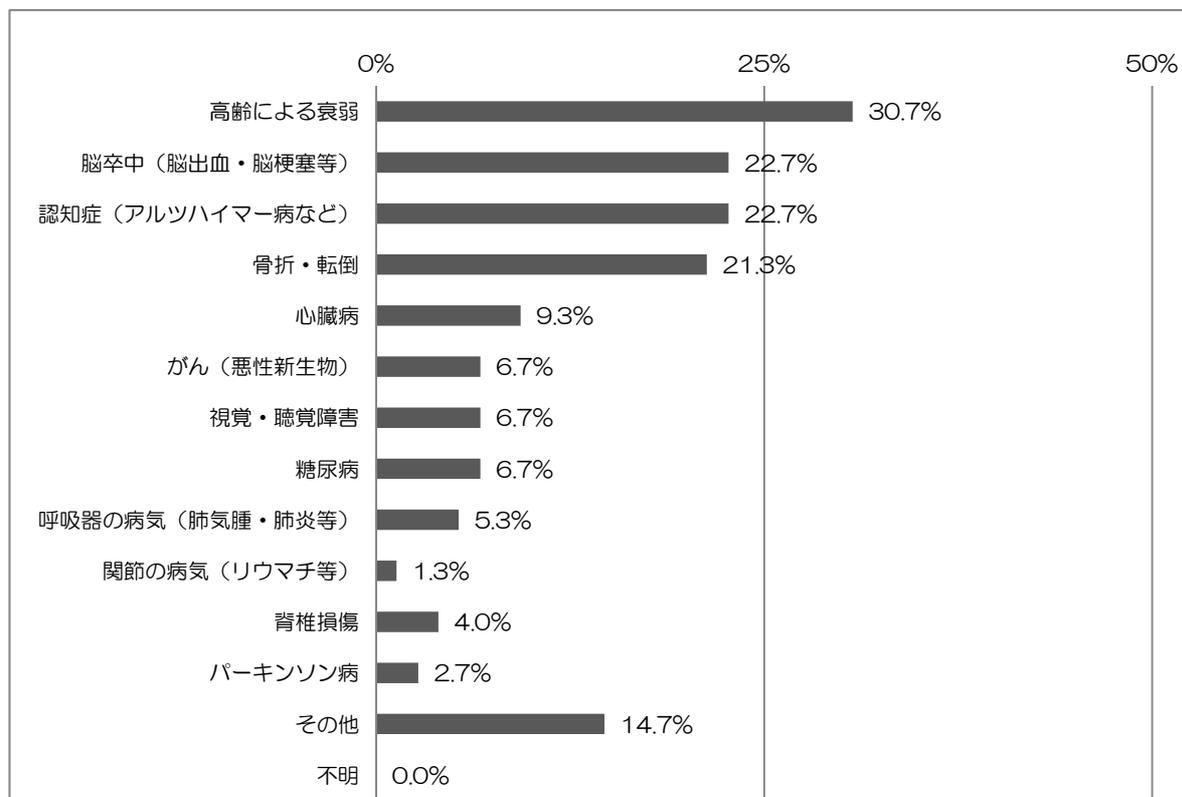
(2) 普段の生活での介護・介助の必要性

普段の生活では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が48.4%と最も多くなっています。しかしながら、「介護・介助は必要ない」と答えた人も22.6%と約2割います。



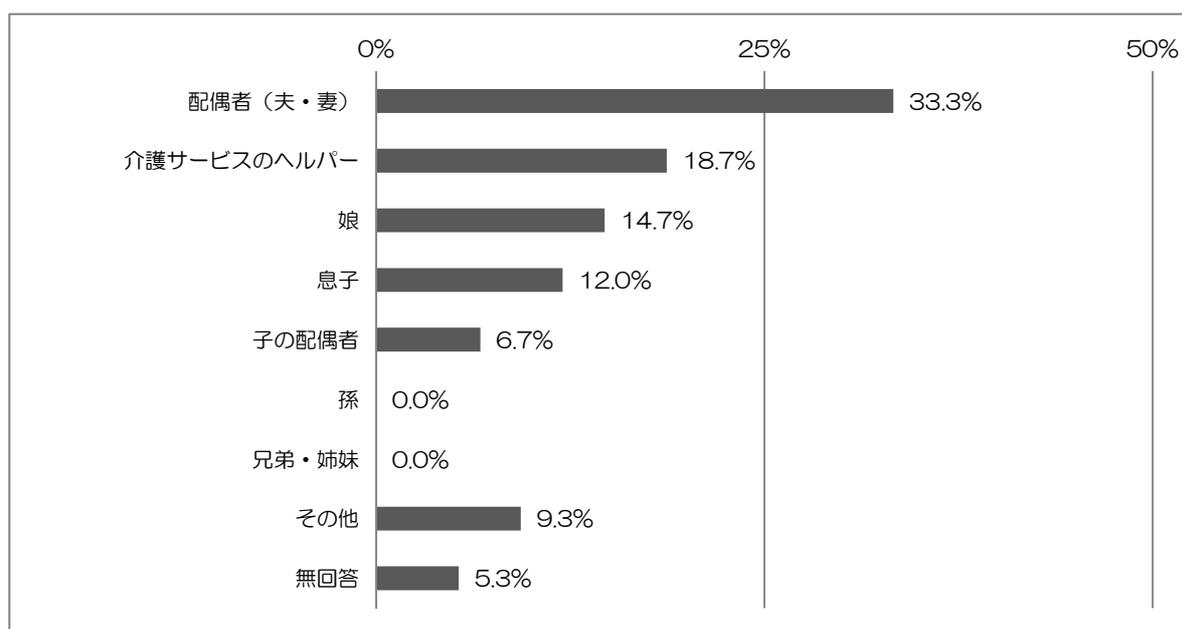
・介護・介助が必要になった主な原因（介護・介助が必要な人）（複数回答）

介護・介助が必要になった主な原因では、「高齢による衰弱」が最も多く 30.7%となっています。次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「認知症（アルツハイマー病等）」（22.7%）となっています。



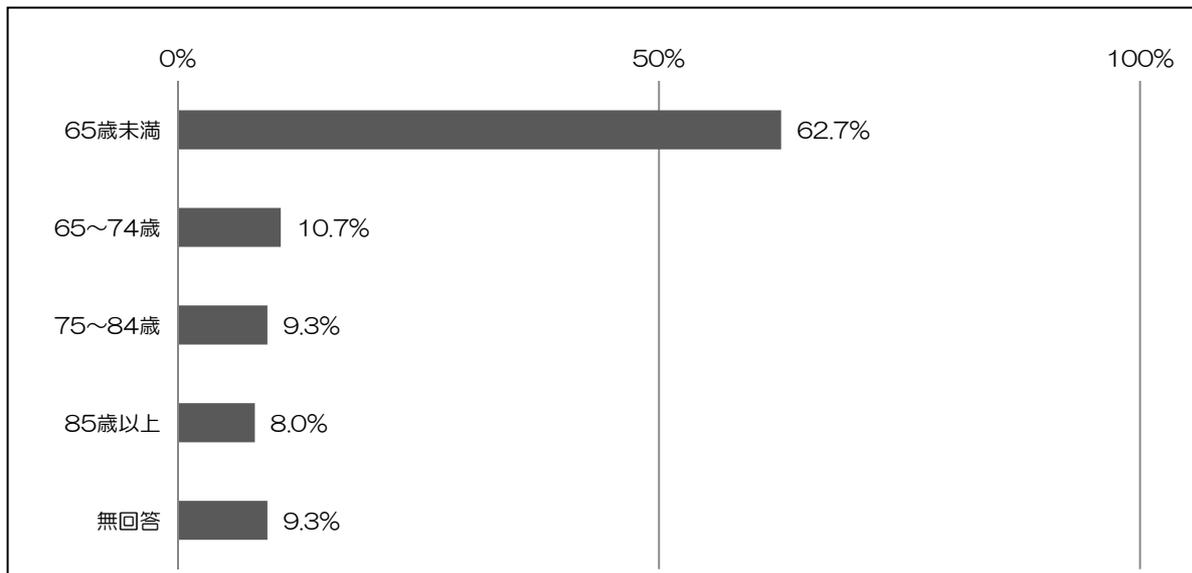
・主に介護・介助をしている人（介護・介助が必要な人）

主に誰に介護・介助を受けているかについては、「配偶者（夫・妻）」が最も多く 33.3%となっています。次いで「介護サービスのヘルパー」（18.7%）となっています。



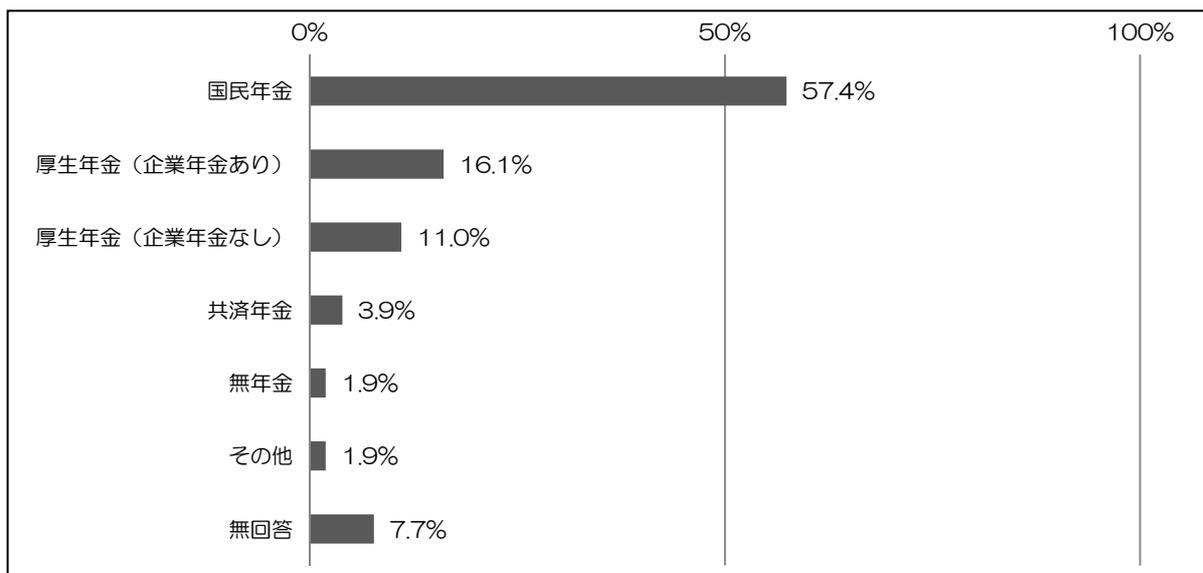
・主に介護・介助をしている人の年齢（介護・介助が必要な人）

主に介護・介助をしている人の年齢については、「65歳未満」が最も多く62.7%となっています。次いで「65～74歳」（10.7%）、「75～84歳」（9.3%）となっています。



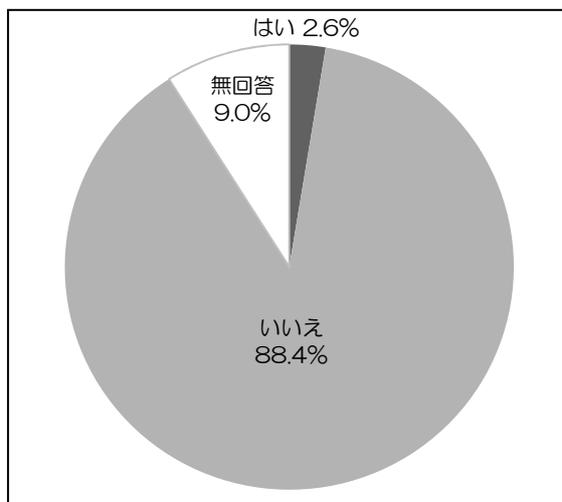
(3) 年金の種類（複数回答）

年金の種類では、「国民年金」が最も多く57.4%と6割に迫っており、次いで「厚生年金（企業年金あり）」（16.1%）、「厚生年金（企業年金なし）」（11.0%）となっています。



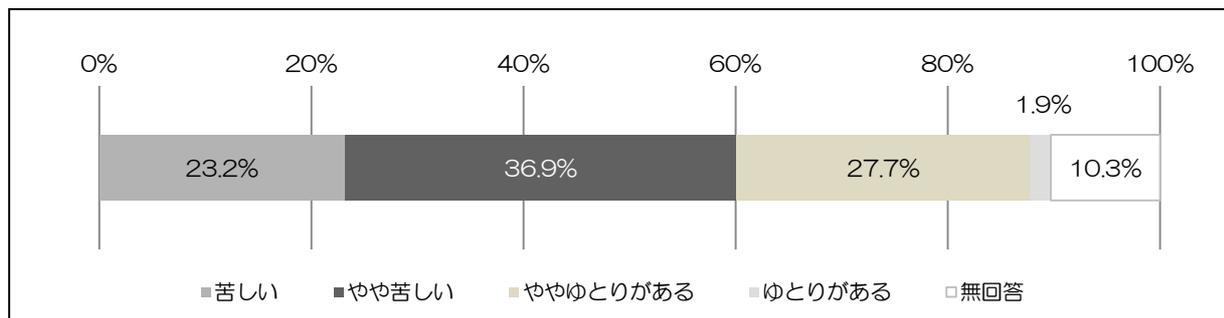
(4) 現在の就労状況

現在、収入のある仕事をしているかについては、「いいえ」が88.4%と8割を超えています。



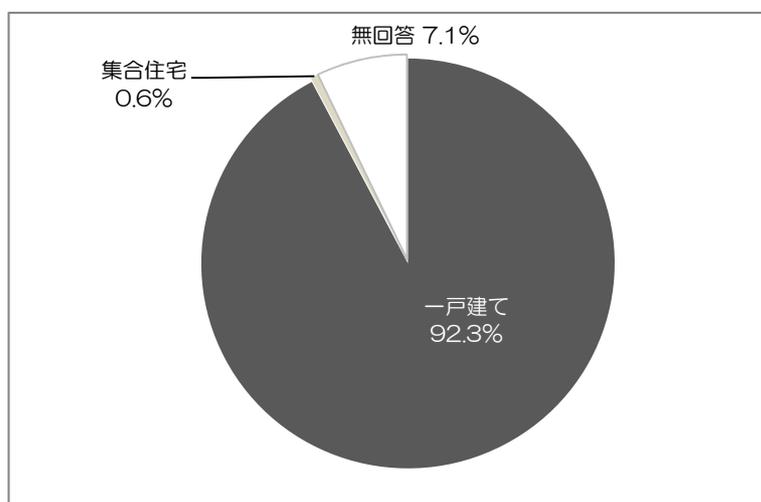
(5) 現在の暮らしの状況

現在の暮らしの状況を経済的にみて感じることにについては、「苦しい」(23.2%)と「やや苦しい」(36.9%)を合わせた層が60.1%と6割を超えており、「ややゆとりがある」(27.7%)と「ゆとりがある」(1.9%)を合わせた層(29.6%)を上回っています。



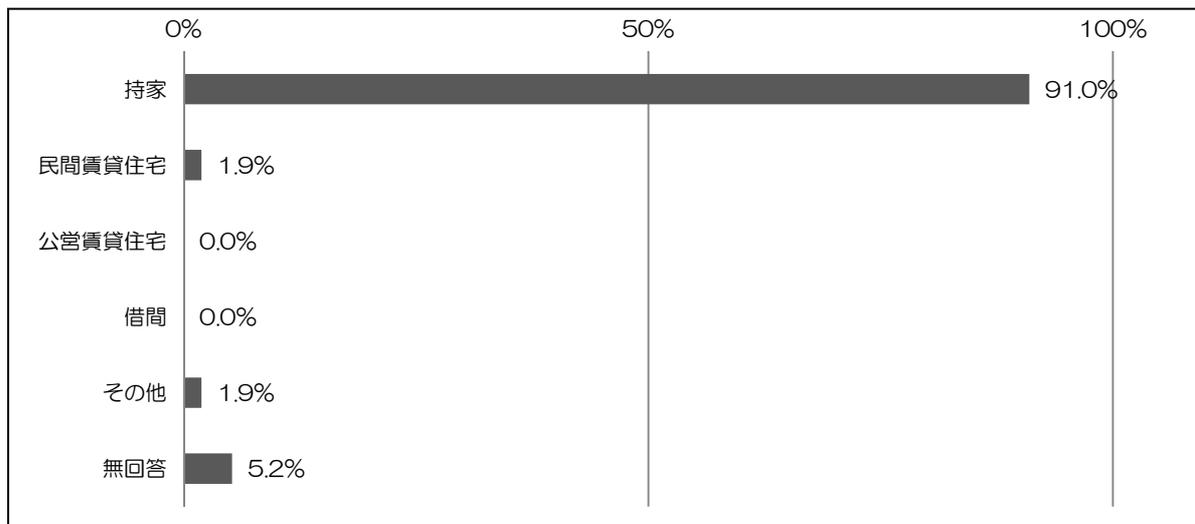
(6) 住まいの種別

住まいの種別では、「一戸建て」が92.3%とほとんどを占めています。



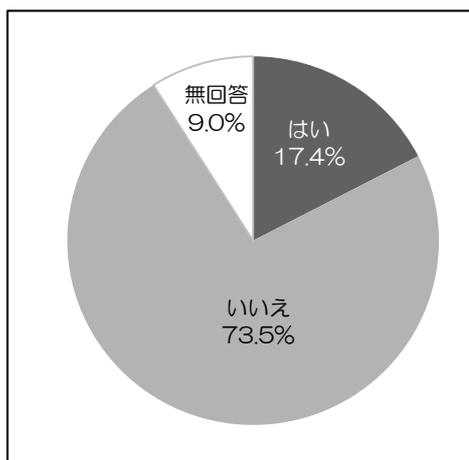
(7) 住まいの状況

住まいの状況では、「持家」が91.0%とほとんどを占めています。



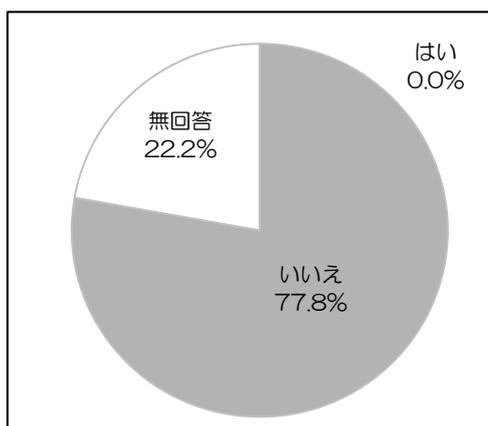
(8) 生活階について

主に生活する部屋が2階以上であるかについては、「いいえ」が73.5%、「はい」が17.4%となっています。



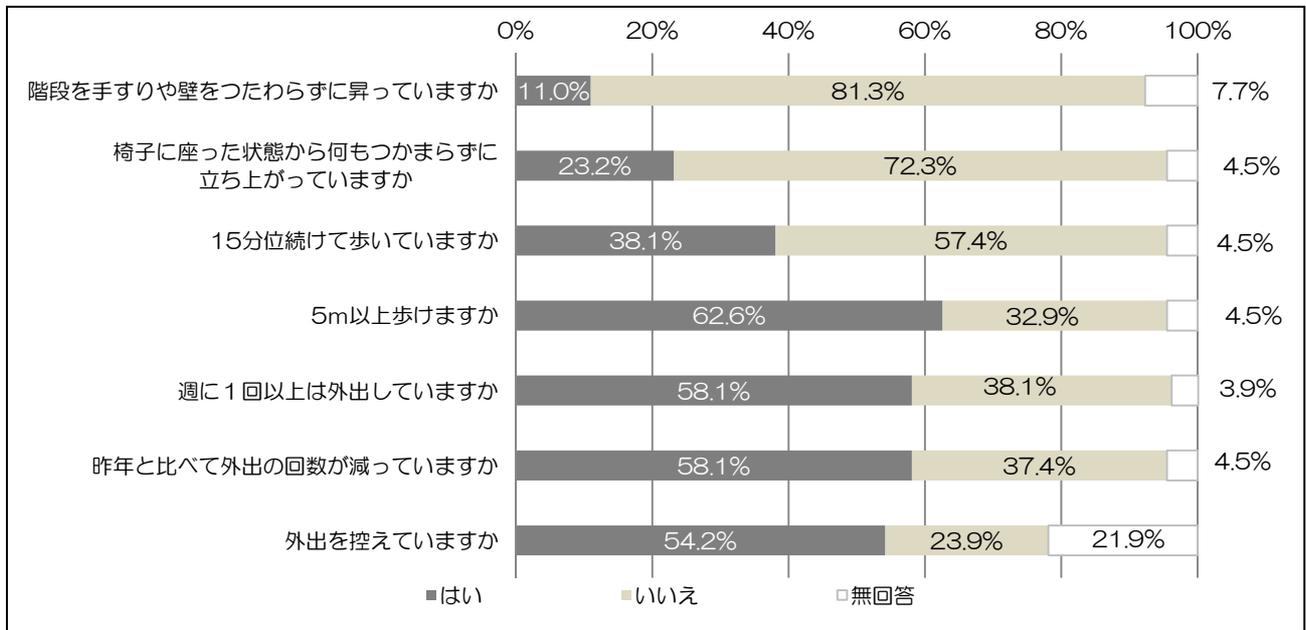
・エレベーターの設置状況（2階以上に住んでいる人）

エレベーターを設置している人はいませんでした。

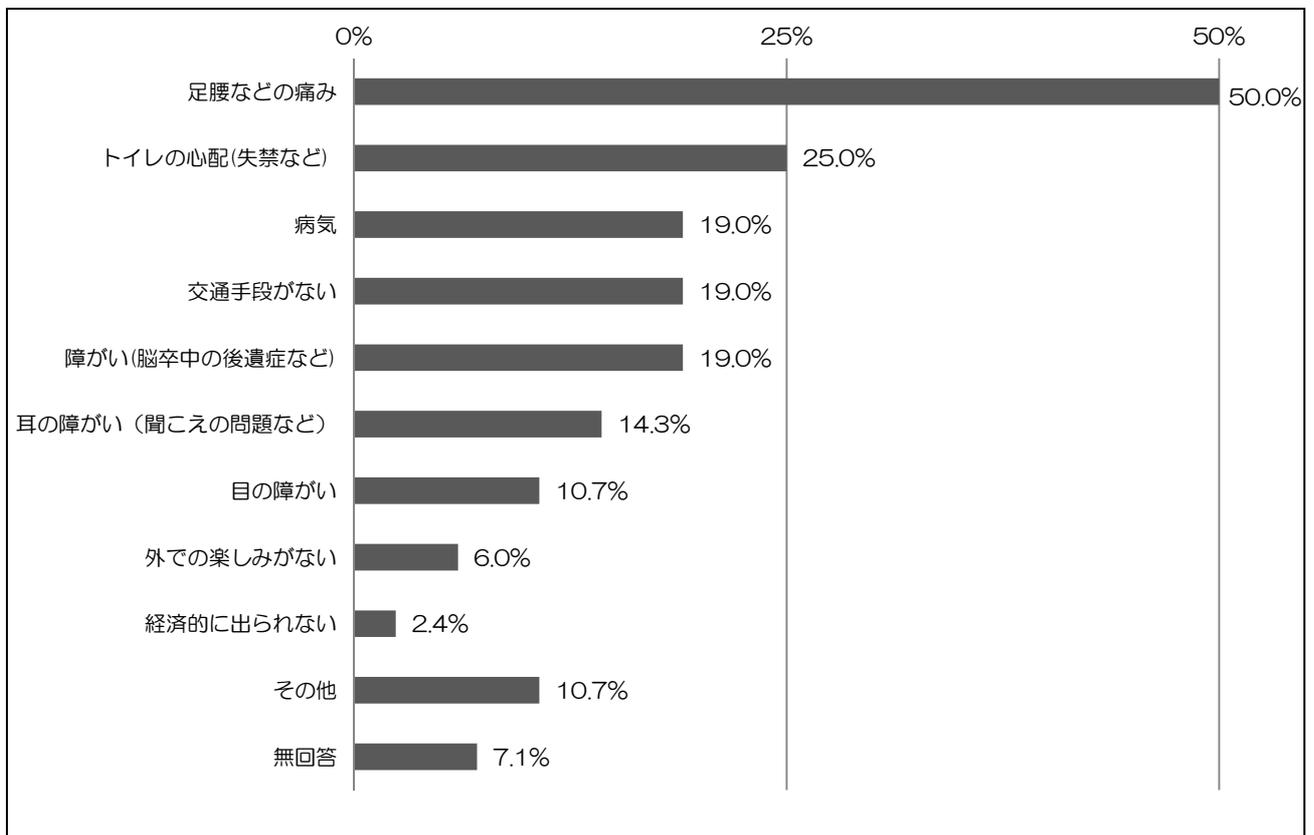


4 運動・閉じこもりについて

運動・閉じこもりの状況についての各設問の回答は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」と「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」、「15分位続けて歩いていますか」の項目に関しては「いいえ」の割合が高くなっていますが、それ以外の項目では「はい」の割合が高くなっています。

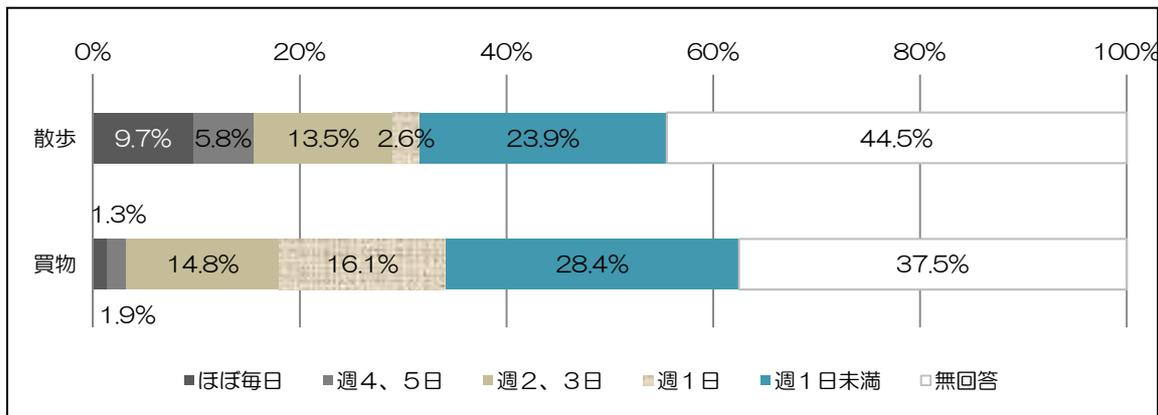


上記項目の「外出を控えていますか」で「はい」と回答のあった人にその理由を尋ねると、「足腰などの痛み」が最も多く5割となっています。（複数回答）



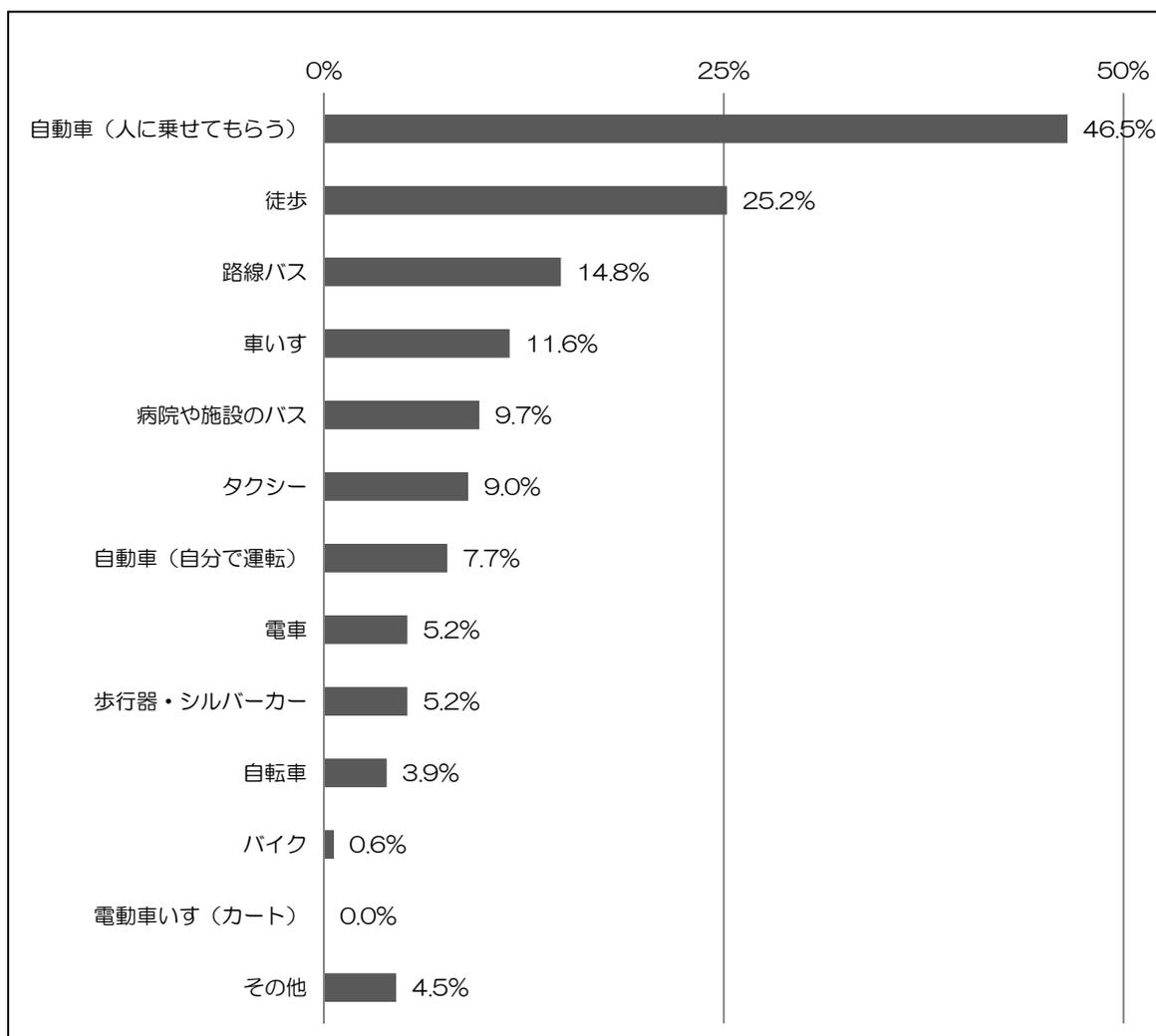
・買物、散歩で外出する頻度について

外出する頻度については、散歩、買物ともに「週1日未満」が最も多くなっています。



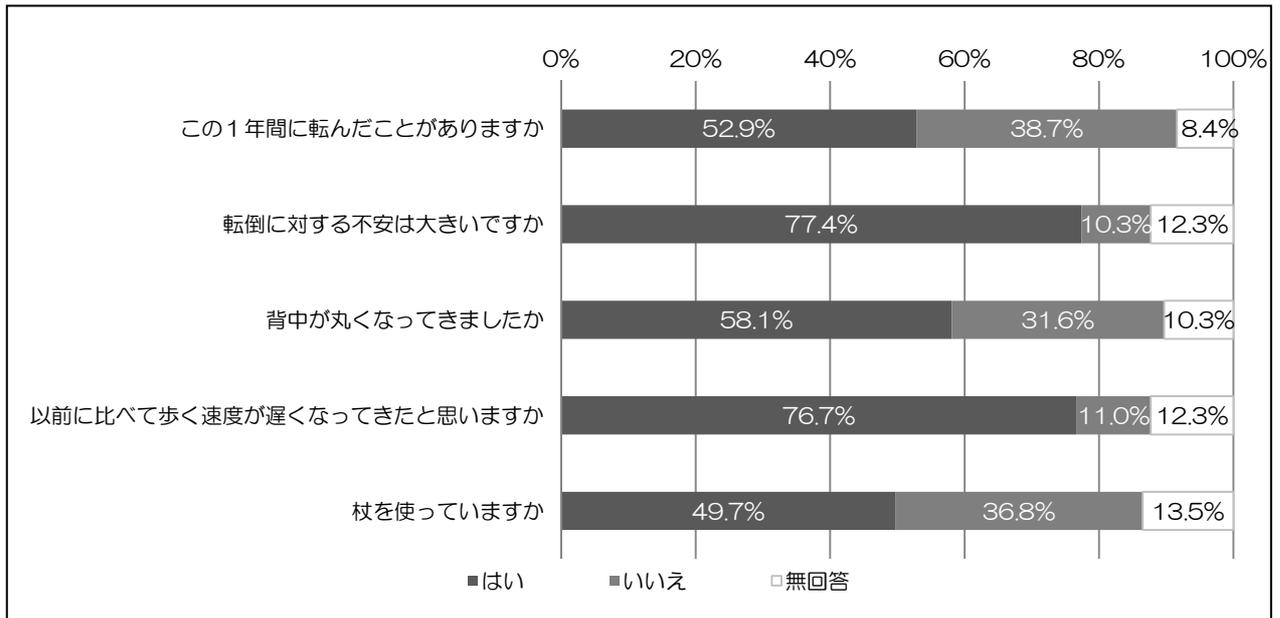
・外出する際の移動手段について（複数回答）

外出する際の移動手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く46.5%となっています。次いで「徒歩」（25.2%）、「路線バス」（14.8%）となっています。



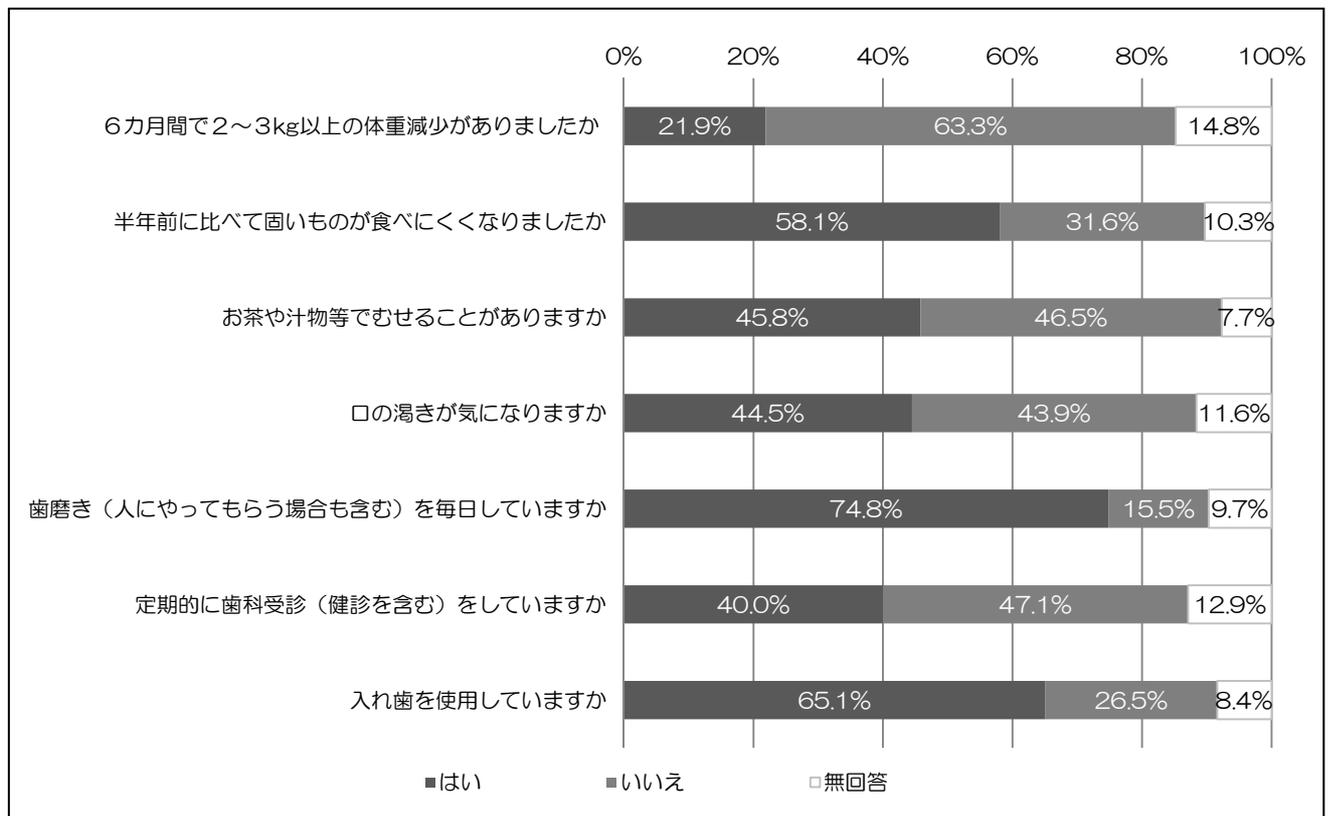
5 転倒予防について

転倒予防についての各設問の回答は、全ての項目で「はい」の割合が高くなっています。



6 口腔・栄養について

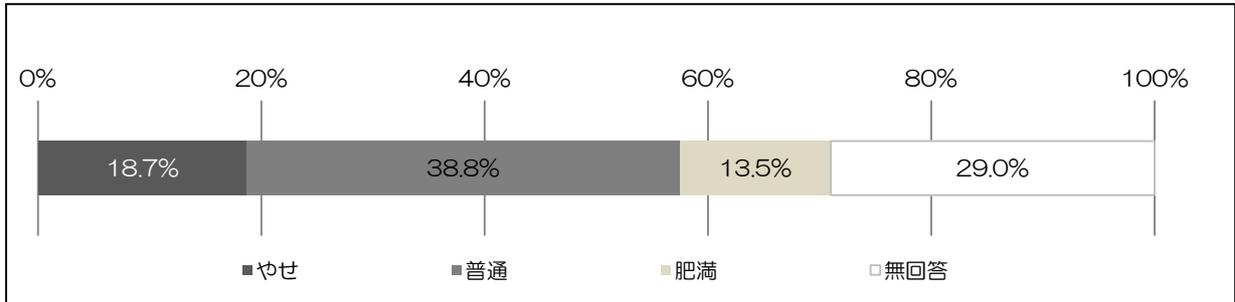
口腔・栄養についての各設問の回答は、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」や「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」、「入れ歯を使用していますか」、「口の渇きが気になりますか」の項目に関しては「はい」の割合が高くなっていますが、それ以外の項目では「いいえ」の割合が高くなっています。



・BMIについて

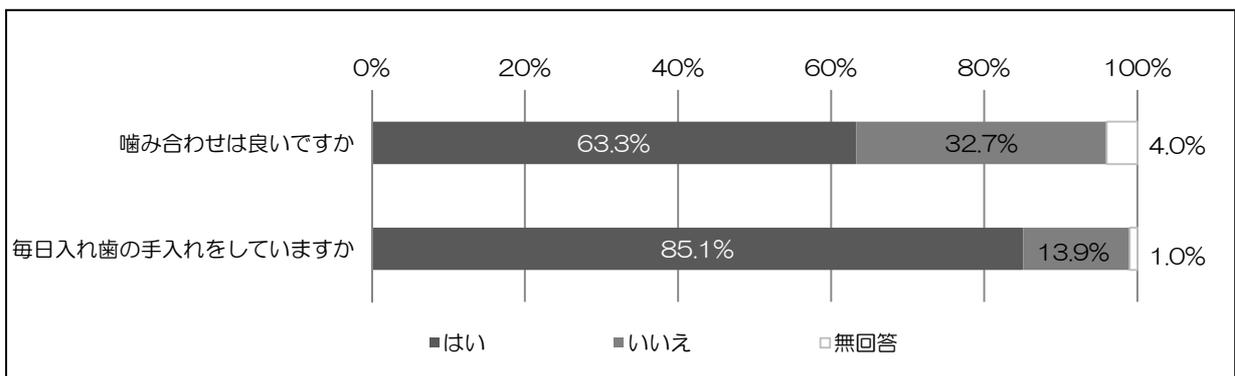
BMIとは、身長からみた体重の割合を示す体格指数のことで、18.5未満で「やせ」、25以上で「肥満」となります。

本調査の結果では、「普通」が最も多く38.8%となっています。



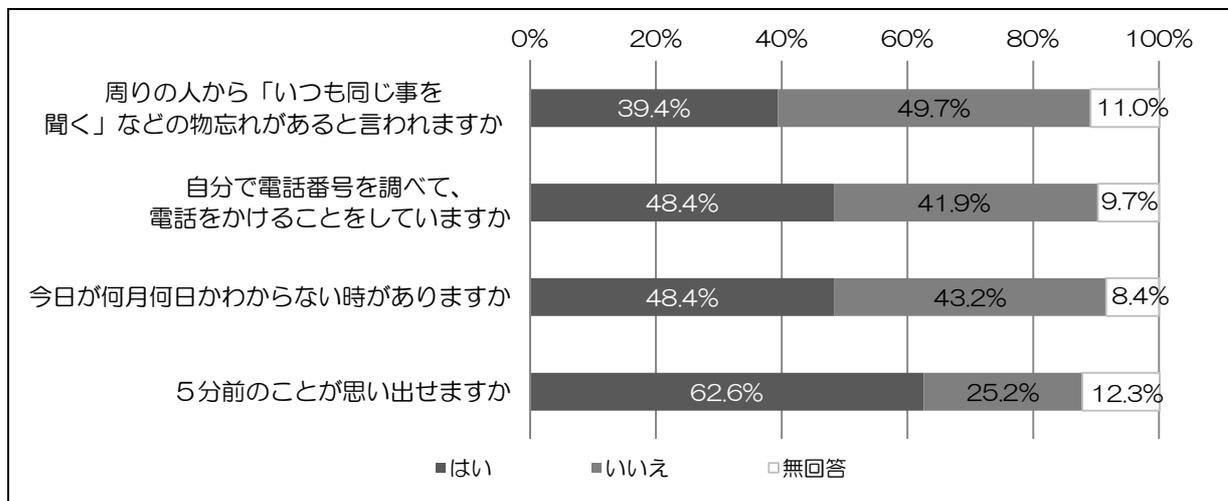
・入れ歯の状況（入れ歯を使用している人）

入れ歯の状況では、両方の項目で「はい」が6割以上となっています。

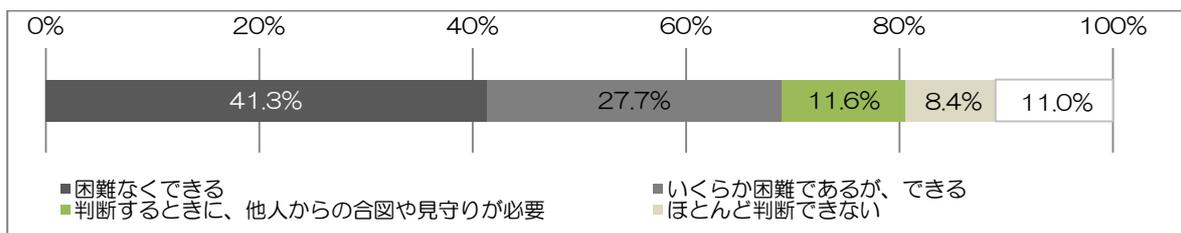


7 物忘れについて

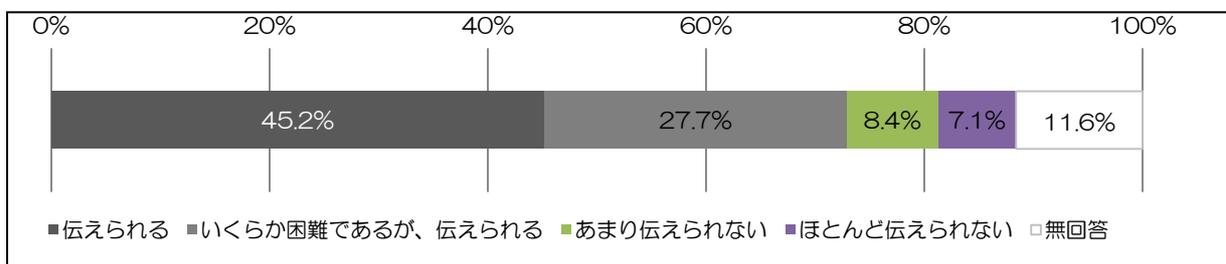
物忘れについての各設問の回答は、「周りから「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか」は「いいえ」の割合が高くなっていますが、それ以外は「はい」の割合が高くなっています。



「その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか」では、「困難なくできる」が41.3%、「いくらか困難であるが、できる」が27.7%となっています。

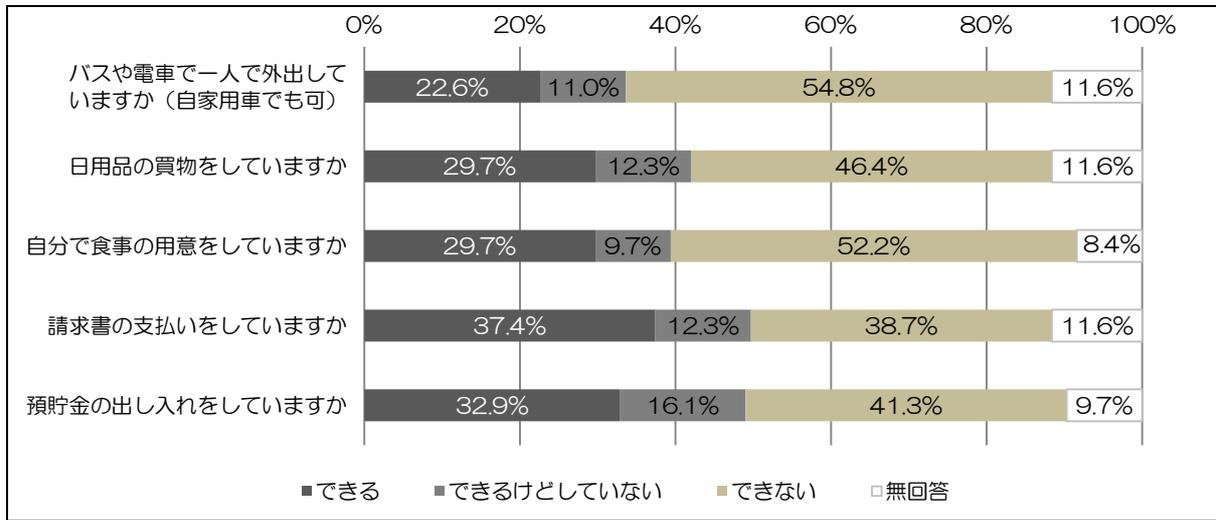


「人に自分の考えをうまく伝えられますか」では、「伝えられる」が45.2%、「いくらか困難であるが伝えられる」が27.7%となっています。

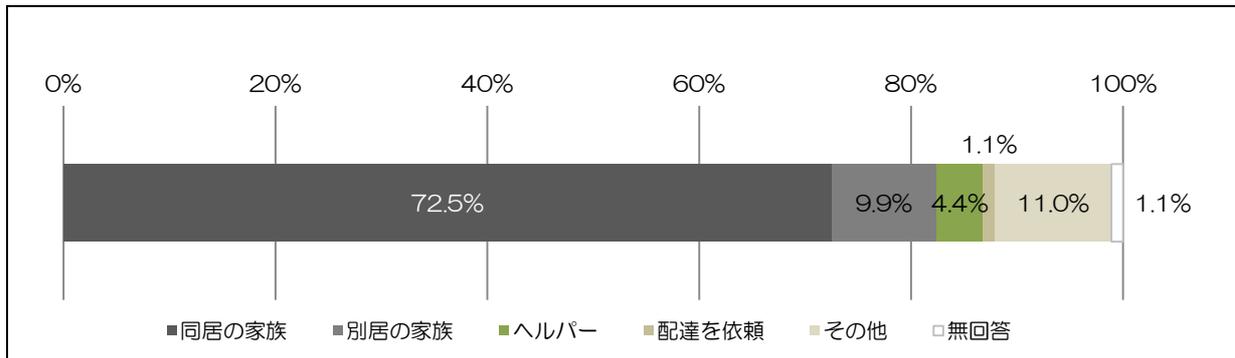


8 日常生活について

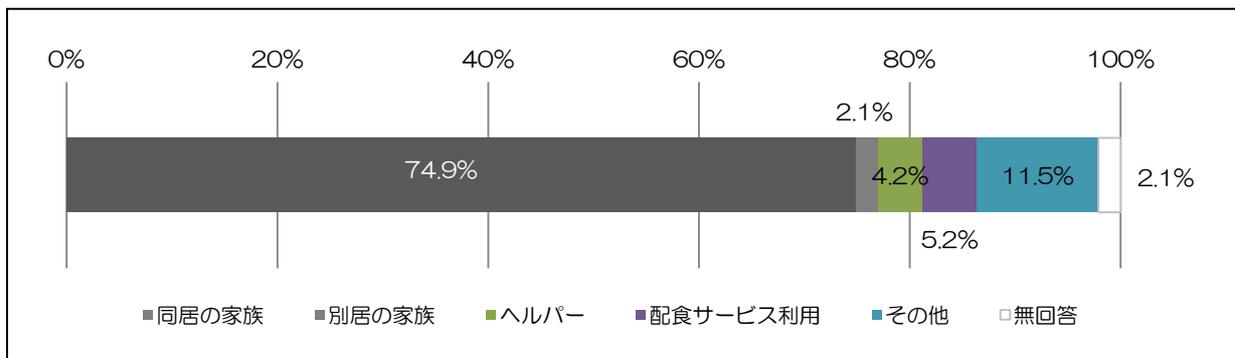
日常生活についての下記グラフ内の設問の回答は、すべての項目で「できない」が最も多くなっています。



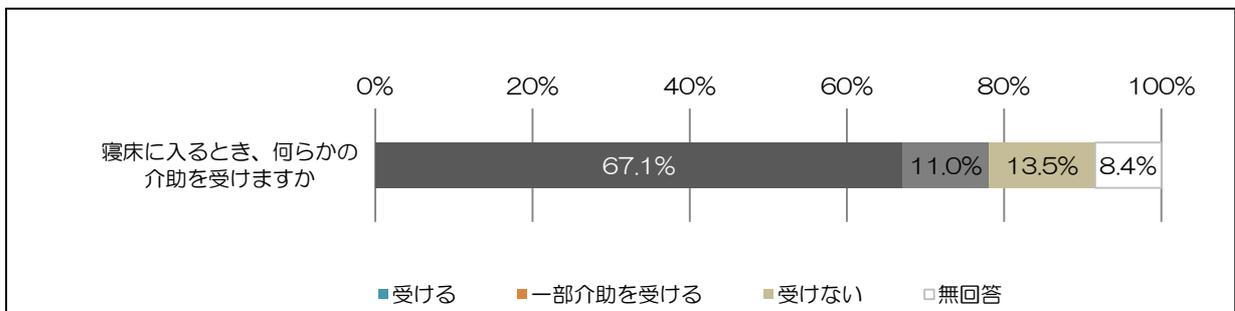
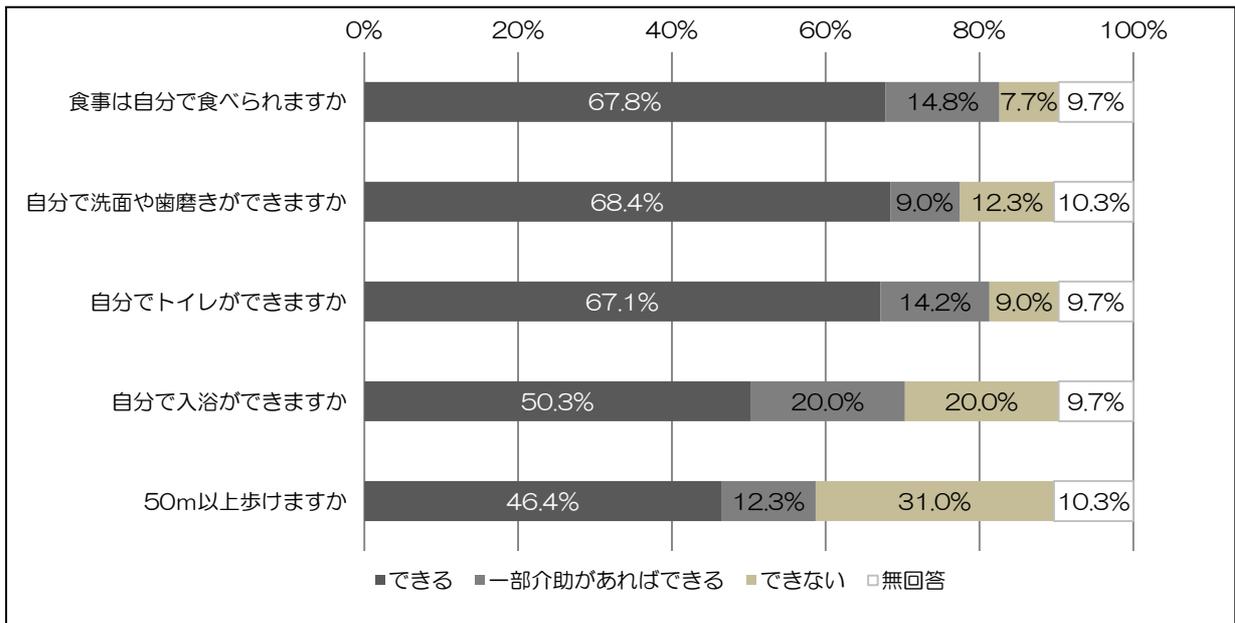
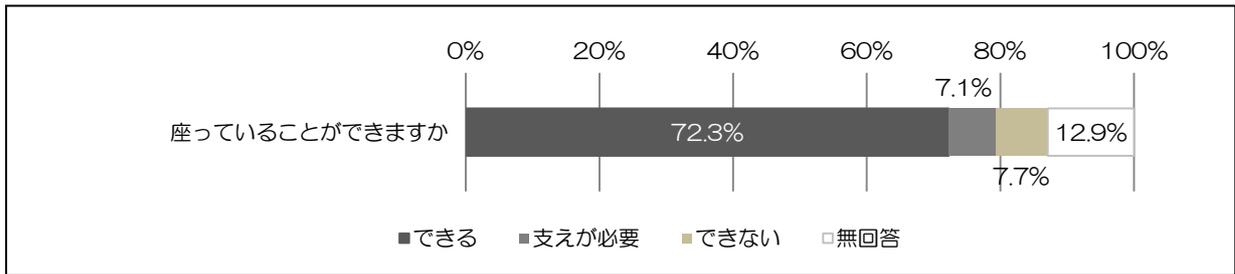
日用品の買物をしていないとき・できない時に、買い物をするのは「同居の家族」が72.5%となっています。



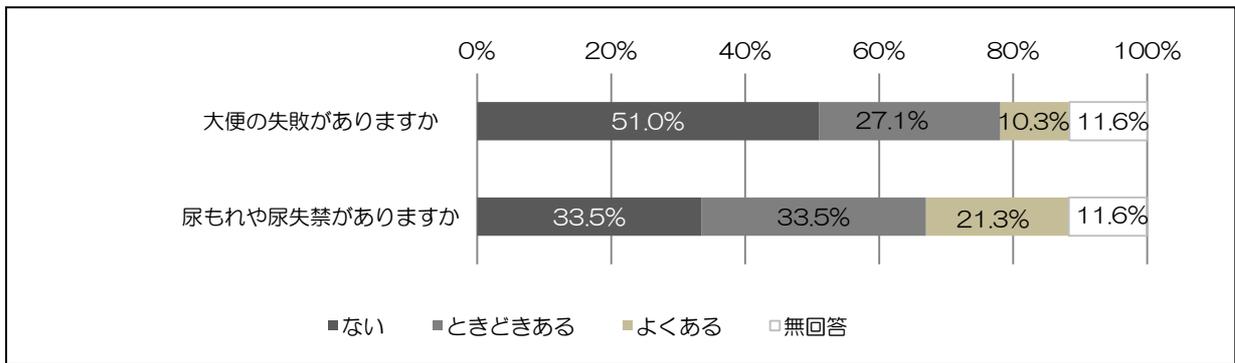
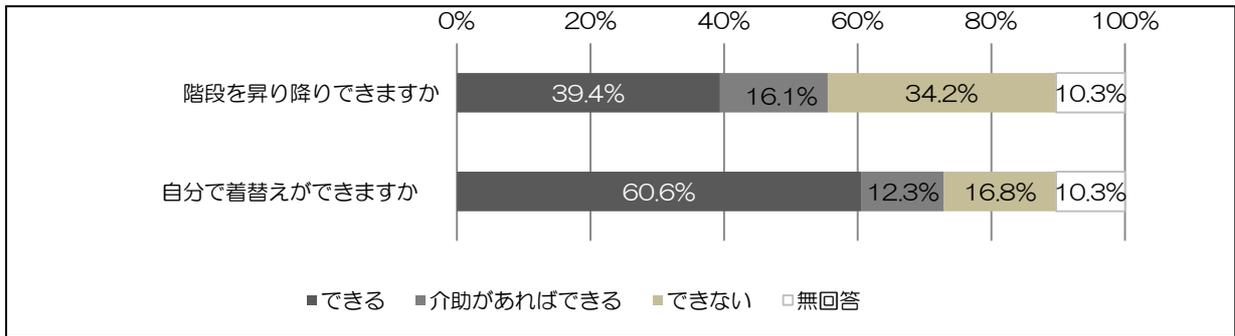
自分で食事の用意をしていないとき・できない時に、食事の用意をするのは「同居の家族」が74.9%となっています。



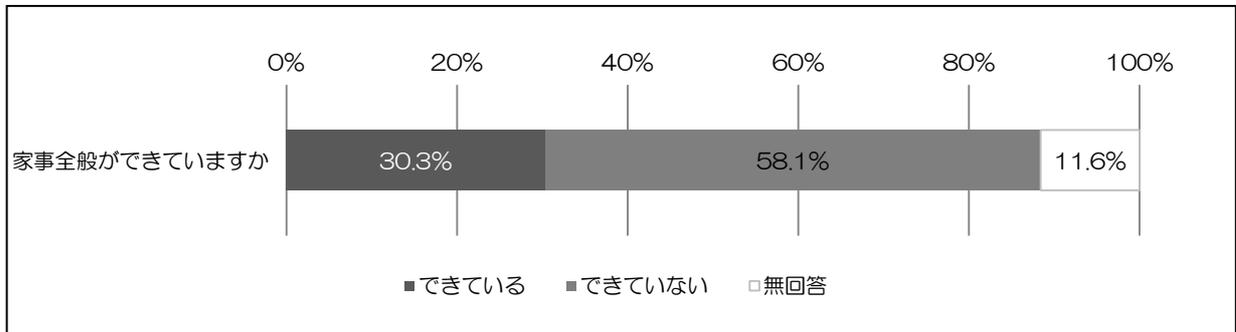
下記グラフ内の設問の回答においても、すべての項目で「できる」あるいは「受けない」が最も多くなっています。



下記グラフ内の設問の回答においては、「尿もれや尿失禁がありますか」については「ない」と「ときどきある」が同じ割合になっていますが、それ以外の項目では「できる」あるいは「ない」が最も多くなっています。

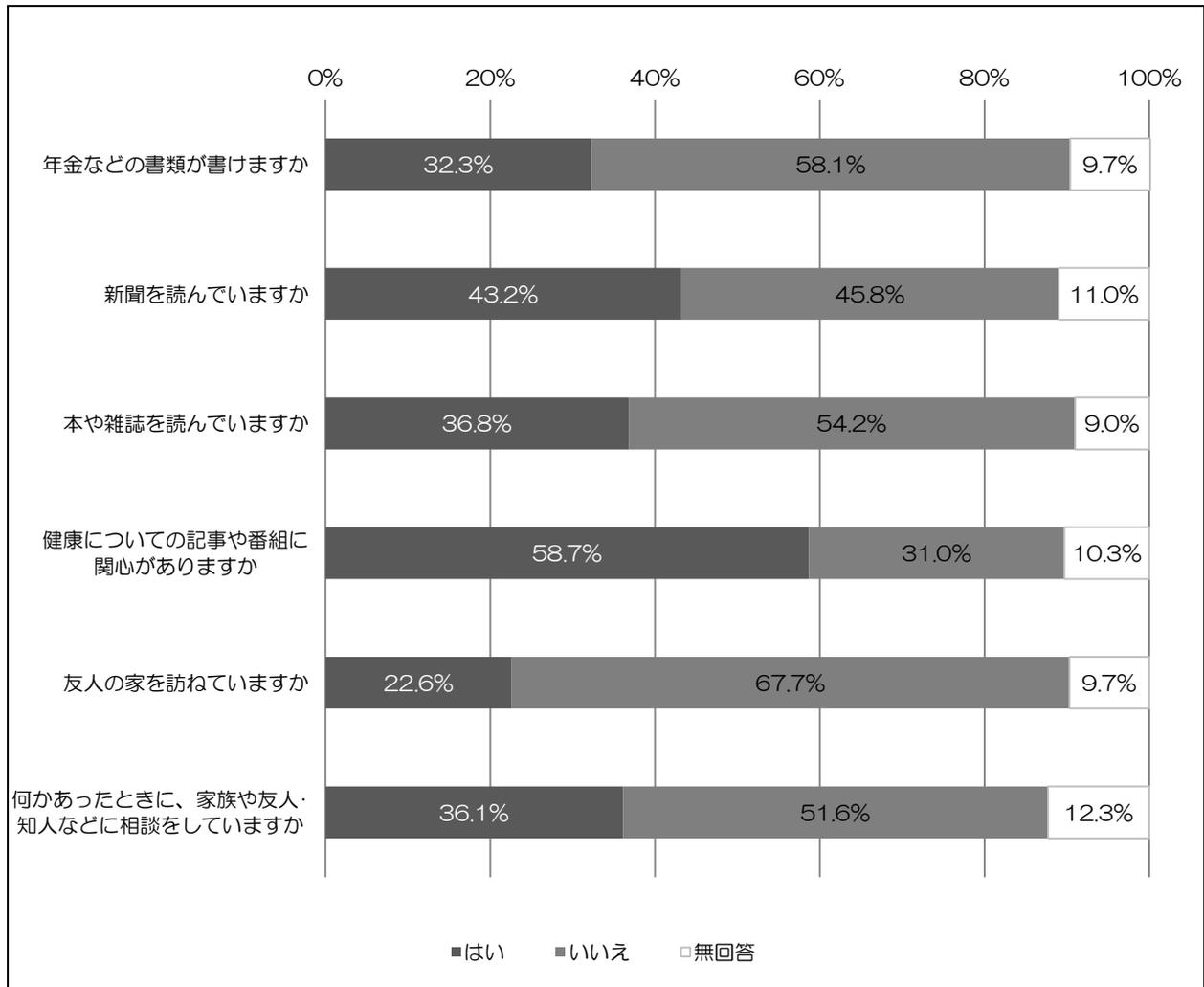


「家事全般ができていますか」では、「できていない」が最も多く 58.1%となっています。



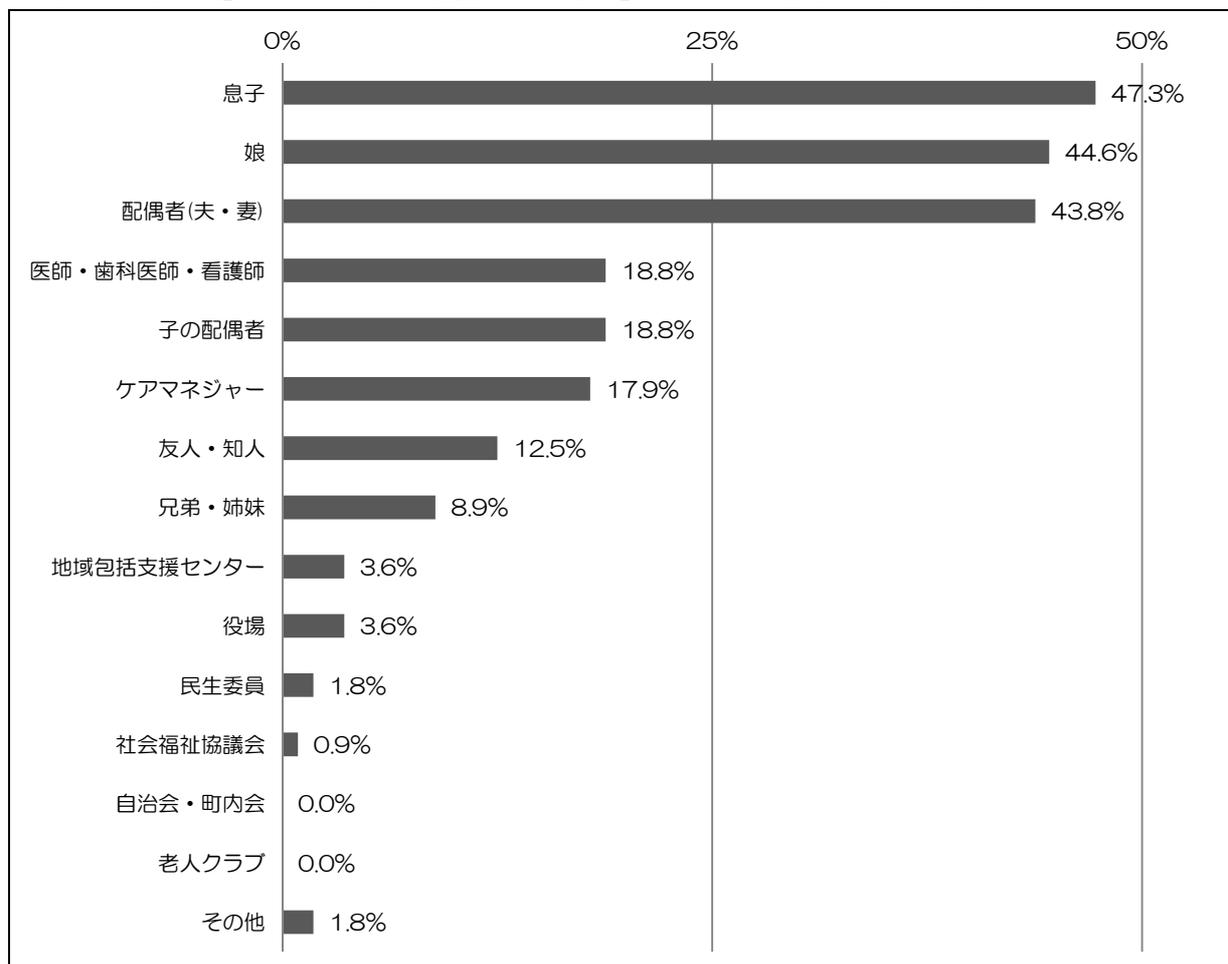
9 社会参加について

社会参加についての下記グラフ内の設問の回答は、「健康についての記事や番組に関心がありますか」については「はい」が最も多くなっていますが、それ以外の項目では「いいえ」が最も多くなっています。

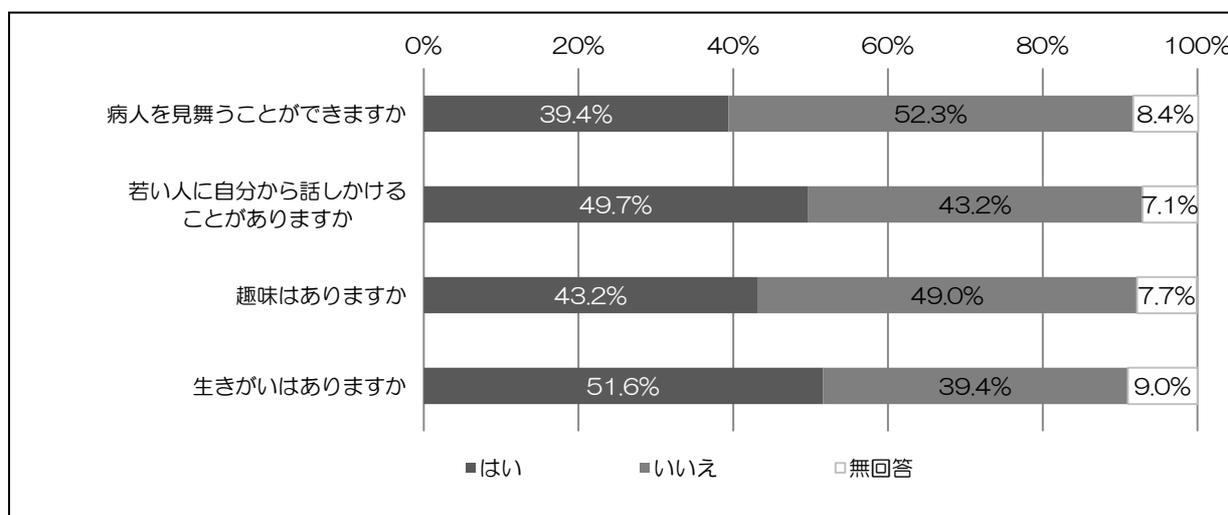


・相談相手（何かあったときに相談をしている人）（複数回答）

何かあったときに、誰かに相談をしている人の相談相手では、「息子」が最も多く 47.3%となっています。次いで「娘」（44.6%）、「配偶者（夫・妻）」（43.8%）となっています。

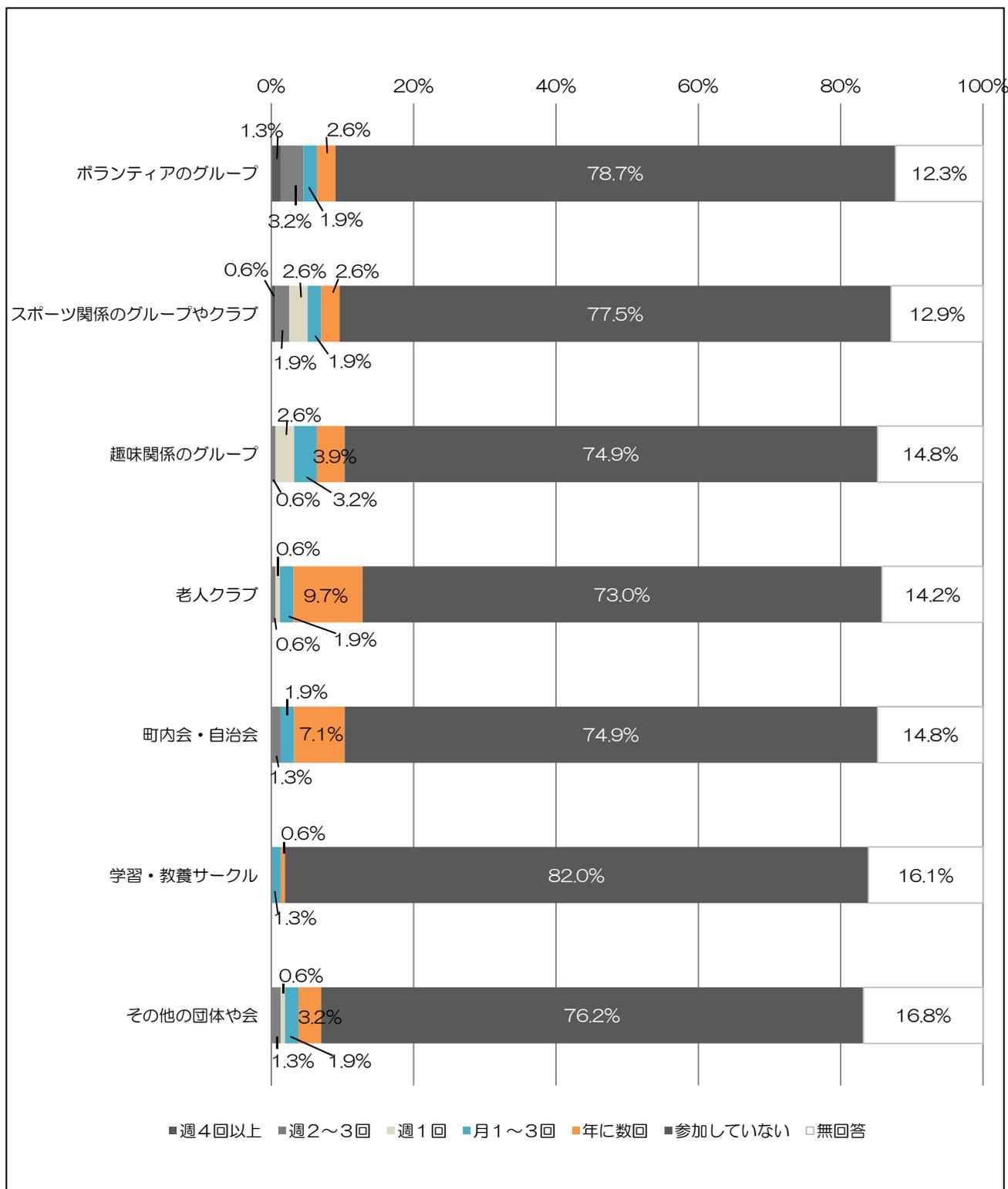


下記グラフ内の設問の回答は、「若い人に自分から話しかけることがありますか」と「生きがいはありますか」では「はい」が最も多くなっていますが、それ以外の項目では「いいえ」が最も多くなっています。



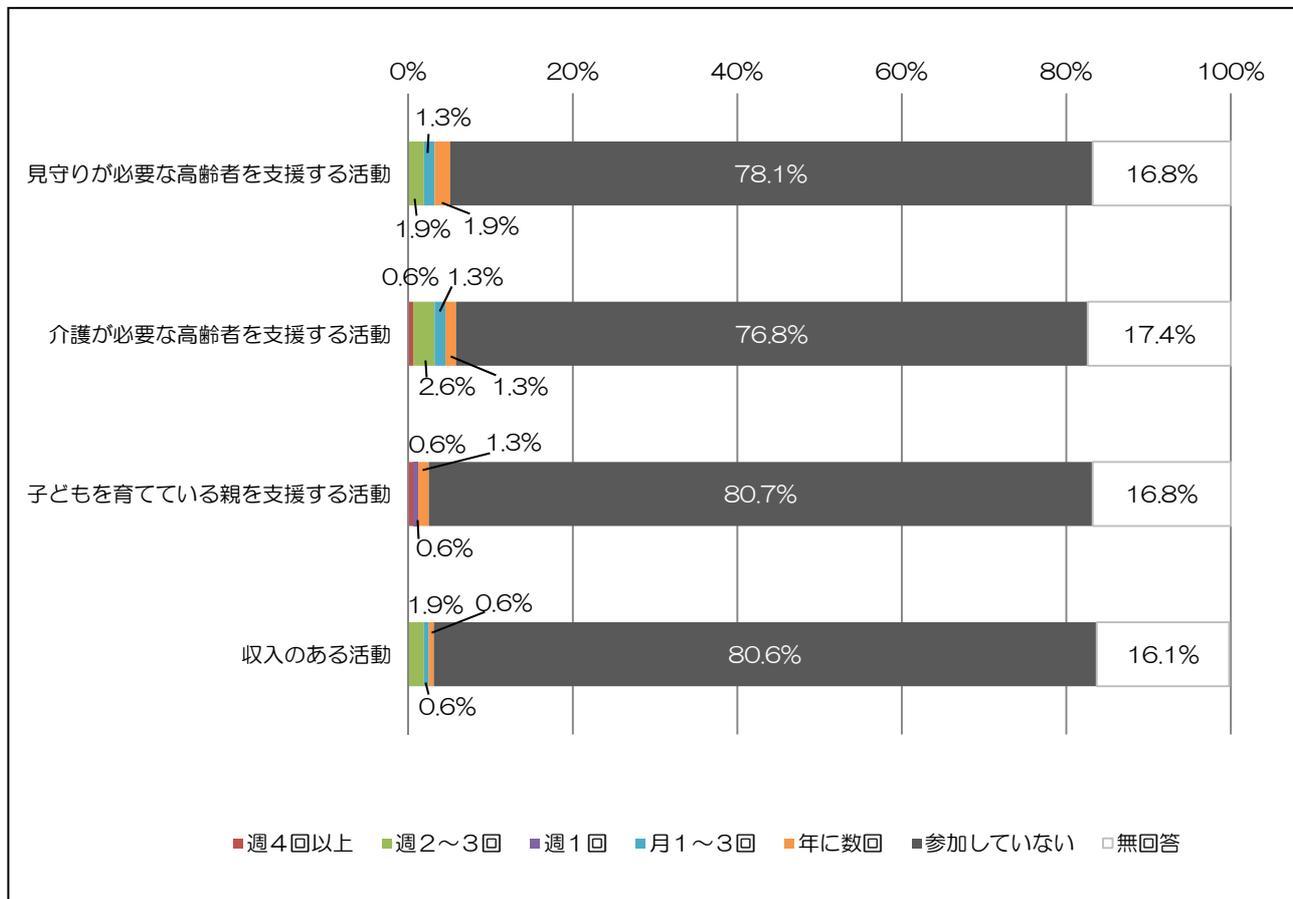
・地域活動等の参加状況（複数回答）

地域活動等の参加状況については、「参加していない」が最も多く7割を超えています。参加している中では、「老人クラブ」が最も多く「年に数回」が9.7%となっています。



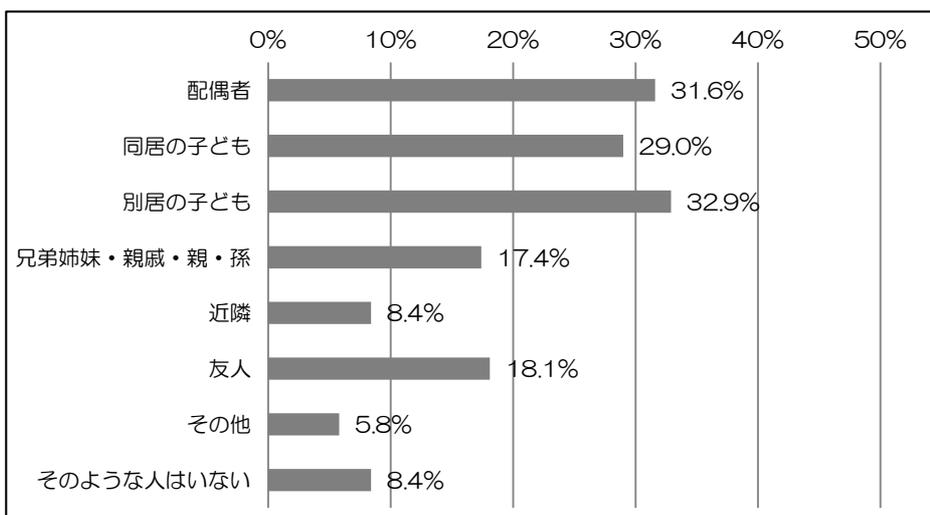
・社会参加活動や仕事への参加状況（複数回答）

社会参加活動や仕事の参加状況については、「参加していない」が最も多く8割前後となっています。参加している中では、「見守りが必要な高齢者を支援する活動」が最も多く「年に数回」が1.9%となっています。

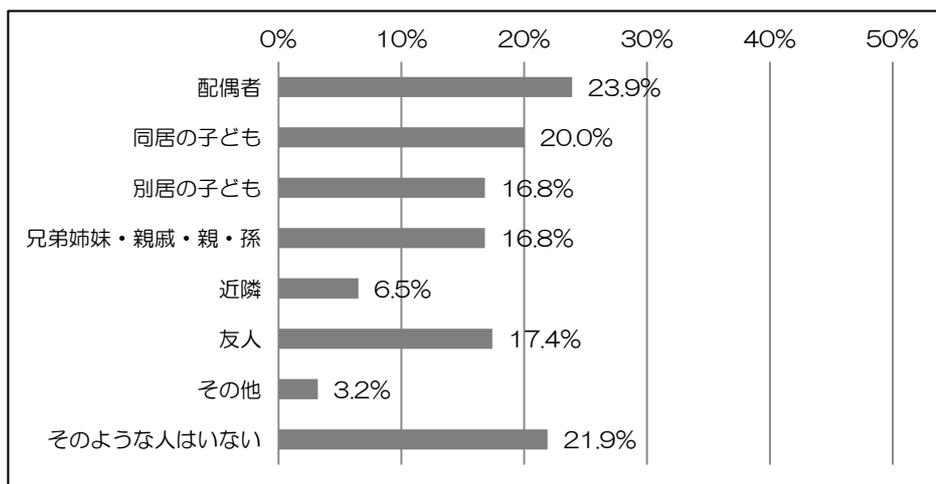


・たすけあいについて（複数回答）

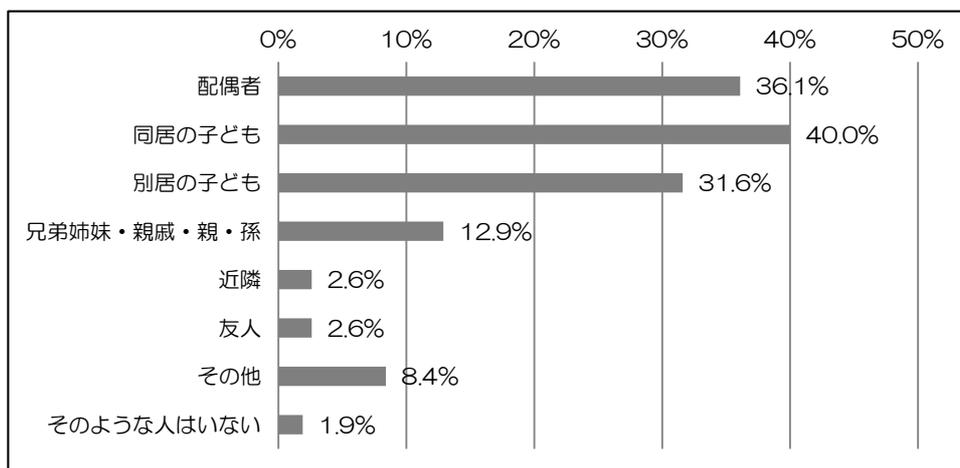
あなたの心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人としては「別居の子ども」が最も多く 32.9% となっています。



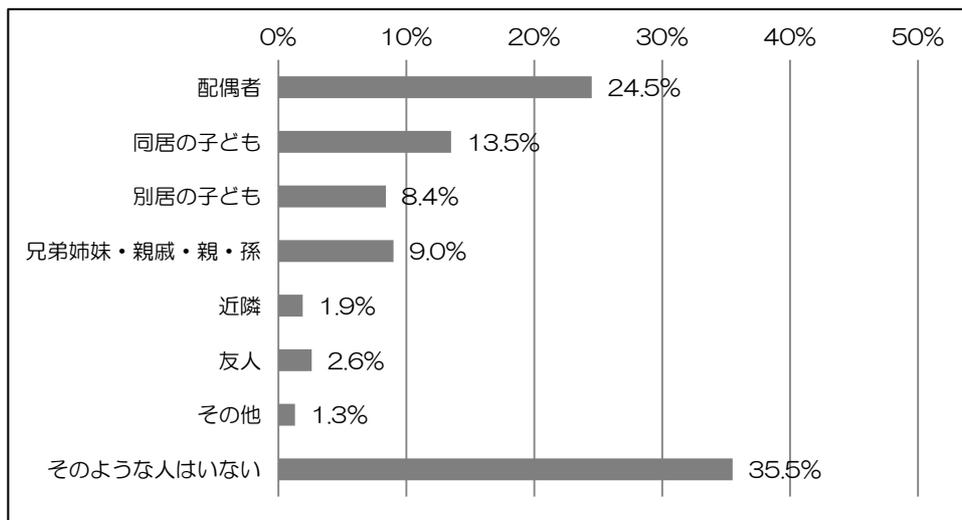
あなたが心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてあげる人としては「配偶者」が最も多く 23.9% となっています。



あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人としては「同居の子ども」が最も多く 40.0% となっています。

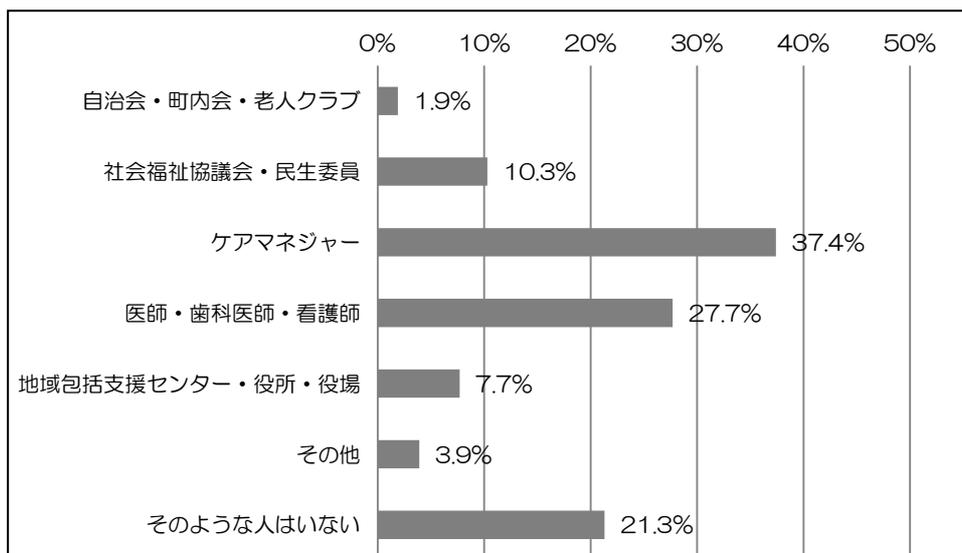


あなたが看病や世話をしてあげる人としては「配偶者」が最も多く 24.5%となっています。



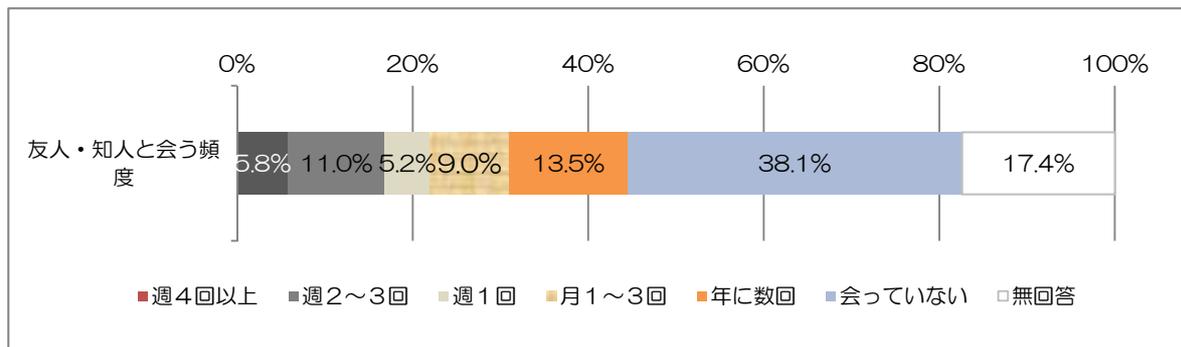
・何かあったときの相談相手（複数回答）

なにかあった場合の相談相手としては、「ケアマネジャー」が最も多く 37.4%となっています。

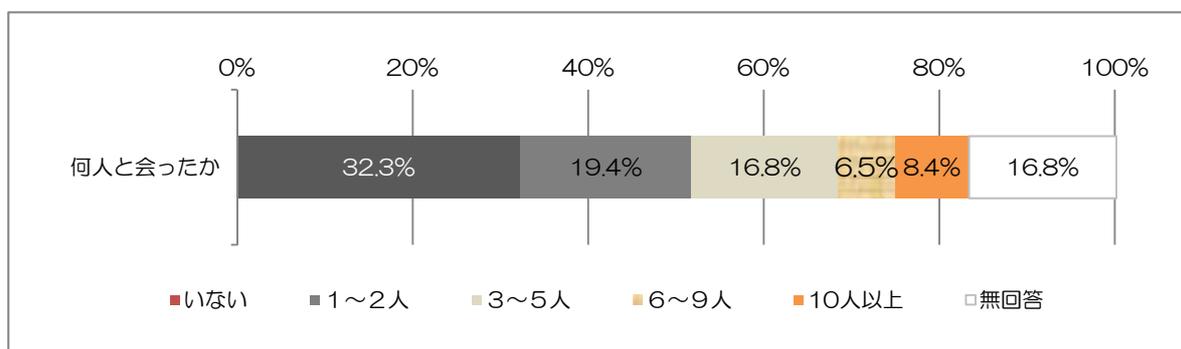


・友人・知人と会う頻度（複数回答）

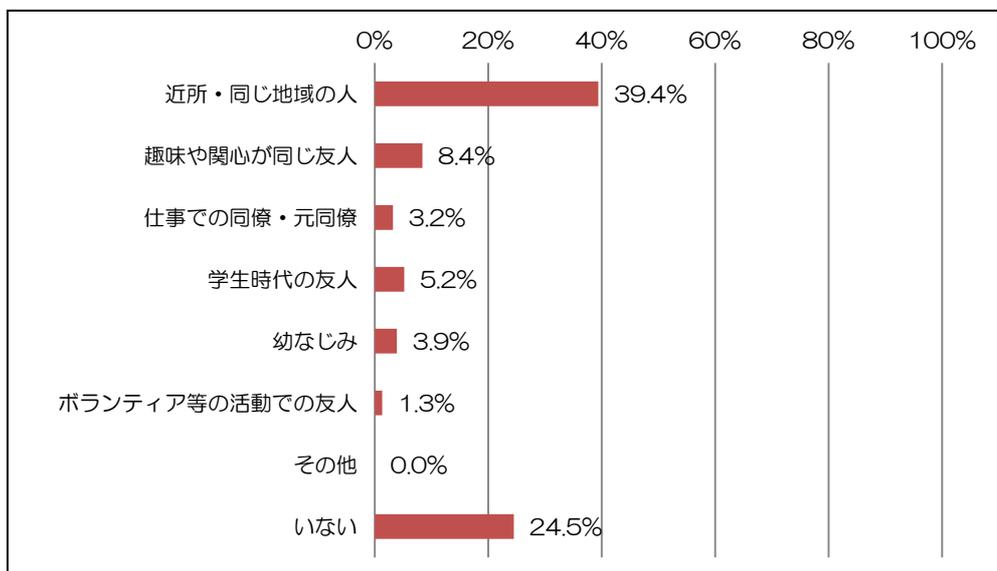
友人・知人と会う頻度は「会っていない」が最も多く（38.1%）なっています。



この1か月間に会った友人・知人の数は、「1人~2人」が最も多く（32.3%）なっています。



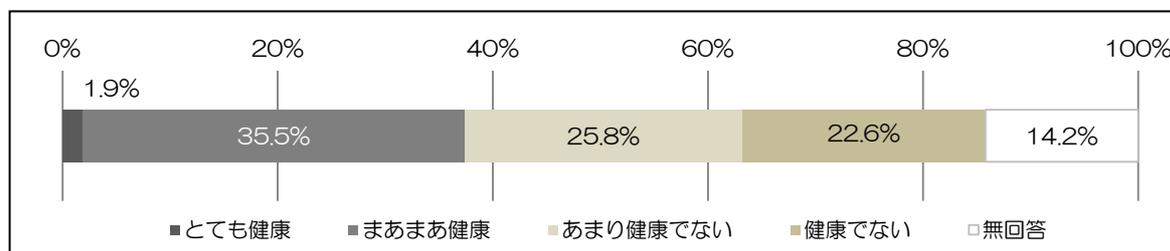
よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が最も多く（39.4%）、次いで「趣味や関心が同じ友人」（8.4%）となっています。



10 健康について

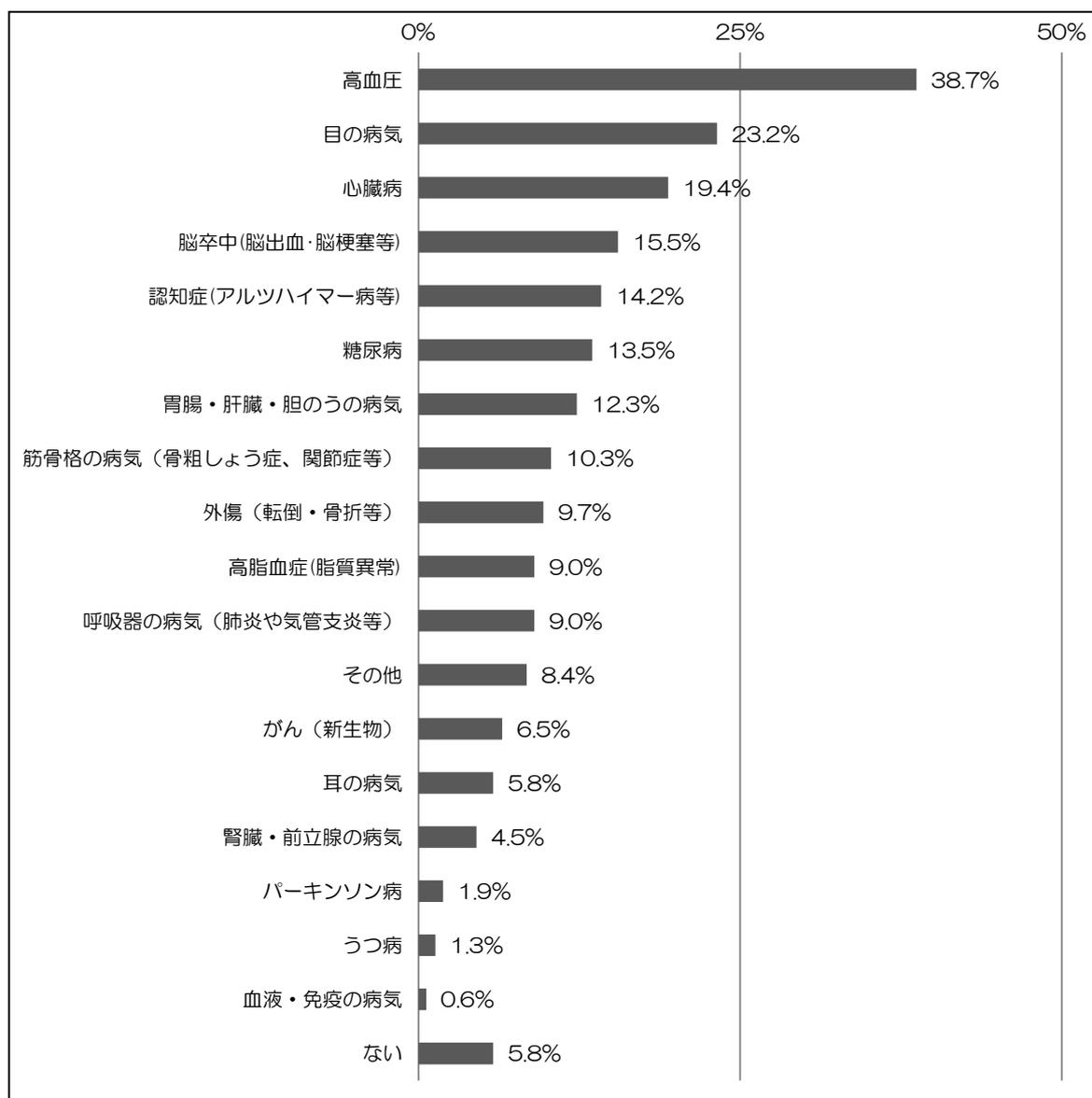
(1) 普段の健康状態

普段の健康状態については、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた層が48.4%と5割に迫っており、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた層（37.4%）を上回っています。



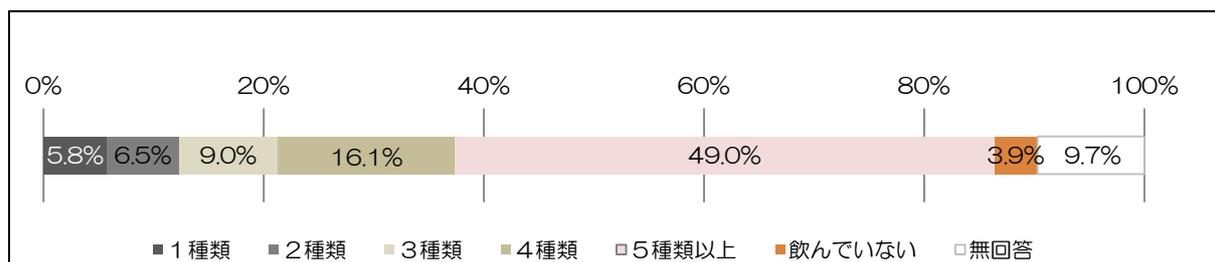
(2) 現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が最も多く38.7%となっています。次いで「目の病気」（23.2%）、「心臓病」（19.4%）となっています。



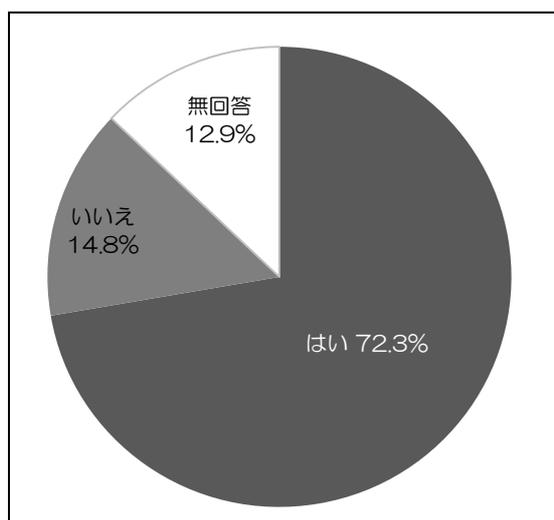
(3) 医師から処方された薬の状況

現在、医師から処方された薬を何種類飲んでいるかについては、「5種類以上」が49.0%と最も多くなっています。



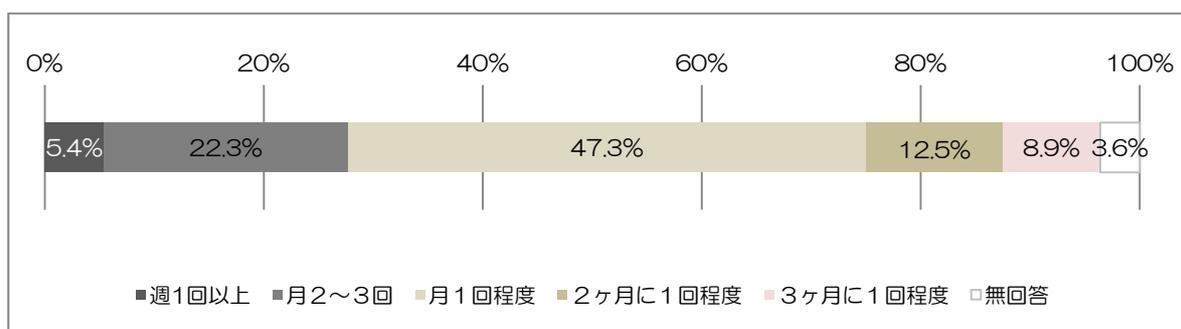
(4) 病院・医院（診療所、クリニック）への通院状況

現在、病院・医院（診療所、クリニック）へ通院しているかについては、「はい」が72.3%と約7割となっています。



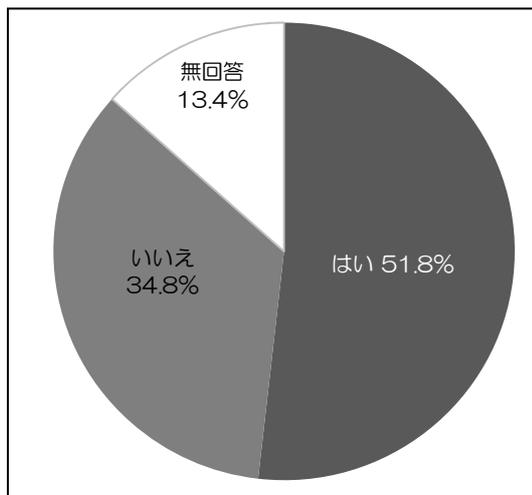
・通院頻度（現在通院している人）

通院している頻度については、「月1回程度」が最も多く47.3%となっています。次いで「月に2~3回」（22.3%）となっています。



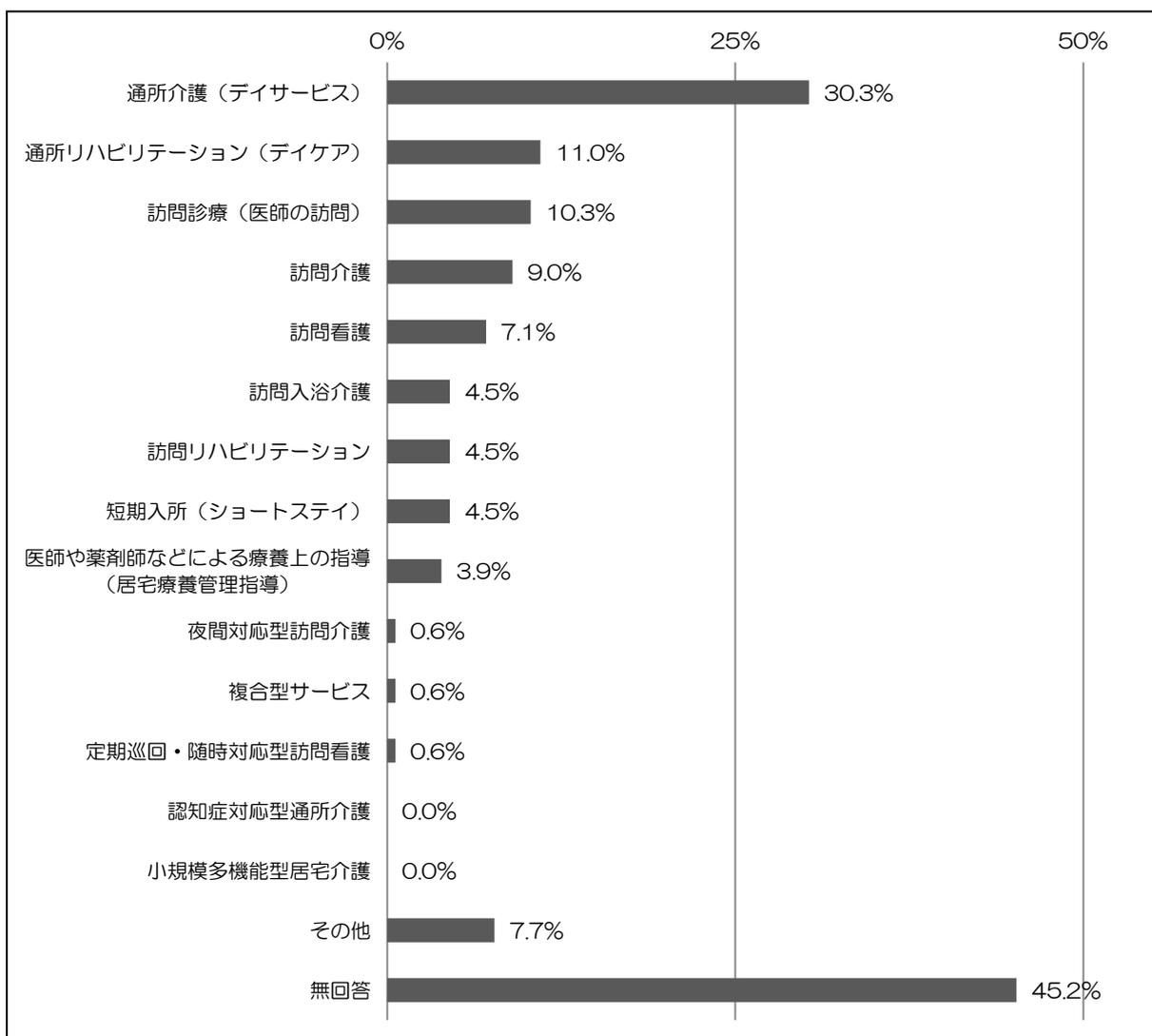
・通院での介助の必要性（現在通院している人）

通院に介助が必要かどうかについては、「はい」が51.8%と5割を超えています。



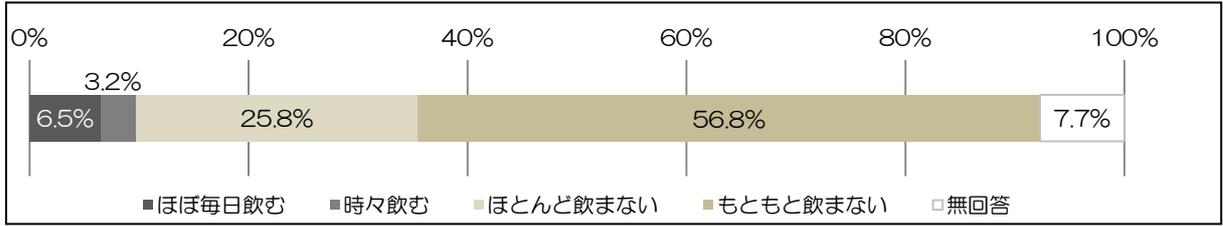
(5) 在宅サービスの利用状況（複数回答）

在宅サービスの利用状況については、「通所介護（デイサービス）」が30.3%と最も多くなっています。



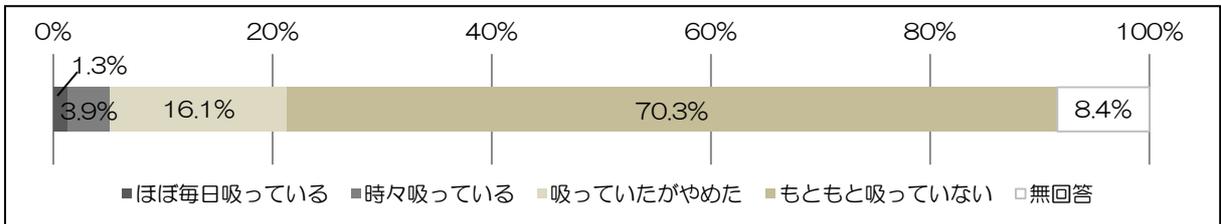
(6) 飲酒状況

飲酒状況については、「もともと飲まない」が最も多く 56.8%となっています。次いで「ほとんど飲まない」(25.8%)となっています。



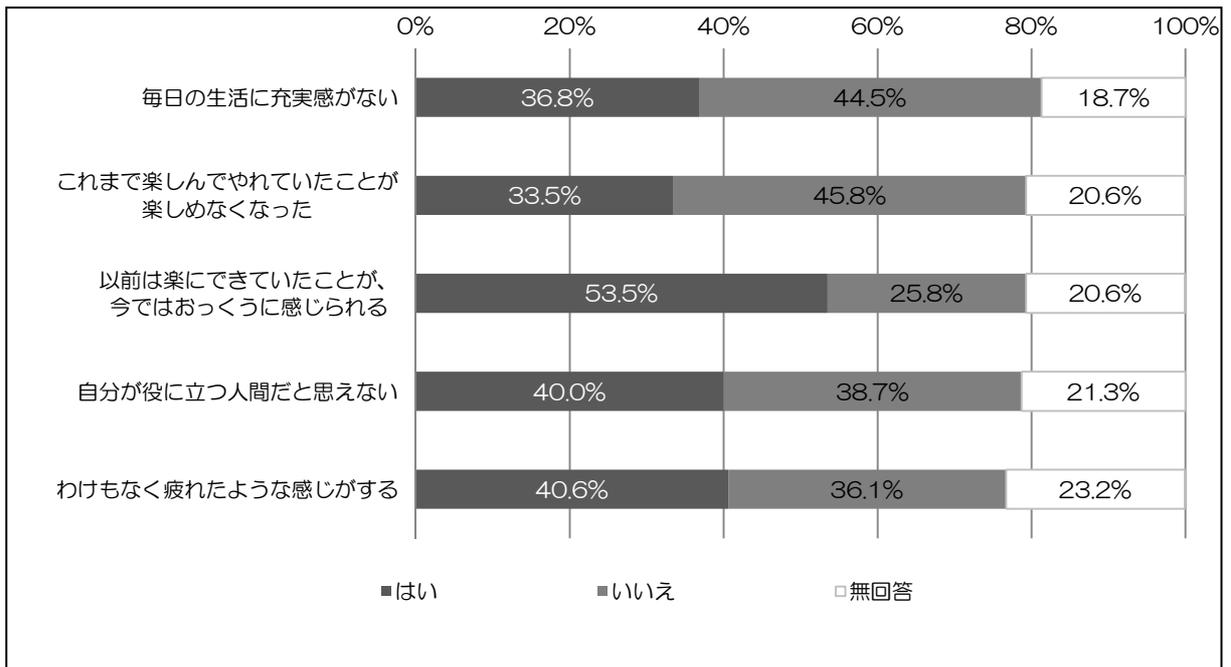
(7) 喫煙状況

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が最も多く 70.3%となっています。次いで「吸っていたがやめた」(16.1%)となっています。



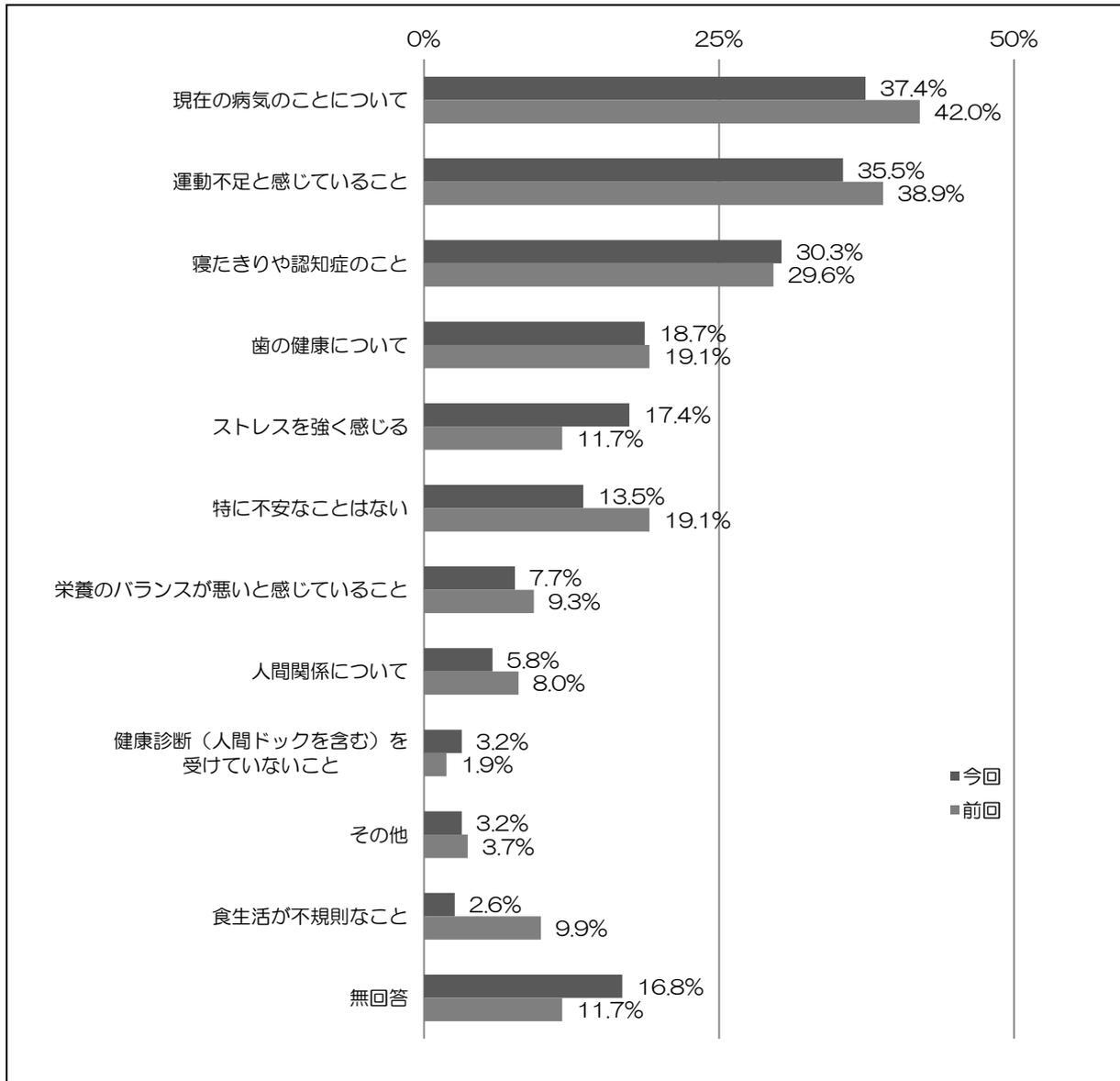
(8) ここ2週間の状況

ここ2週間の状況については、下記の項目ほとんどで「はい」と「いいえ」の割合が同じ程度となっていますが、「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」では「はい」の割合が多くなっています。



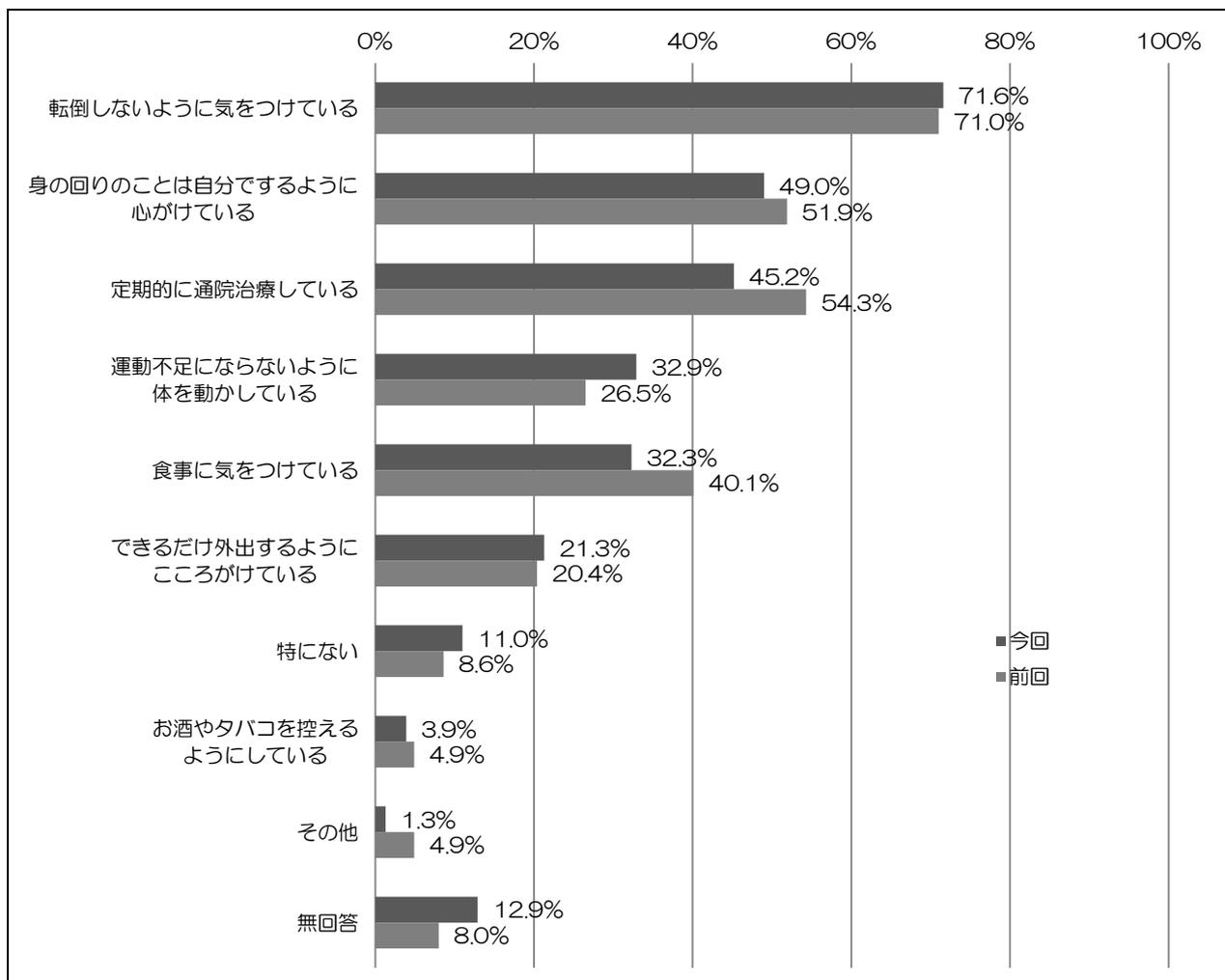
(9) 健康などについての不安なこと（複数回答）

健康などに何か不安なことがあるかどうかについては、「現在の病気のことについて」が最も多く、37.4%となっています。次いで「運動不足と感じていること」（35.5%）、「寝たきりや認知症のこと」（30.3%）となっています。



(10) 健康な生活を送るために気をつけていること（複数回答）

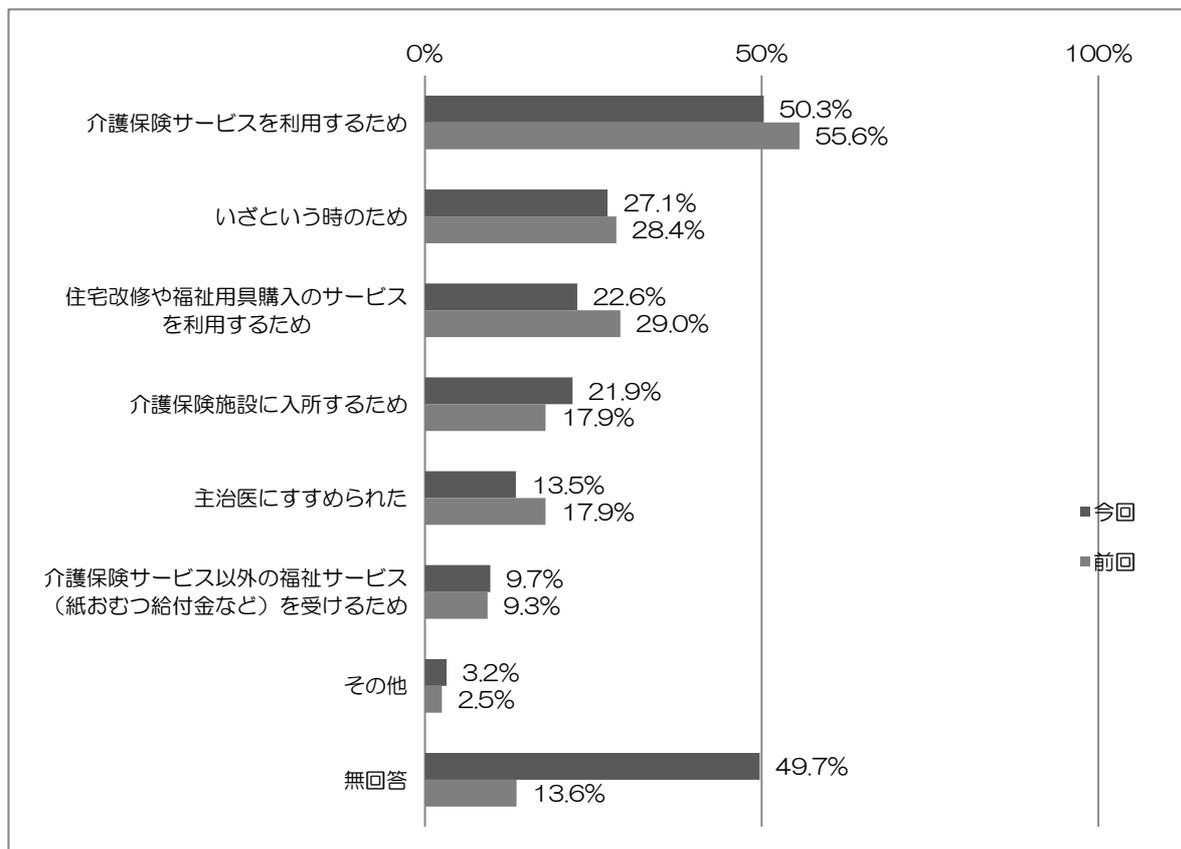
健康な生活を送るために気をつけていることについては、「転倒しないように気をつけている」が最も多く71.6%となっています。次いで「身の回りのことは自分でするように心がけている」(49.0%)となっています。



11 介護保険について

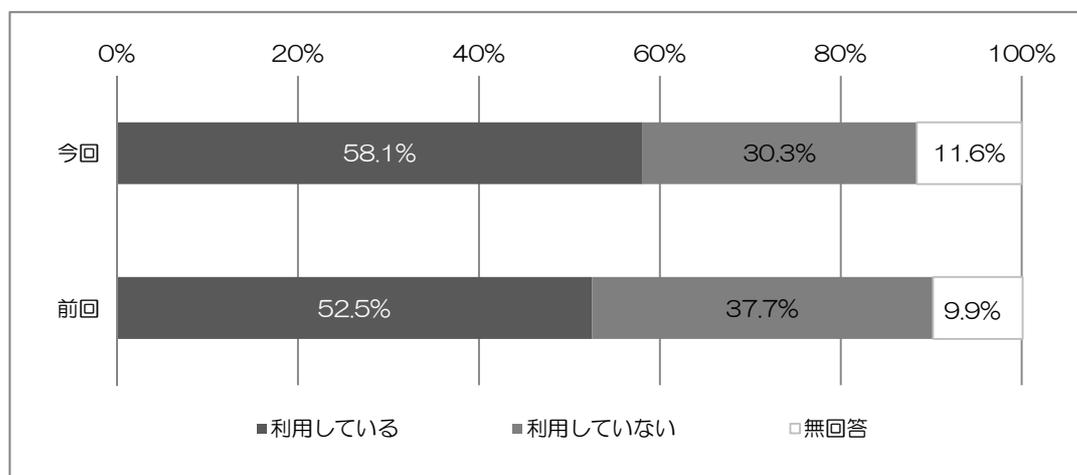
(1) 要介護認定申請を行った理由（複数回答）

要介護認定申請を行った理由については、「介護保険サービスを利用するため」が最も多く 50.3% となっています。次いで「いざという時のため」(27.1%) となっています。



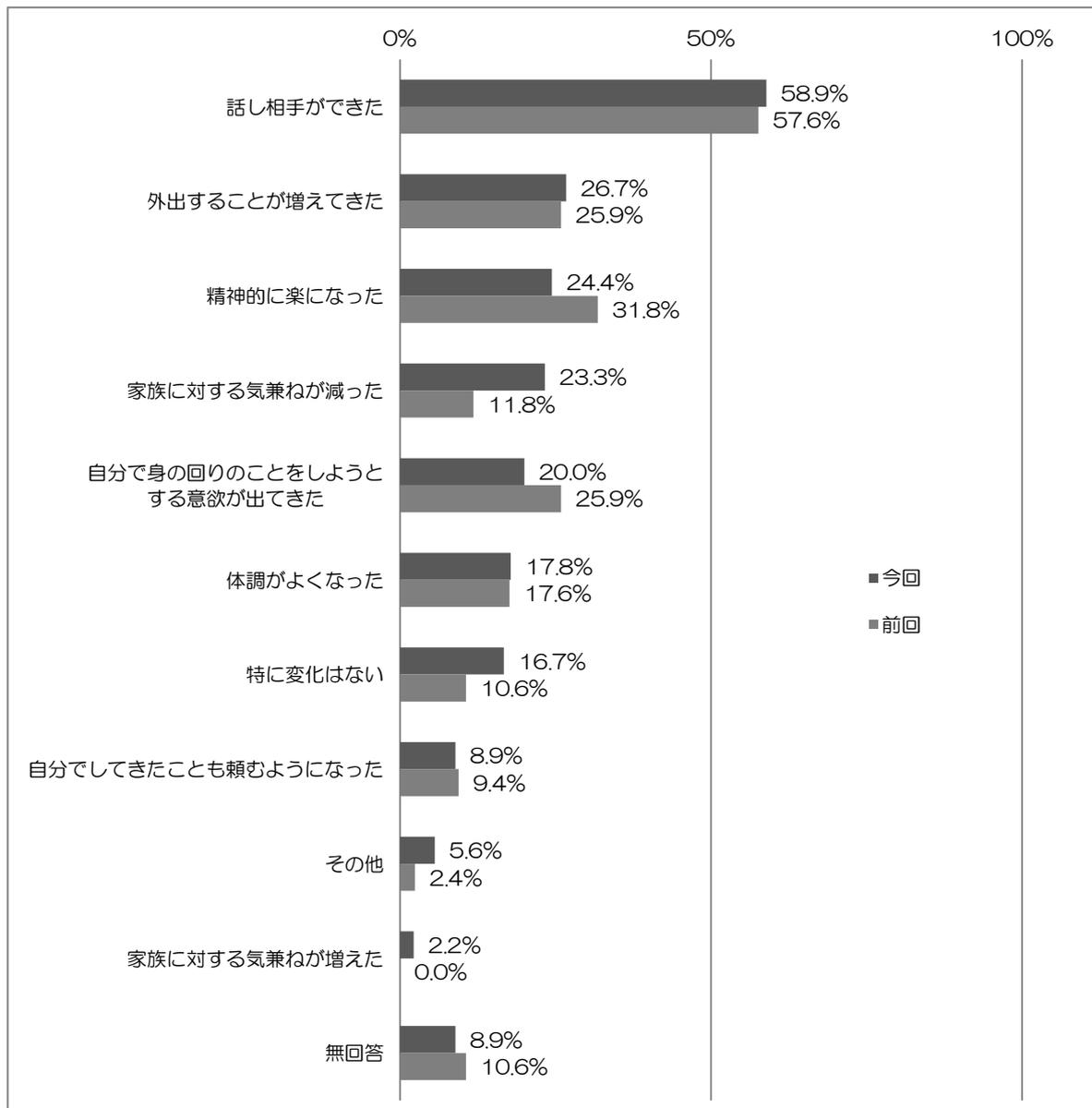
(2) 現在の介護保険サービスの利用状況

現在、介護保険サービスを利用しているかについては、「利用している」が 58.1% と半数を超えています。



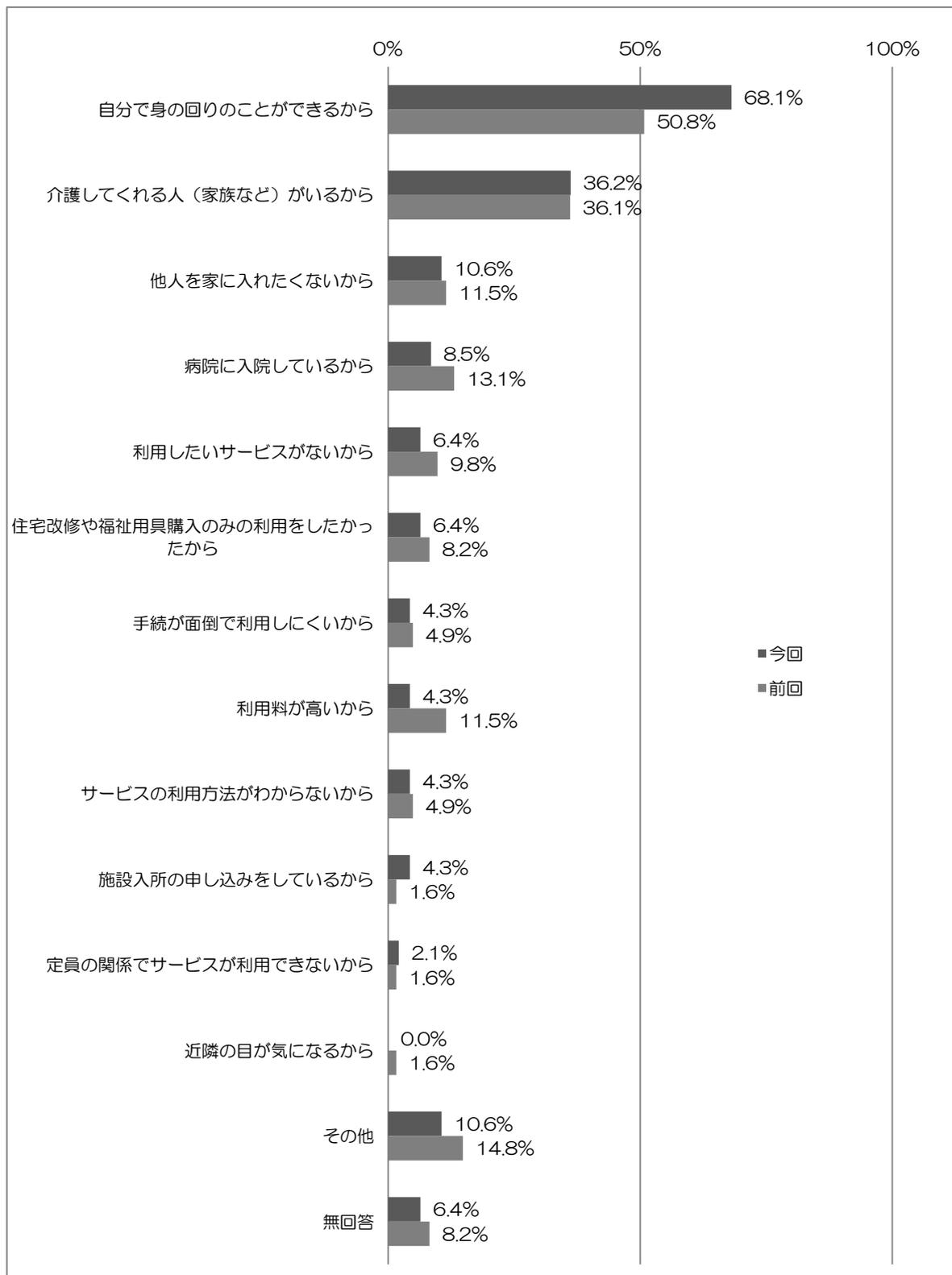
(3) 介護保険サービス利用による生活の変化（複数回答）

介護保険サービスを利用することにより、生活にどのような変化があったかどうかについては、「話し相手が増えた」が最も多く、58.9%となっています。次いで「外出することが増えてきた」(26.7%)となっています。



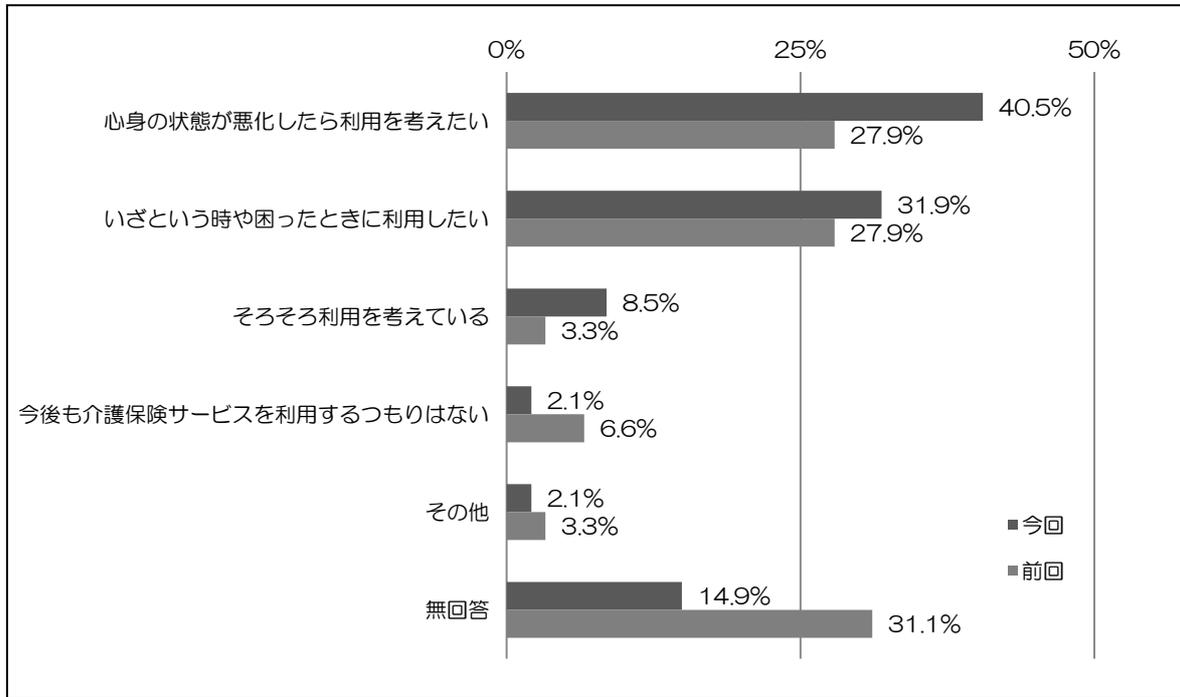
(4) 介護保険サービスを利用しない理由（介護保険サービス未利用者）（複数回答）

介護保険サービスを利用しない理由については、「自分で身の回りのことができるから」が最も多く、68.1%となっています。次いで「介護してくれる人（家族など）がいるから」（36.2%）となっています。



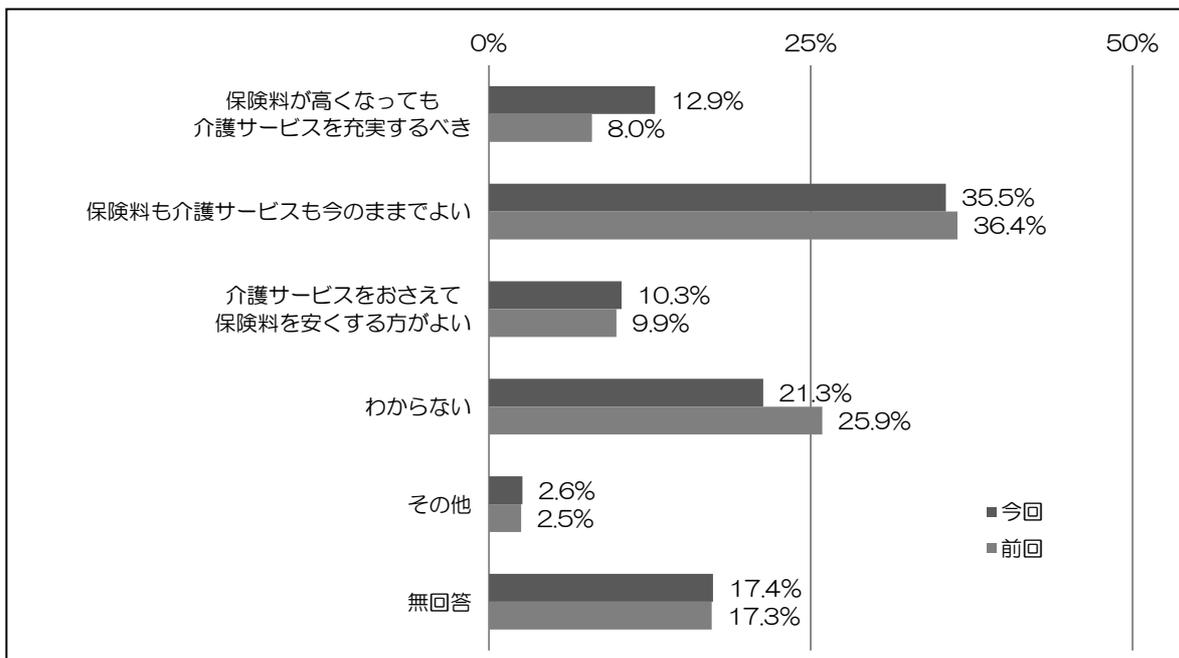
(5) 今後の介護保険サービス利用意向（介護保険サービス未利用者）

今後、介護保険サービスを利用したいかについては、「心身の状態が悪化したら利用を考えたい」と「いざという時や困ったときに利用したい」が多く、これら2つの理由で7割を超えています。



(6) 今後の保険料のあり方について

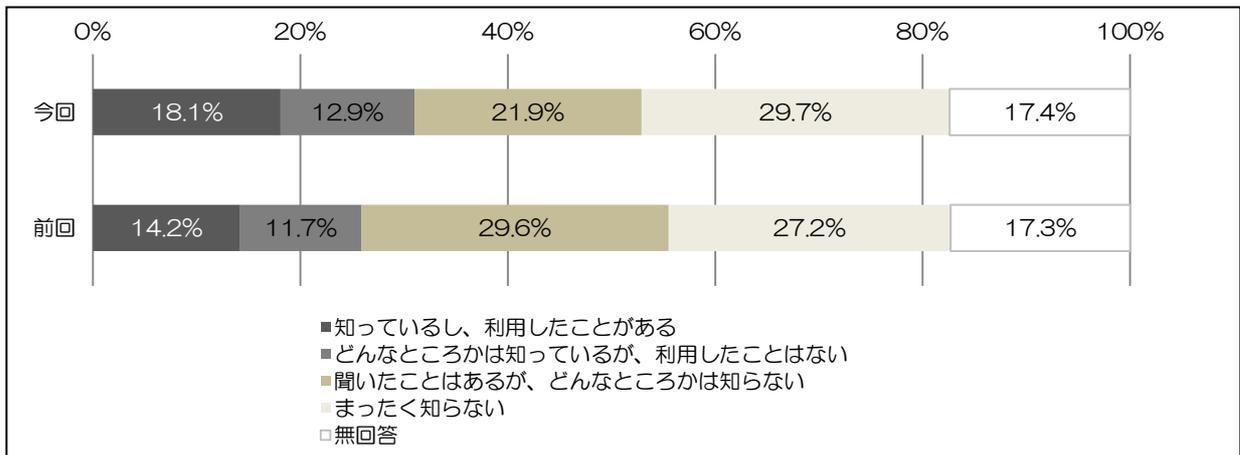
今後の保険料のあり方については、「保険料も介護サービスも今のままでよい」が最も多く 35.5% となっています。次いで「わからない」(21.3%) となっています。



(7) 地域包括支援センターの認知度

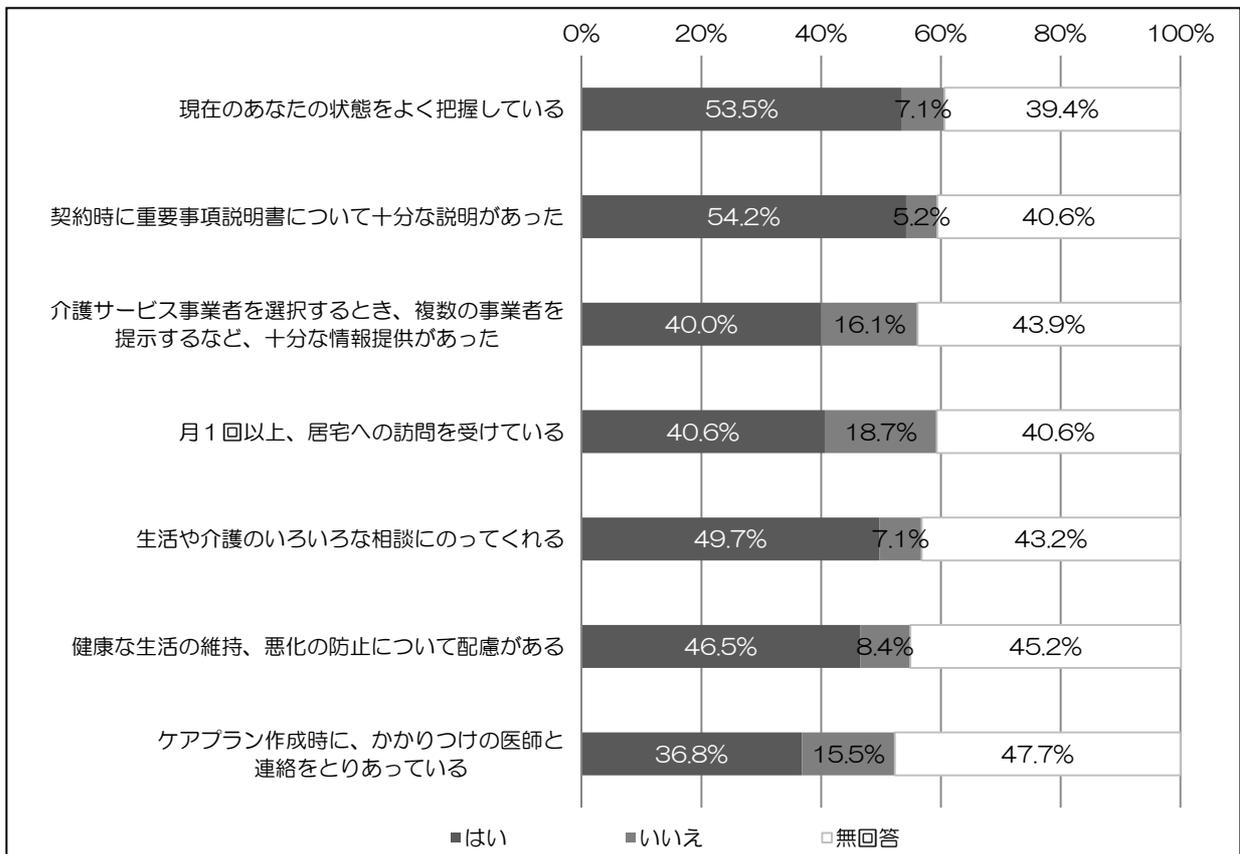
地域包括支援センターの認知度については、「まったく知らない」が最も多く 29.7%となっており、次いで「聞いたことはあるが、どんなところかは知らない」が 21.9%となっています。

前回調査と比較すると、「知っているし、利用したことがある」と「どんなところかは知っているが、利用したことはない」が増加しています。



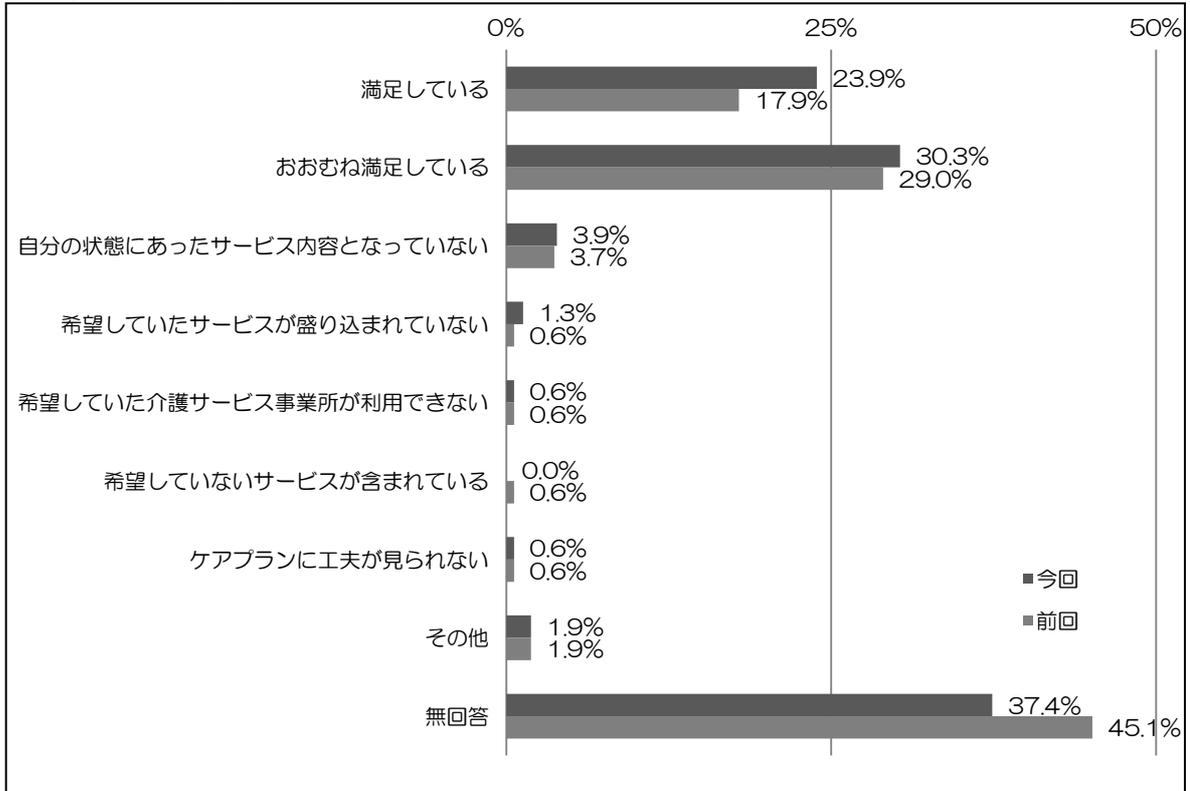
(8) ケアマネジャーについて

現在、担当しているケアマネジャーについては、おおむね「はい」の割合が多くなっていますが、「介護サービス事業者を選択するとき、複数の事業者を提示するなど、十分な情報提供があった」や「月1回以上、居宅への訪問を受けている」、「ケアプラン作成時に、かかりつけの医師と連絡をとりあっている」に関しては、比較的「いいえ」の割合も高くなっています。



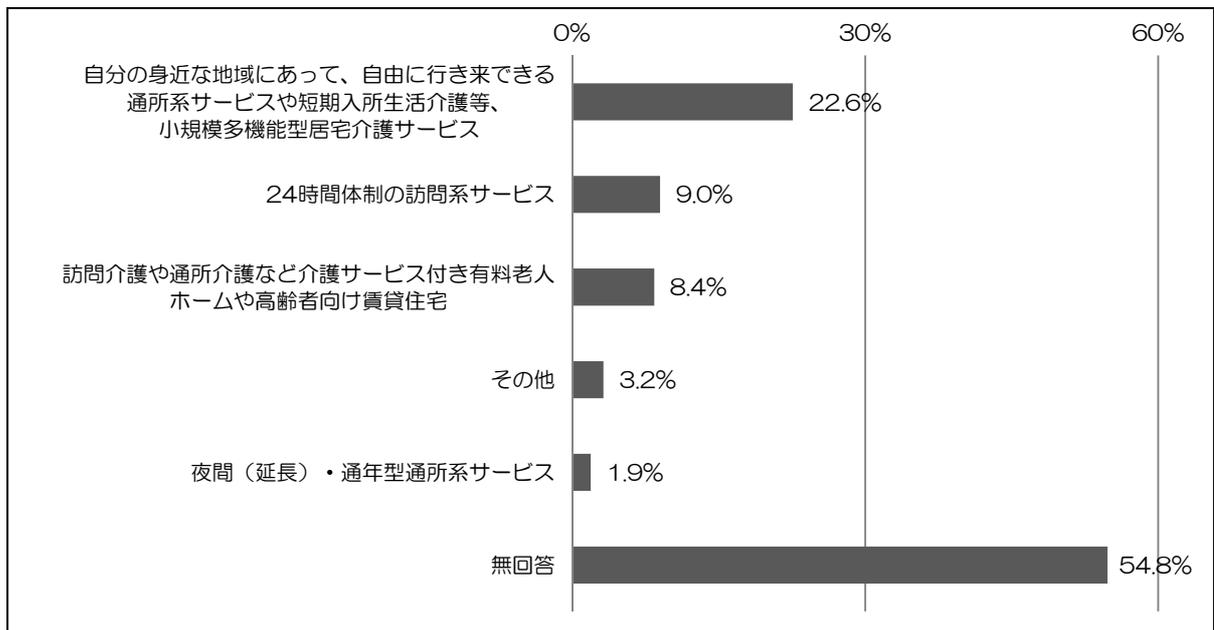
(9) ケアプランについて

現在のケアプランについては、「満足している」(23.9%)と「おおむね満足している」(30.3%)を合わせると約半数が満足していることとなっています。



(10) 在宅生活を続けるために望む新たなサービス

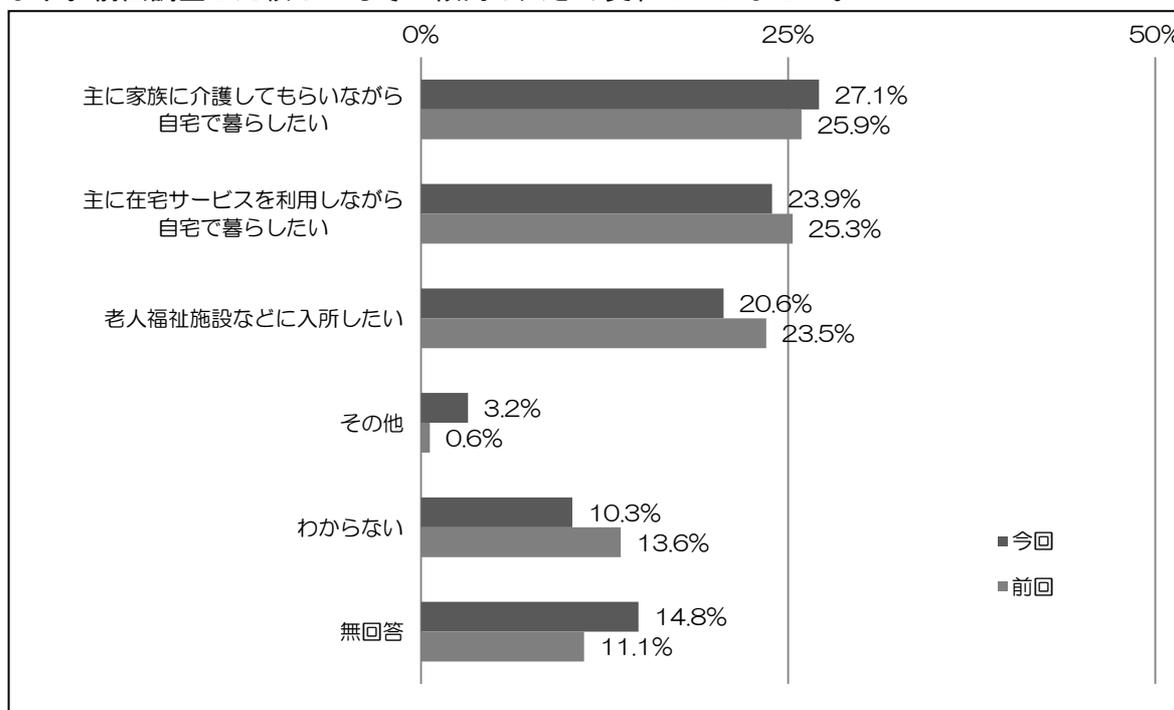
施設入所ではなく、在宅生活を続けるために、既存の介護サービスのほかに新たにどんな介護サービスを望むかについては、「自分の身近な地域にあって、自由に行き来できる通所系サービスや短期入所生活介護等、小規模多機能型居宅介護サービス」が最も多く22.6%となっています。次いで「24時間体制の訪問系サービス」(9.0%)、「訪問介護や通所介護など介護サービス付き有料老人ホームや高齢者向け賃貸住宅」(8.4%)となっています。



12 将来の生活について

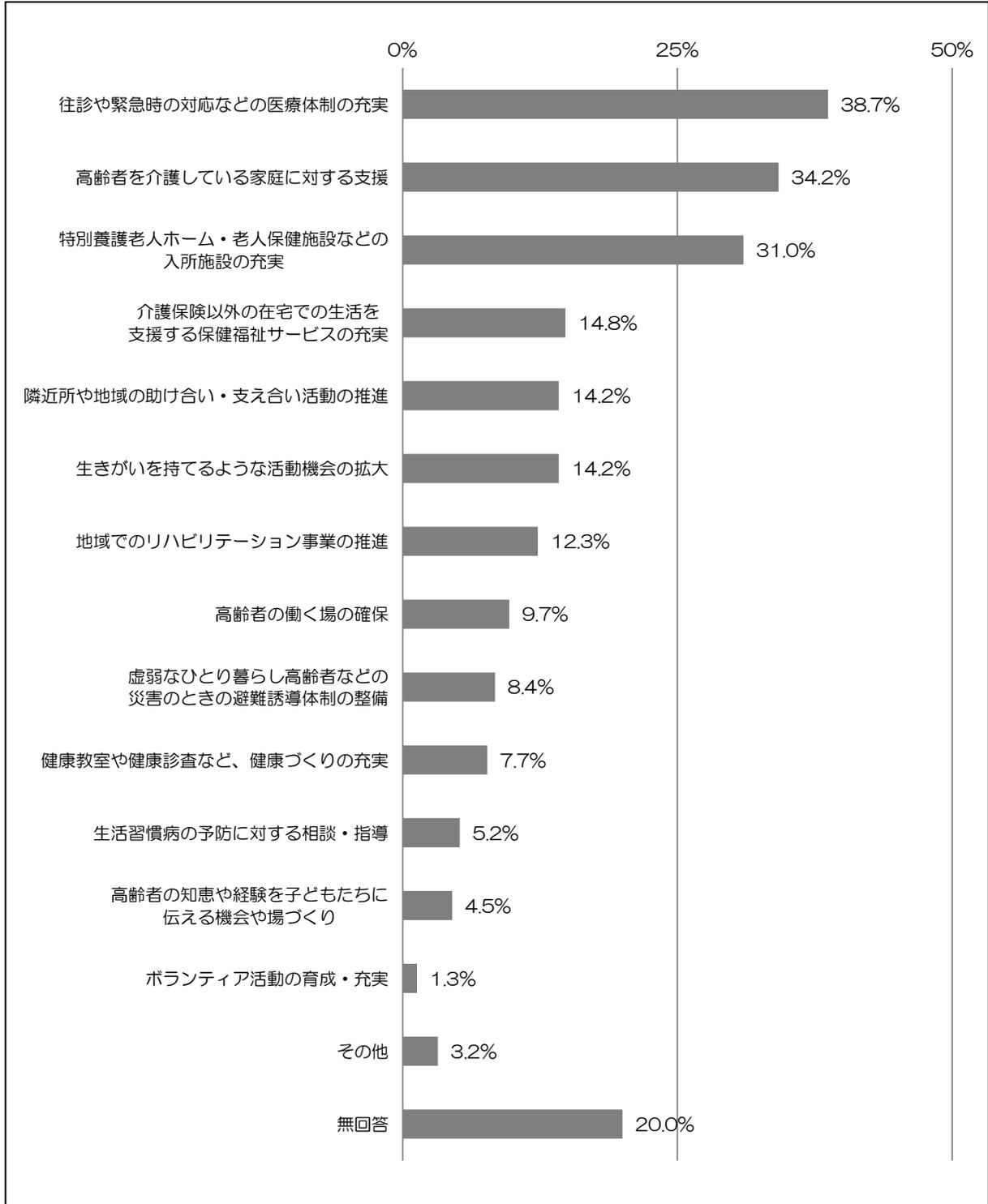
(1) 将来生活したい場所

将来生活したい場所については、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」(27.1%)、「主に在宅サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」(23.9%)と自宅で暮らしたい人が多くなっています。前回調査と比較してもその傾向は大きく変わっていません。



(2) 河南町に望む施策（複数回答）

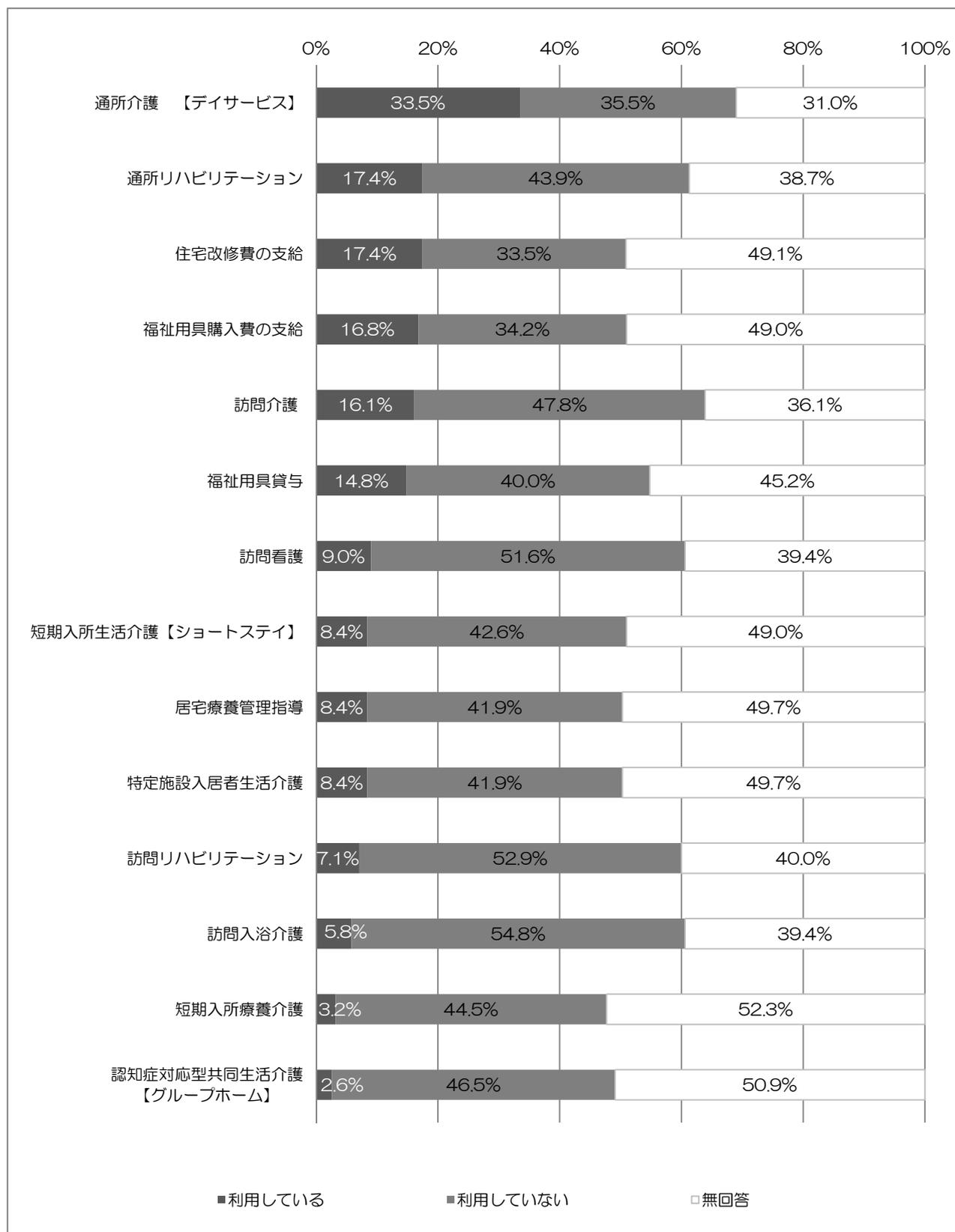
これからの本格的な超高齢社会に対応していくため、河南町に望むことについては、「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」が38.7%と最も多くなっています。次いで「高齢者を介護している家庭に対する支援」(34.2%)となっています。



13 介護保険サービスについて

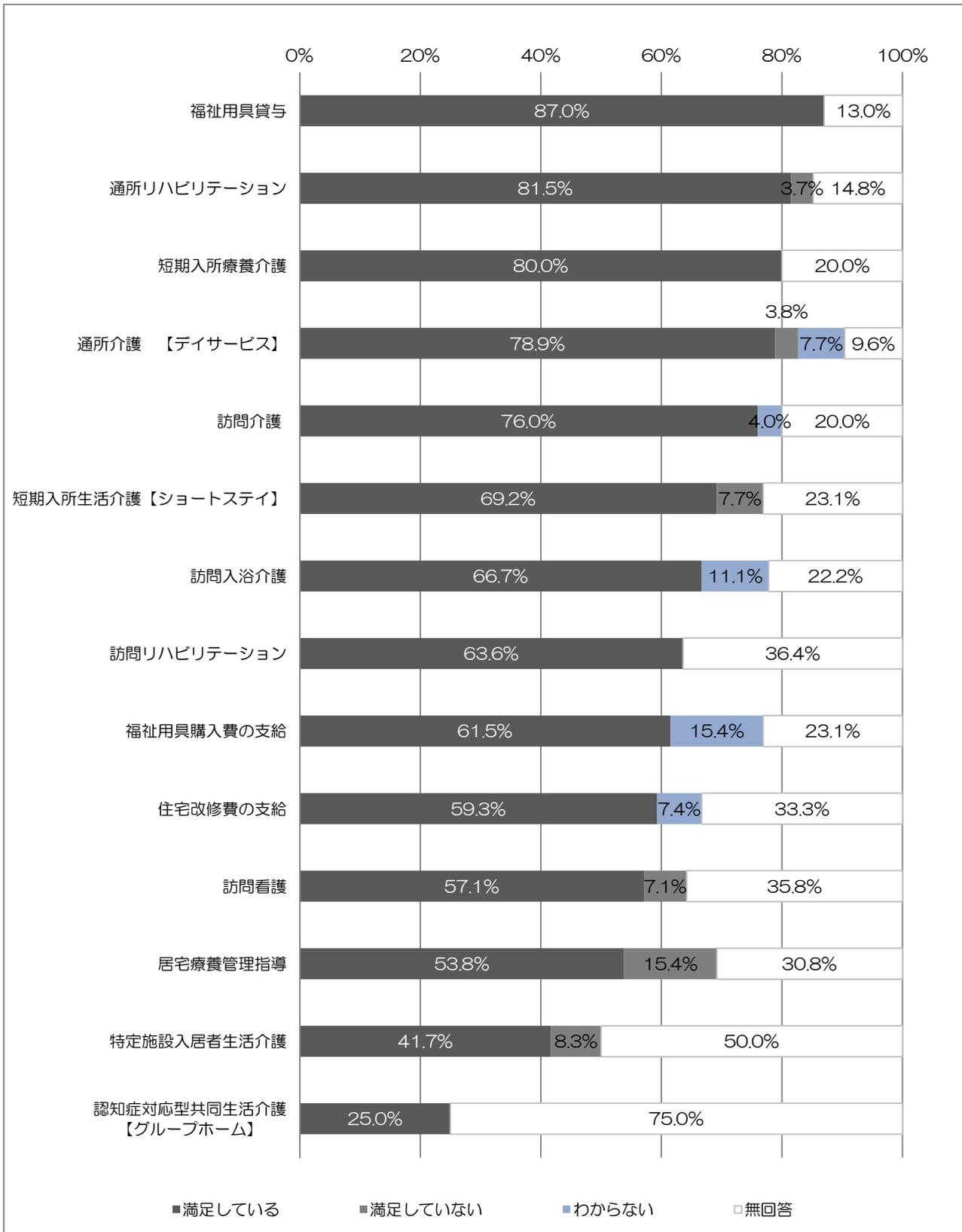
(1) 現在の利用状況（複数回答）

現在、利用している介護保険サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が最も多く 33.5% となっています。次いで「通所リハビリテーション」「住宅改修費の支給」（17.4%）となっています。



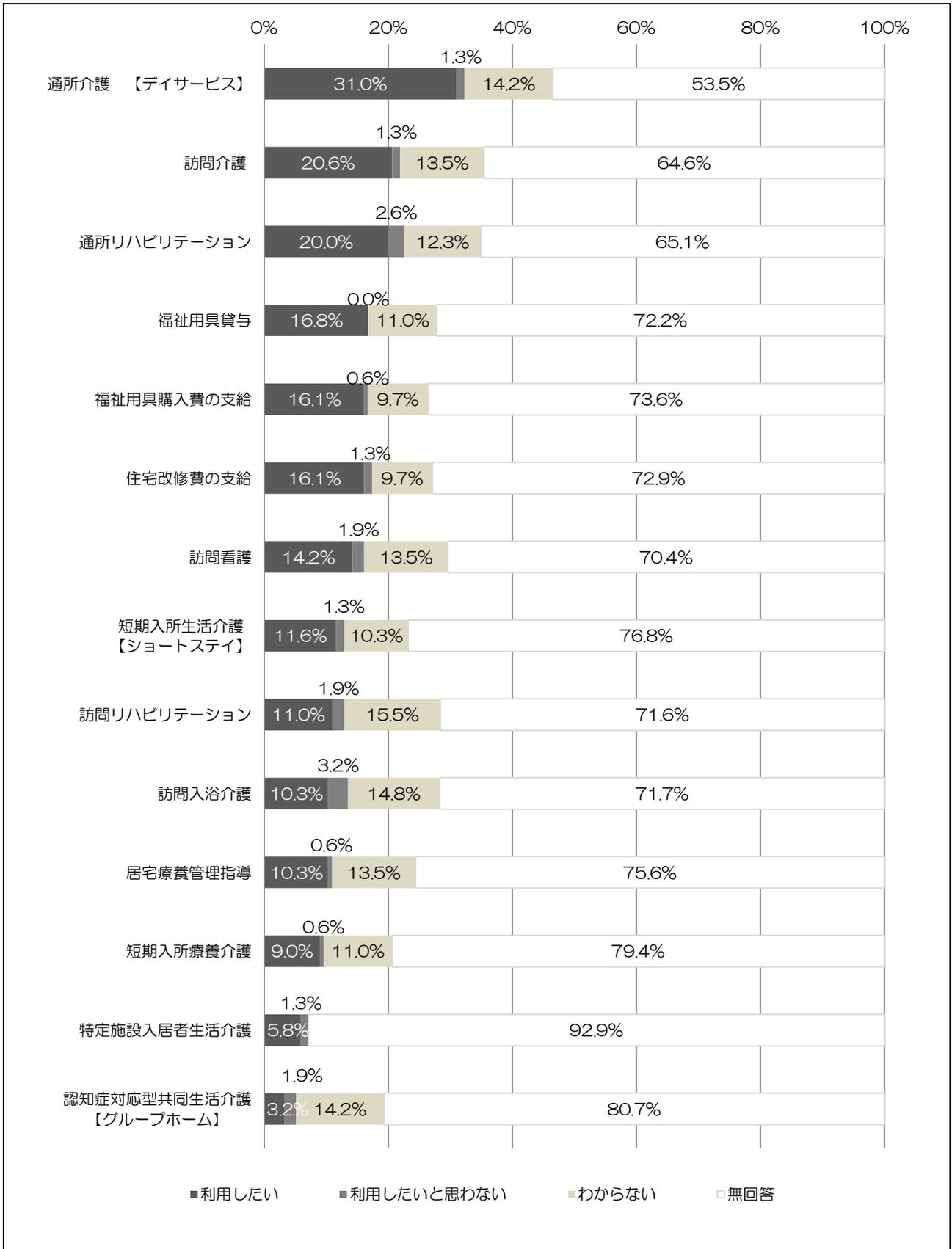
(2) サービスの利用者満足度（複数回答）

現在、利用している介護保険サービスの満足度については、概ね「満足している」割合が高くなっています。



(3) サービスの今後の利用意向（複数回答）

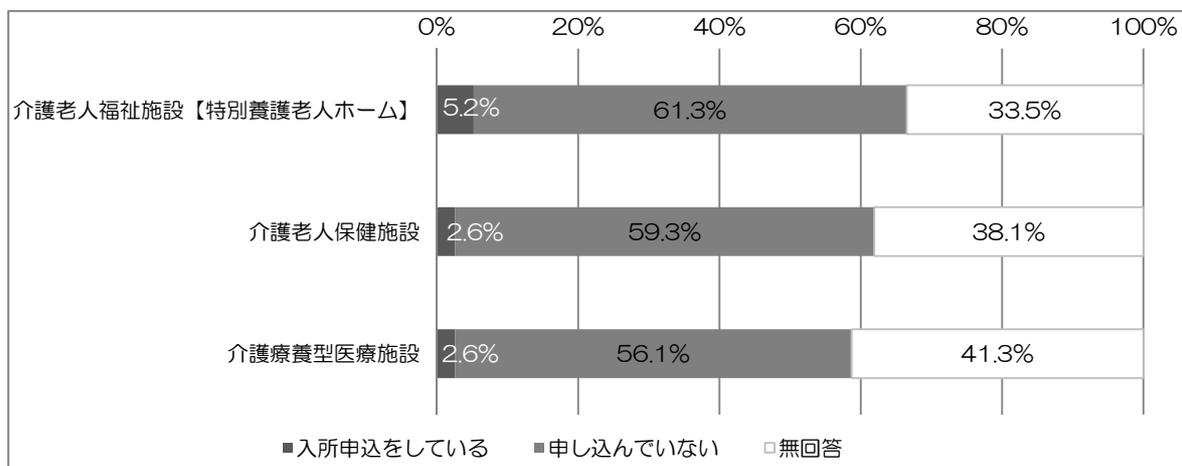
今後、利用したい介護保険サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が最も多く31.0%となっています。次いで「訪問介護」（20.6%）、「通所リハビリテーション」（20.0%）となっています。



14 施設サービスについて

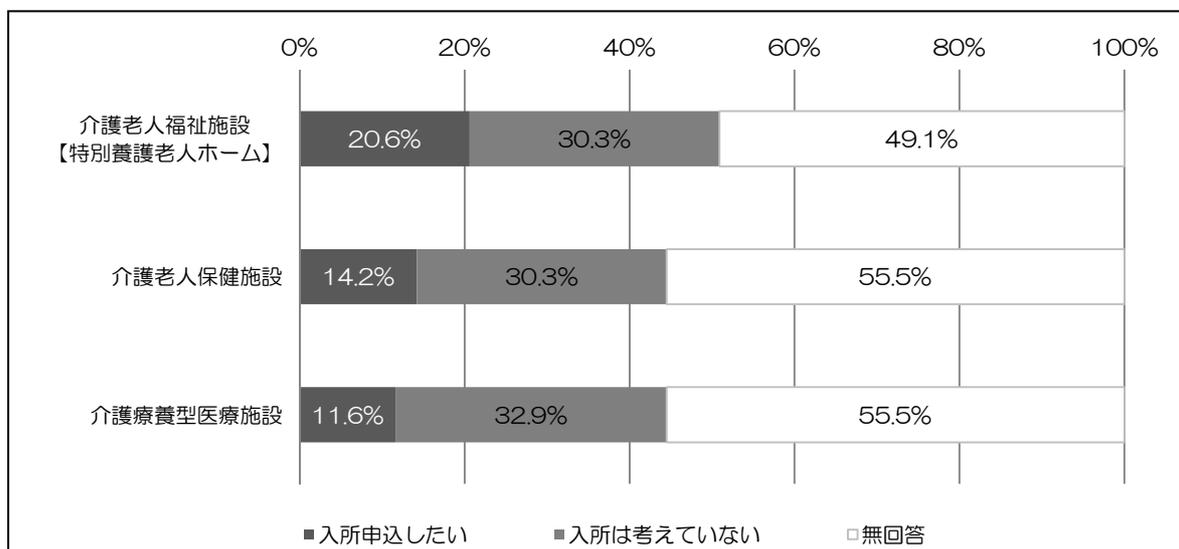
(1) 現在の利用状況（複数回答）

現在、利用している施設サービスについては、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く5.2%となっています。



(2) 今後の利用意向（複数回答）

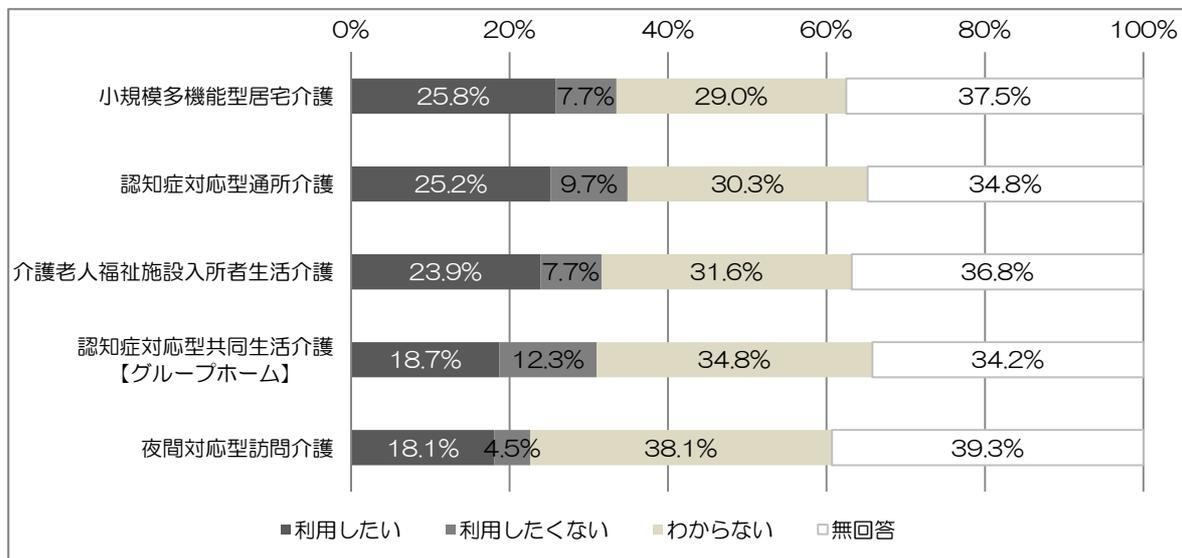
今後、利用したい施設サービスについても、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く20.6%となっています。



15 地域密着型サービスについて

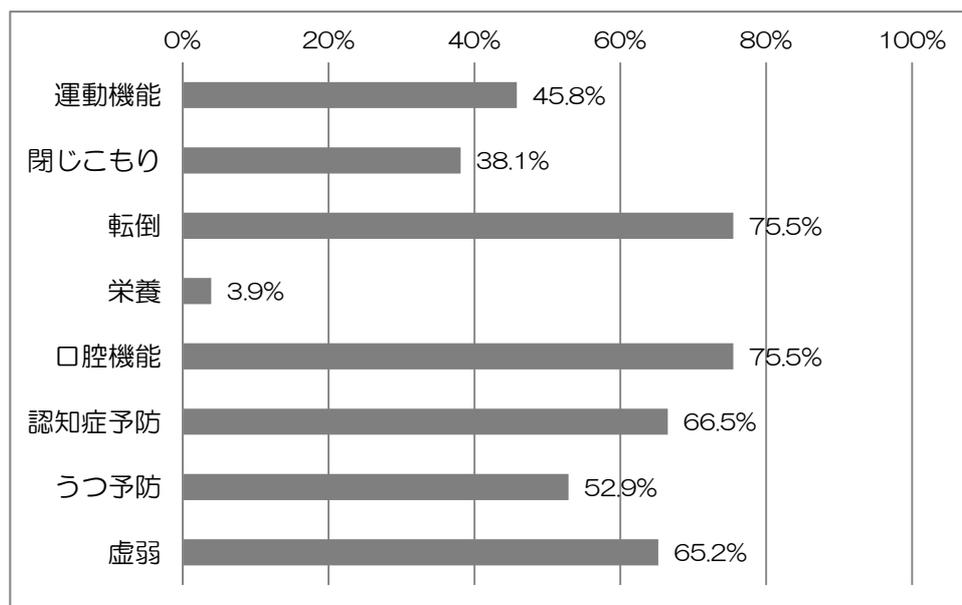
今後の利用意向（複数回答）

今後、利用したい地域密着型サービスについては、「小規模多機能型居宅介護」が最も多く 25.8% となっています。次いで「認知症対応型通所介護」（25.2%）となっています。



16 機能評価の結果について

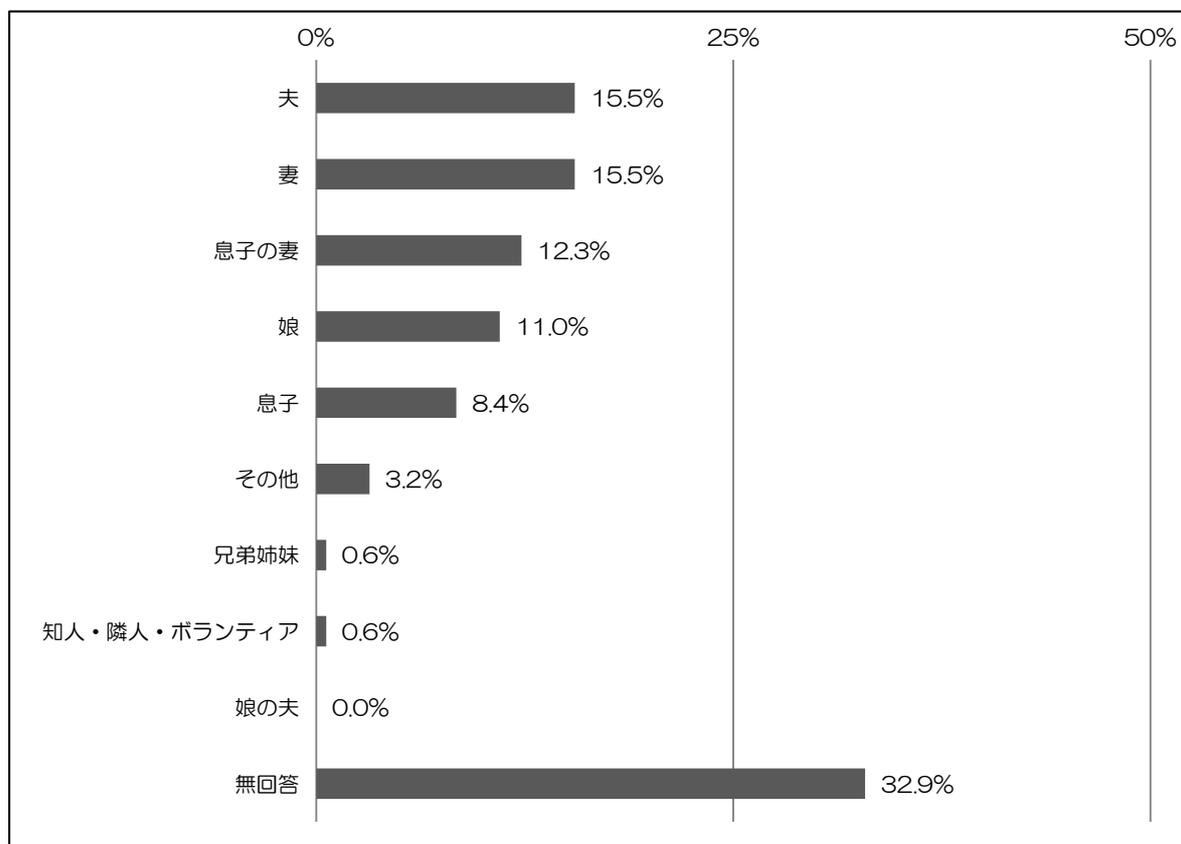
今回のアンケート調査では、設問事項に基本チェックリストが盛り込まれており、機能評価を算出できるようになっておりました。各機能評価とも該当者の割合が多くなっており、「転倒」と「口腔機能」に該当する割合がともに 75.5% となっています。



17 介護の状況について（介護者へのアンケート調査）

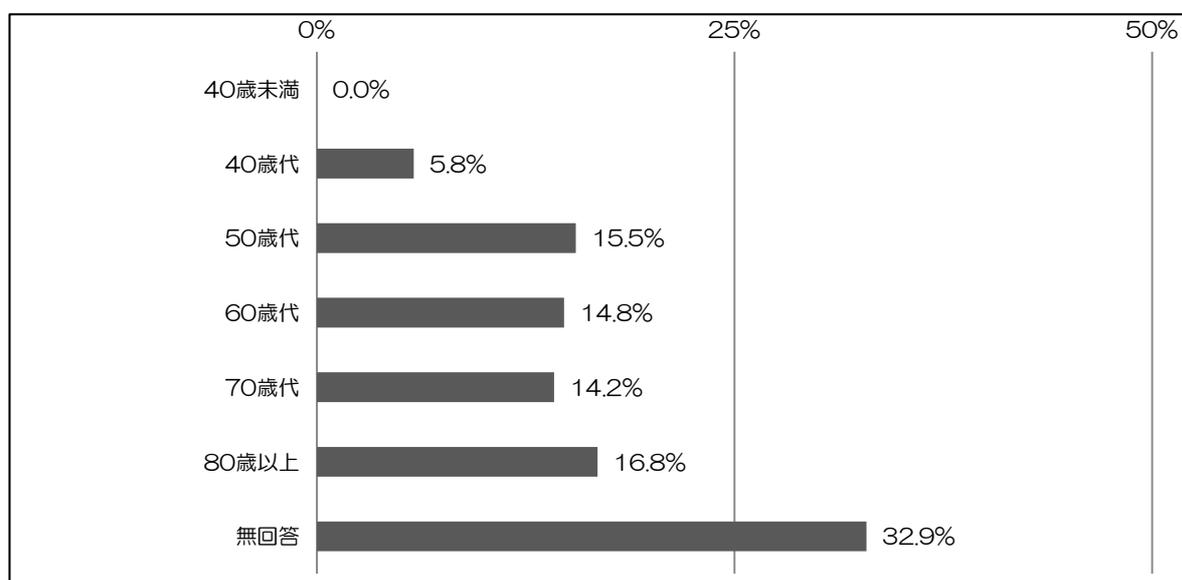
(1) 主な介護者

日ごろ、主に介護にたずさわっている人については、「夫」「妻」が最も多く 15.5%となっています。次いで「息子の妻」（12.3%）となっています。



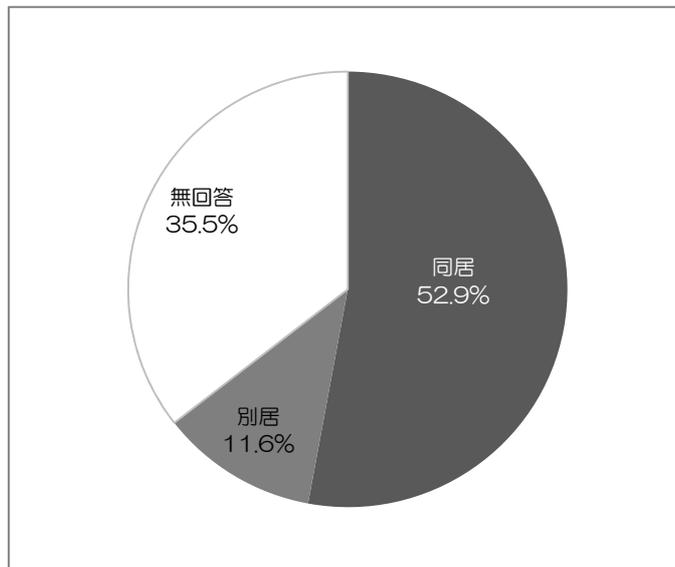
(2) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢については、「80歳以上」が最も多く 16.8%となっています。次いで「50歳代」（15.5%）となっています。



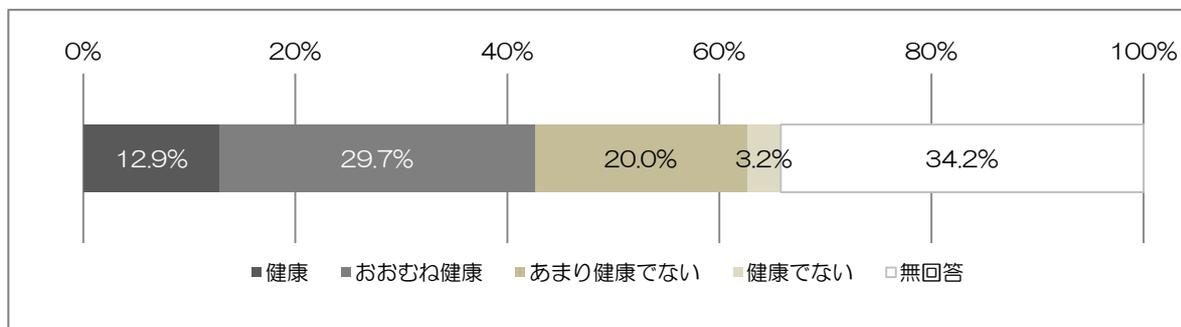
(3) 主な介護者との住まいの状況

主な介護者との住まいの状況については、「同居」が52.9%と半数を超えています。



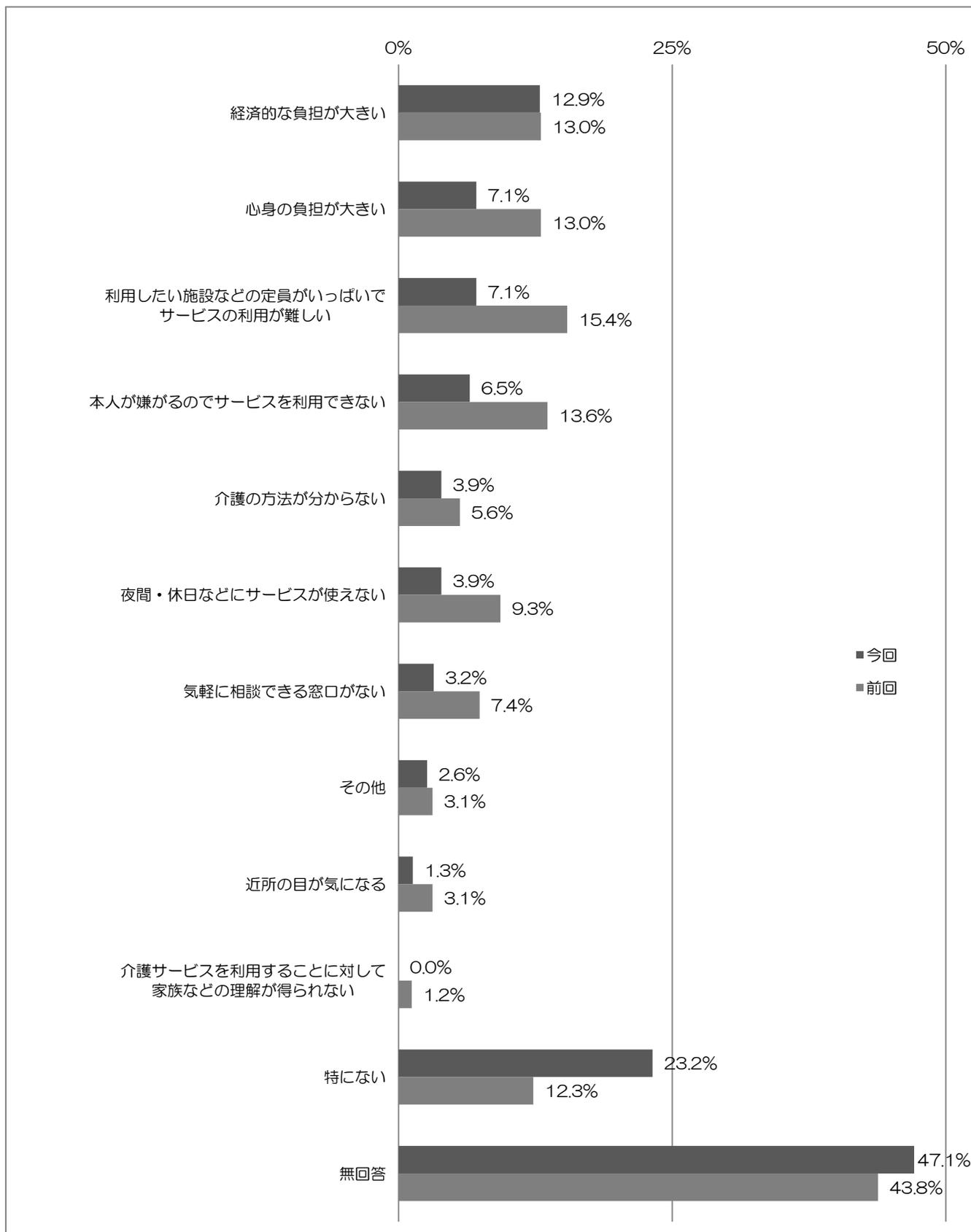
(4) 主な介護者の健康状態

主な介護者の健康状態については、「健康」(12.9%)と「おおむね健康」(29.7%)を合わせた層は4割を超えています。



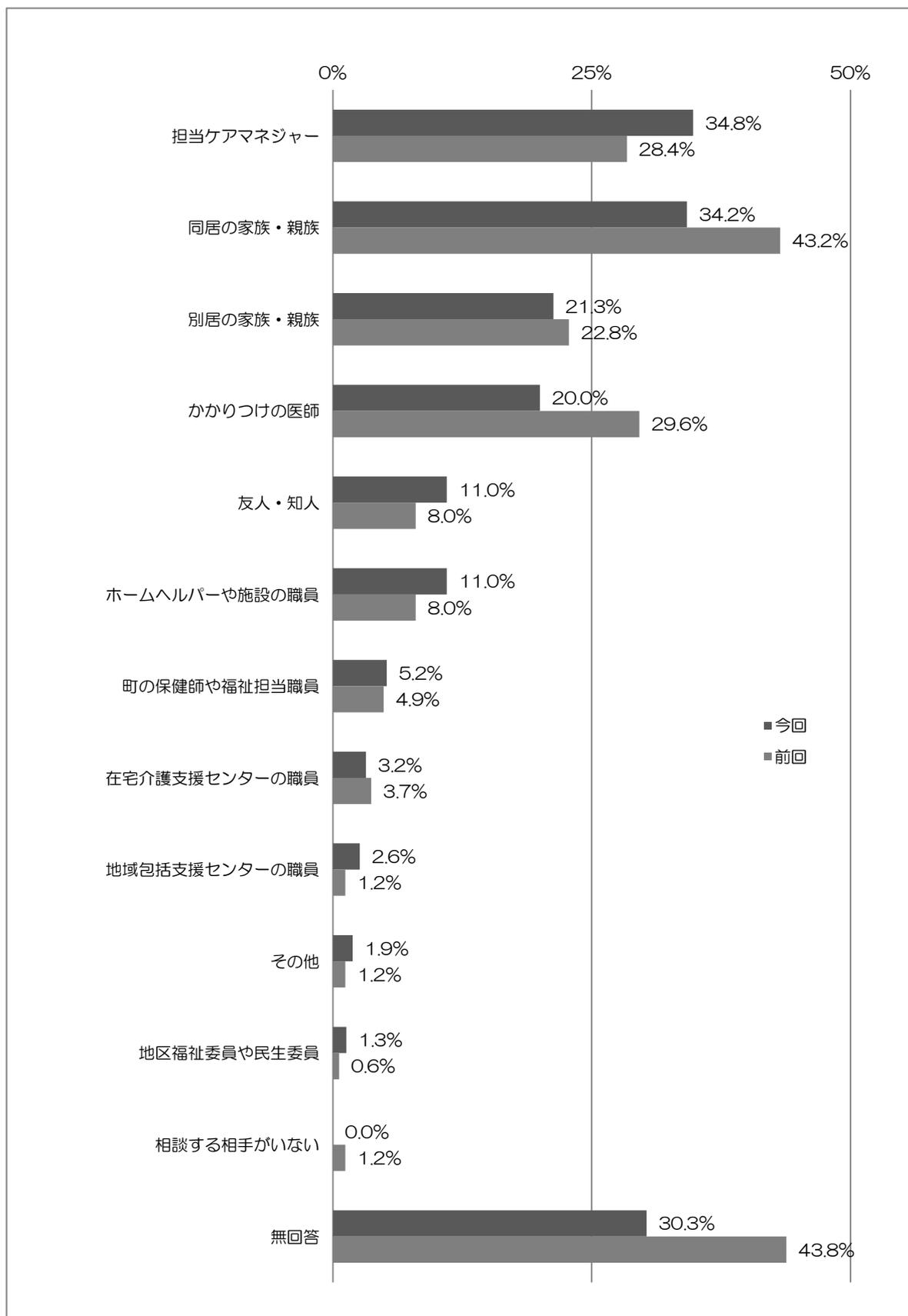
(5) 介護サービスを利用するうえで困っていること

介護サービスを利用するうえで、困っていることについては、「特にない」が最も多く、23.2%となっています。次いで「経済的な負担が大きい」(12.9%)となっています。



(6) 介護するうえで困ったときの相談相手

介護をするうえで困ったとき、誰に相談しているかについては、「担当ケアマネジャー」が最も多く34.8%となっています。次いで「同居の家族・親族」(34.2%)となっています。



第6期河南町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
に関するアンケート調査報告書

平成 27 (2015) 年 3 月

河南町 健康福祉部 高齢障がい福祉課

〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木 1359 番地の 6

TEL : 0721-93-2500 (代表) FAX : 0721-93-4691

E-mail : kourei@town.kanan.osaka.jp

<http://www.town.kanan.osaka.jp>